

参考資料編

1. 上位関連計画の整理.....	1
1-1 精華町第5次総合計画（平成25年3月策定）.....	1
1-2 精華町都市計画マスタープラン（平成27年3月）.....	4
1-3 精華町学校給食基本構想（平成30年3月）.....	6
2. 住民ニーズの把握.....	8
2-1 精華町のまちづくりに関するアンケート（平成26年1月）.....	8
2-2 精華町第5次総合計画中間評価に向けた住民意識調査（平成29年1月）.....	9
2-3 精華町のまちづくりに関する小学6年生・中学3年生アンケート調査（平成28年6月）.....	14
2-4 精華町学校給食基本構想に向けた住民アンケート（平成29年2月）.....	17
3. 事例調査.....	18
3-1 防災食育センター関連.....	18
3-2 防災受援施設関連.....	22
4. 精華町まちづくり基本構想策定懇話会.....	28
4-1 設置要綱.....	28
4-2 委員名簿.....	30
4-3 懇話会での主な意見.....	31
5. 住民アンケート調査.....	34
5-1 調査票.....	34
5-2 集計結果（単純集計）.....	40
5-3 集計結果（年齢クロス集計）.....	60
5-4 集計結果（小学校区クロス集計）.....	75
5-5 自由意見.....	91

1. 上位関連計画の整理

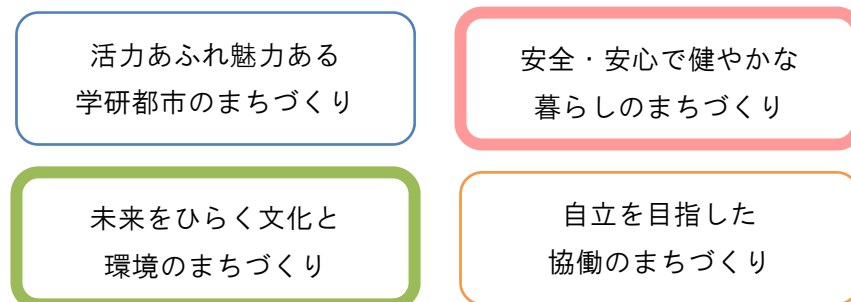
1-1 精華町第5次総合計画（平成25年3月策定）

(1) 計画の概要

神奈備丘陵を臨む木津川流域に位置する精華町は、古くから歴史と文化の香りあふれる農村集落のまちとして成り立ってきました。その歴史を礎に、学研都市の中心地として都市建設が進められ、我が国が急速な少子高齢化により人口減少局面に入った今日にあっても、なおも都市としての成長を続け、既存集落と新たな市街地が共存する個性あるまちが形成されています。

こうした中で、これまでの4次にわたる総合計画で掲げてきた根幹的な理念を継承するとともに、概ね30年後の精華町の姿を見据えながら、今後10年間のまちづくりの指針として「精華町第5次総合計画」が策定されました。

■ 施策の体系



(2) 安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり

学研都市建設に伴う人口の急増と住民ニーズの多様化に対応し、町の古くからの歴史を知る人と、移り住んできて暮らす人、みんなが暮らしやすいまちをつくるため、精華町では、地域における保健・医療・福祉などの活動の連携によって住民生活のサポート体制をきめ細かに充実させてきました。

そして今日、自治会などの地域のコミュニティー活動には、防災・防犯・福祉を軸とした活動の高まりがあり、これが、福祉・環境・教育・文化・健康といった多様な市民活動の広がりとなって世代を越えた交流を生み、小学校区を単位とする新たなコミュニティーの形成につながりつつあります。

■ 施策の柱

～安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり～



■「安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり」のための施策

施策の柱	施策の概要
健康づくり	● 健康づくりの情報発信や拠点施設整備を進める ● 食生活改善をはじめとする食育の推進により、住民の主体的な健康づくりを促進する
地域医療・生活衛生	● 住民が安心して医療を受けられる環境整備を進める ● 斎場・墓地について広域行政課題として取り組む
医療・保険	● 医療費助成制度の運用と、安定した国民健康保険制度の運用を図る
子育て環境	● 保育所や放課後児童クラブでのきめ細かな保育サービスと「待機児童ゼロ」の堅持、保育環境の充実に努める
子育て支援	● 子育て支援の中核施設の整備・充実を図る
高齢福祉	● 健康づくり・介護予防の推進と高齢期の社会参画機会の拡充を図る ● 地域包括ケアシステムの構築強化を図る ● 安定した介護保険制度の運用を図る ● 認知症対策の強化と家族介護支援の充実に取り組む
障害福祉	● 地域生活支援や就労支援などの課題に対応したサービス基盤の整備を図る
コミュニティー	● 自治会活動がしやすい環境を整備する ● 小学校区単位での防災や防犯の取り組みなどによる地域力の強化とコミュニティー拠点の確保
地域福祉	● 地域福祉活動の推進体制の充実を図る
地域防災・消防	● 地域防災計画の充実を図る ● 業務継続計画（BCP）の策定や災害時の活動拠点となる消防庁舎の改築を進める ● 自主防災組織の充実を図る ● 近隣自治体や関係協力企業などとの連携強化を図る
浸水対策	● 河川整備や雨水路整備による排水能力向上に努める ● しゅんせつ 浚渫による水路などの疎通能力の確保に努める
交通安全・防犯	● 交通安全施設の整備を図るとともに、住民の交通安全意識を高める ● 住民の防犯意識高揚を図るとともに、警察との連携強化に向けた取り組みを行う

(3)未来をひらく文化と環境のまちづくり

精華町には寺社や遺跡が多く残り、京都府の無形民俗文化財に指定されている「いごもり祭」や「おんごろどん」などの伝統行事が今日まで継承されています。また、学研都市の中心地にふさわしい先進的な研究開発の蓄積を基に、持続可能な社会経済システムづくりへの寄与が目指され、多くの住民が様々な社会実証に関わり始めています。

こうしたまちの資産を活かし、町内の小中学校では、学研都市の立地機関と連携した理科教育や、農家の協力による農業体験など、特色ある教育を展開してきました。

■施策の柱

～未来をひらく文化と環境のまちづくり～



出典：精華町第5次総合計画

■「未来をひらく文化と環境のまちづくり」のための施策（教育・生涯学習に関するもの）

施策の柱	施策の概要
教育振興	● 時代の変化に対応できる心豊かな子どもたちを育むため、学研都市の資源を活かした創意ある教育活動を展開し、子どもたちに魅力ある学校教育を推進する ● 家庭や地域にとって開かれた学校づくりを図り、地域と学校が一体となって、子どもたちを守り育てる教育に取り組む
教育環境	● 中学校施設の耐震化を早期に完了させる ● 各学校に空調設備を完備し、バリアフリーを進め、快適で誰もが安心して学べる教育環境を整備する ● 中学校への給食導入を進め、食育の推進を図る
歴史	● 資料の収集や調査・研究、保存に努め、歴史民俗資料館の建設に向けた取り組みを進める ● 住民が文化財や史跡などに接する機会の増加を図る
文化活動	● 精華町文化協会と連携して各種の文化振興施策を展開する ● 各種公共施設が様々な文化芸術の活動で盛んに活用されるよう推進する
スポーツ活動	● NPO 法人精華町体育協会と連携して各種のスポーツ振興を展開する ● スポーツ施設を計画的に整備し、スポーツに親しむ人の増加を目指す

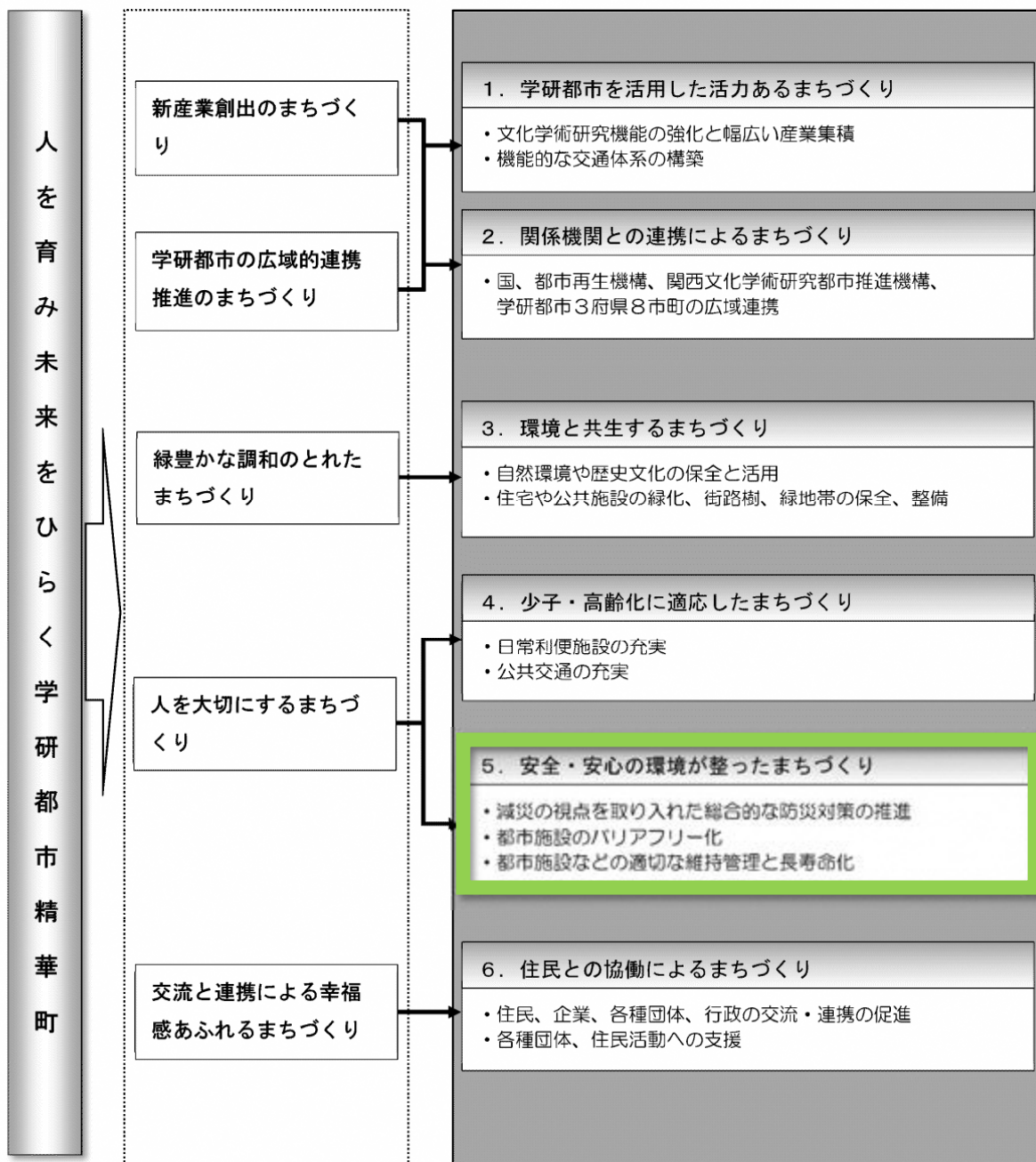
(1)基本方針

「精華町都市計画マスタープラン」には「精華町第5次総合計画」において設定されたまちづくりの基本理念及び目指すべき都市像を実現するための6つの基本方針が定められています。

【めざすべき都市像】

【まちづくりの基本理念】

【まちづくりの基本方針】



(2)安全・安心の環境が整ったまちづくり

6つの基本方針のうち、今回のまちづくり構想策定の目的である「安全・安心の環境が整ったまちづくり」を実現するためには、次のような方向性が示されています。

- ・ 大規模地震や集中豪雨などによる災害へ対応するため、「精華町地域防災計画」に基づき、**災害に強いまちづくり**に努めます。
- ・ ハード面での整備に加え、防災情報の適切な提供や防災訓練の実施、災害危険箇所への住宅立地抑制策など減災の視点を取り入れた総合的な防災対策を推進し、安全・安心の環境が整ったまちづくりを進めます。
- ・ 住民の意向を十分に踏まえ、住民自らの手による安全なまちづくりの機運を高めるとともに、多様な手法と諸制度を活用し、**ハード、ソフトの両面から安全で快適なまちづくり**を目指します。
- ・ すべての住民、来訪者が安全にかつ安心して過ごせるまちづくりを進めるため、道路、公園などの都市施設、その他不特定多数の方が利用する建築物のバリアフリー化を推進します。
- ・ 都市施設を適切に維持するため、持続可能な施設管理体制の構築を図るとともに、長寿命化を推進し、機能の維持とライフサイクルコストの低減を効果的に図ります。

1-3 精華町学校給食基本構想（平成30年3月）

「精華町食育推進基本方針」の策定に続いて、小学校から中学校までの9年間を通じた一貫した食育の「生きた教材」となる学校給食を運営するために策定されました。学校給食を通じて、次世代を担う子どもたちにどのような力を習得させるか、どのような地域づくりを進めるか、基本的な考え方を示しています。

なお、平成25年に定めた「精華町立中学校における学校給食の実施に関する基本的事項」を引き継ぎ、「給食センター方式」「精華中学校敷地内での設置」を前提に検討が進められています。



（参考）精華町立中学校における学校給食の実施に関する基本的事項の概要

1. 中学校給食の実施方式

センター方式により3中学校同時に実施する。

2. 設置場所

3中学校の施設の現状から、現在改築に向け設計を進めている精華中学校の敷地（現校舎跡地）を利用して給食センターを設置する。

3. 実施時期

精華中学校校舎改築工事の完成後、小中学校への空調設備設置時期との調整を図りながら進める。

■給食の見込食数

平成29年度の生徒数と教職員数を基に、若干の余裕を持たせた1,500食が1日あたりの調理能力として設定されています。

	実績数（平成29年5月1日）			給食の 見込食数（食）
	生徒数（人）	教職員数（人）	合計（人）	
精華中学校	388	32	420	1,500
精華南中学校	162	24	186	
精華西中学校	588	41	629	
合計	1,138	97	1,235	

■建設予定地

精華中学校敷地を活用した建設を予定し、敷地1,460㎡を見込み、建築面積としては約800㎡を想定しています。

■周辺環境への配慮

精華中学校敷地内に学校給食センターを建設する場合、周辺環境に与える影響として搬入出経路が周辺の交通に与える影響、給食を調理する際の騒音・臭気が特に懸念されます。

これらの懸念事項への対応として、次のような方向性が示されています。

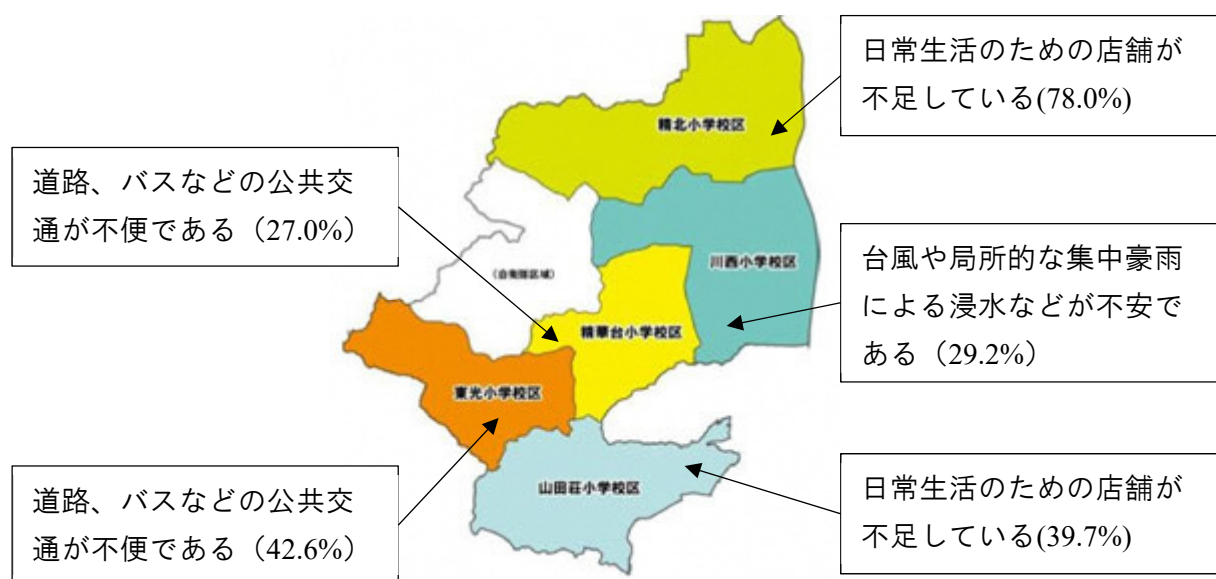
懸念事項	対応の方向性
物資納入車両の往来 （通勤・通学時間と搬入出時間帯が重なる恐れ）	● 納入業者への注意喚起 ● 地域への十分な配慮
精華中学校から 精華南中学校・精華西中学校への配送	● 安全かつ確実な配送に努める
騒音・臭気・振動の発生	● 発生原因となる設備を住宅側からできるだけ遠ざける ● 遮音効果の高い部材の使用 ● 臭気ダクトの設置 ● 低騒音・低振動型の厨房機器の選定

2. 住民ニーズの把握

2-1 精華町のまちづくりに関するアンケート（平成26年1月）

都市計画マスタープラン改訂時に行われた「精華町のまちづくりに関するアンケート」（平成26年1月実施）によると、地域で問題になっている点については「日常生活のための店舗が不足している」（32.0%）、「鉄道、バスなどの公共交通が不便である」（24.7%）が上位を占めています。

■問題となっている点に対する上位回答（校区ごと）



日常の交通手段としては「自家用車」が56.7%と回答の半数以上を占めており、路線バス・精華くるりんバスの利用は8.3%とあまり利用されていないことが分かります。（ただし、東光小学校区、山田荘小学校区ではバスの利用が14%程度となっており比較的利用が多い。）

今後のまちづくりで活用したい地域資源については、「気軽にレクリエーションを楽しめる公園や緑地、広場、散歩道」（51.0%）、「緑豊かで秩序のとれた街並み」（43.3%）が上位を占めています。

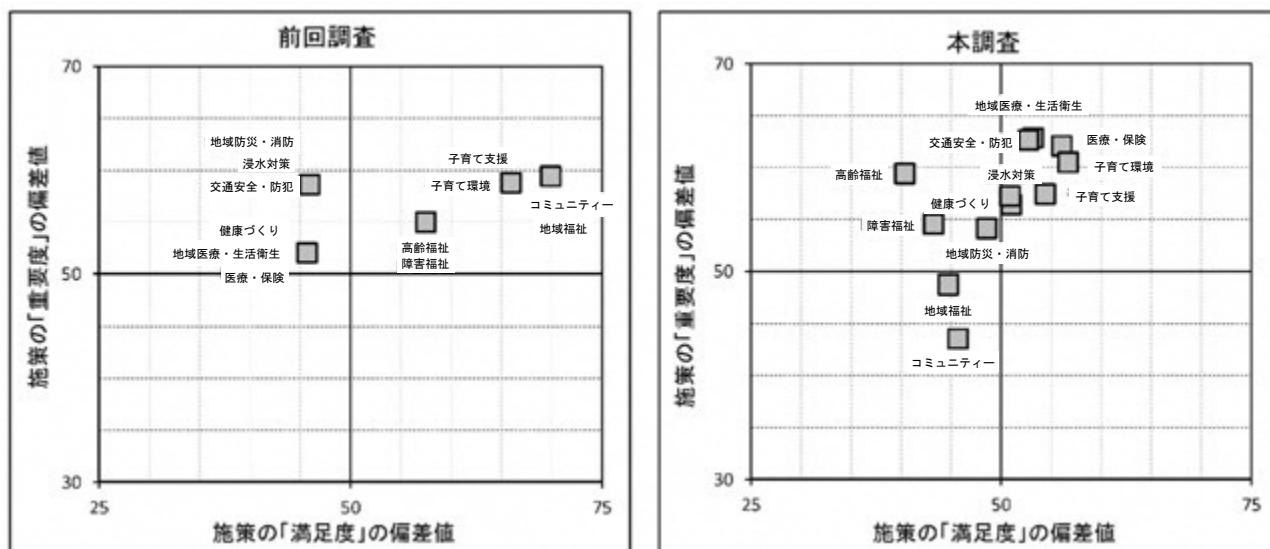
2-2精華町第5次総合計画中間評価に向けた住民意識調査（平成29年1月）

精華町の最上位計画である「精華町第5次総合計画」の中間評価を行うにあたり、まちの現状に対する住民意識や、中長期のまちづくりに対する住民意見を広く把握するために調査が行われました。

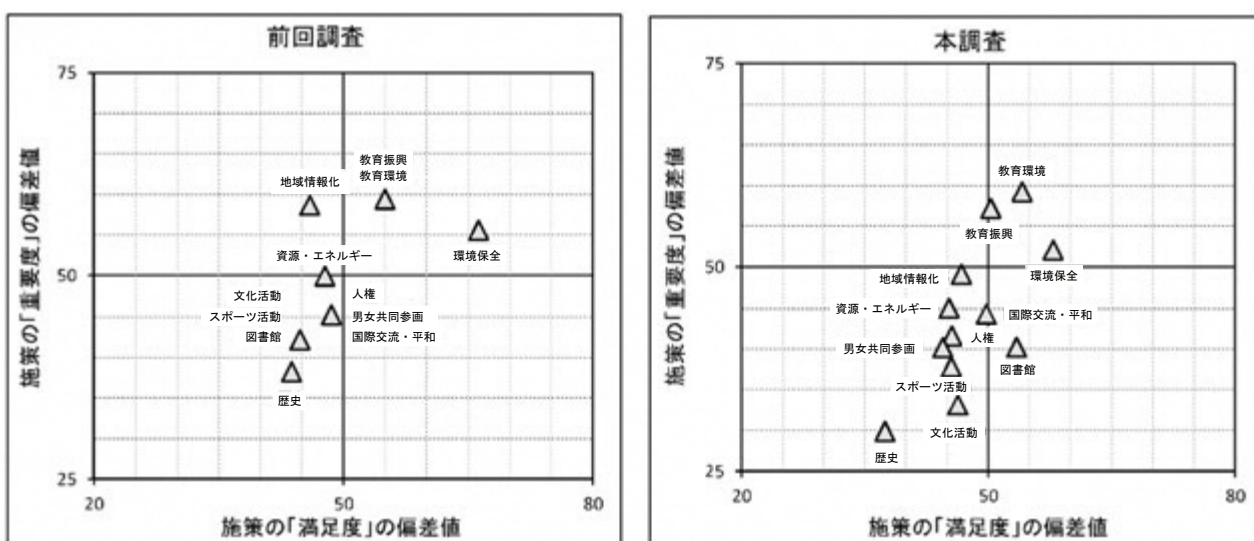
本調査では「精華町第5次総合計画」の4つの領域、41の施策について目標像に対する「満足度」と、これからのまちづくりにおける「重要度」を、それぞれ5段階で評価する問いが設けられており、「安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり」に関する施策は全体的に高い重要度を維持していますが、満足度が低下しており、「コミュニティ」「地域福祉」については「満足度」「重要度」ともに低下しています。

また、「未来をひらく文化と環境のまちづくり」に関しては、全般的に「重要度」が低下していますが、「教育振興」「教育環境」など、教育面での施策の「重要度」は高い水準を維持しています。

■「安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり」に関する満足度と重要度



■「未来をひらく文化と環境のまちづくり」に関する満足度と重要度



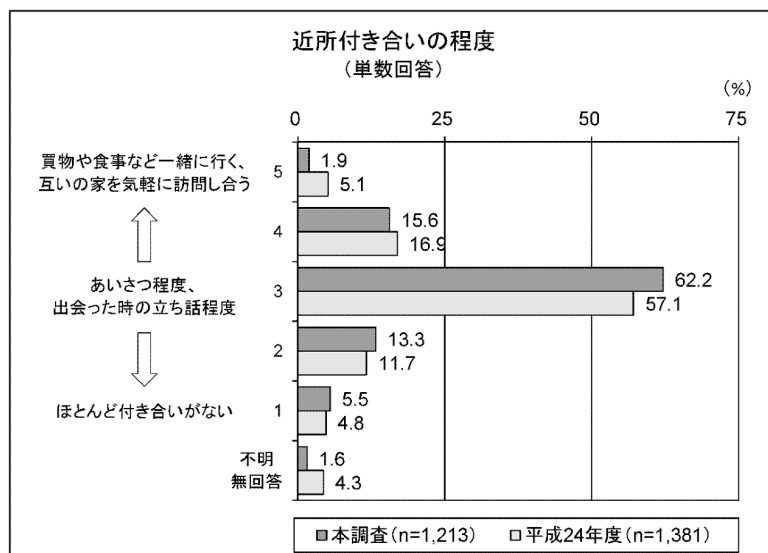
※ 前回調査とは「精華町第5次総合計画」策定時（平成23年度）に実施した調査のこと

※ 本調査とは平成28年度に実施された上記住民意識調査のこと

※ 前回調査と本調査では柱の区分や施策数が異なるため、前回調査の各施策を本調査の施策に対応させ経年比較が行われています

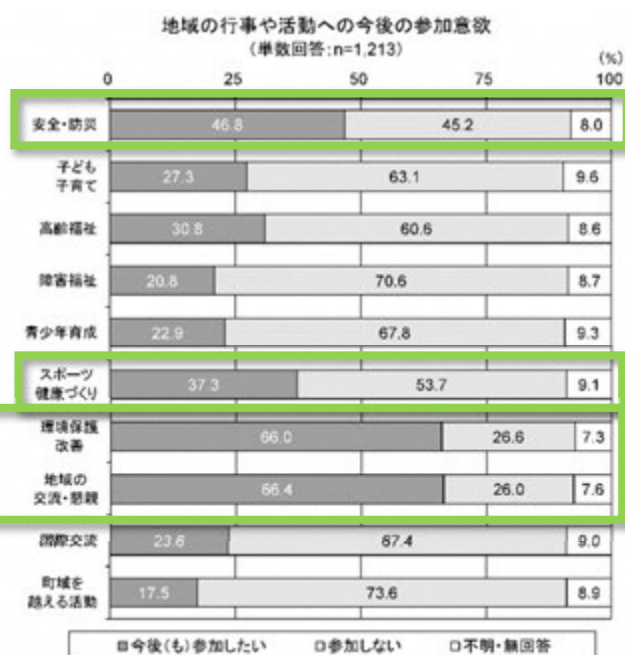
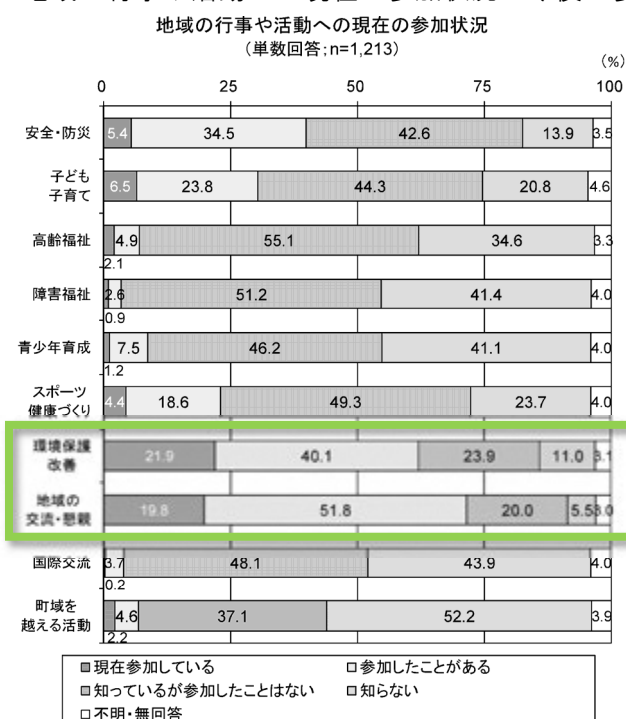
近所付き合いの程度について「5点（買物や食事など一緒に行く、互いの家を気軽に訪問し合う）」から「1点（ほとんど付き合いがない）」までの5段階で評価を求めたところ、最も多かったのは「3点（あいさつ程度、出会った時の立ち話程度）」（62.2%）であり、「不明・無回答」を除く平均点が、前回調査で3.06点であったのに対し、本調査では2.95点と減少しています。

■近所づきあいの程度に対する回答の変化



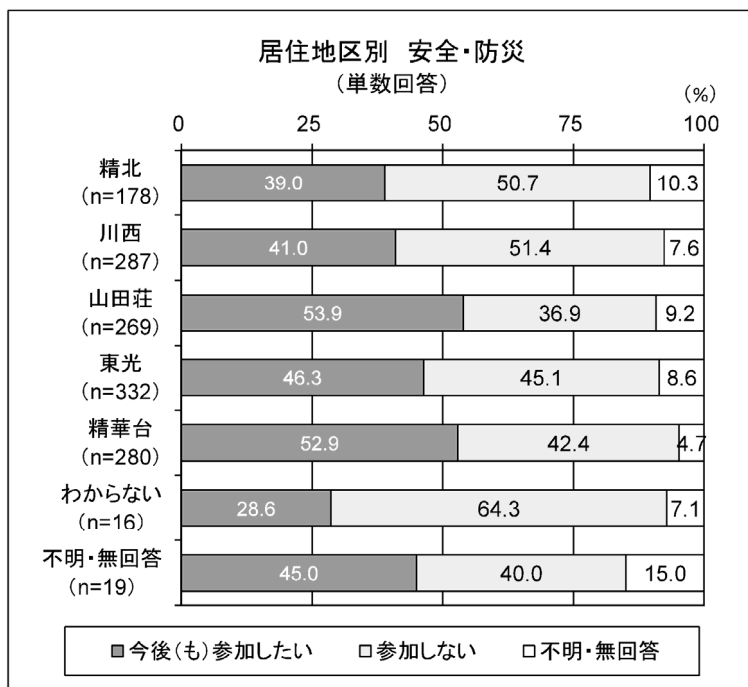
地域の行事や活動への今後の参加意向については、既に参加率が高い「環境保護改善」「地域の交流・懇親」で「今後（も）参加したい」という回答が多くなっており、次いで「安全・防災」「スポーツ健康づくり」への回答が多くなっています。

■地域の行事や活動への現在の参加状況と今後の参加意欲



なお、「安全・防災」に関する現在の参加状況を見ると、「精北」「川西」で「参加したことがある」という回答が少なくなっています。

■地域の安全・防災に関する行事や活動への今後の参加意向（地区別）



(参考)「安全・安心で健やかな暮らしのまちづくり」に関する施策の中間評価(平成30年3月)

節	施策の柱	施策の総括	統括課
健康・医療	健康づくり	重要度、満足度が向上し、住民の健康づくりの意識が醸成されつつある。さらなる 健康づくりの推進に向け、拠点となる施設の整備 を	健康福祉環境部 健康推進課
	地域医療・生活衛生	満足度が向上しているが重要度に見合った満足度に至っておらず、住民の救急診療への関心が高いことが伺える。「相楽休日診療所」のさらなる認知向上へ	健康福祉環境部 健康推進課
	医療・保険	指標「特定健診受診率」は向上しているものの目標は未達成。細やかなアプローチでさらなる受診率の向上へ	住民部 国保医療課
児童福祉	子育て環境	重要度、満足度は高い状態で推移。また、待機児童ゼロも維持。保育所定員増に向けた対策のさらなる充実と保育の質の確保とさらなる向上を	健康福祉環境部 子育て支援課
		放課後児童クラブの定員増に向けた対策の充実を	
	子育て支援	住民の満足度はやや高い状態を維持	健康福祉環境部 子育て支援課
		医療助成の対象を中学校卒業までに拡充 子育て支援の中核を担う施設の整備や社会的養護のさらなる充実 を	
障害福祉・高齢福祉	高齢福祉	地域での介護予防、高齢者の社会参加の促進、生きがいづくりの支援などのさらなる充実を	健康福祉環境部 福祉課
	障害福祉	障害のある人が自立できる支援などの環境整備の充実を	健康福祉環境部 福祉課
コミュニティ・地域福祉	コミュニティ	自治会加入率は85%を維持しているが、重要度、満足度は低く、住民の関心の低下が伺える	総務部 総務課
		高齢化が進展する中で、自治会のあり方や集会所の長寿寿命化対策の推進を	
	地域福祉	ボランティア数、団体数は増加。「せいか絆ネットワーク」などの推進による地域の福祉力の向上へ	健康福祉環境部 福祉課
防災・交通安全	地域防災・消防	指標「自主防災組織結成率」は中間目標値を達成。防災に係る防災行政無線、消防庁舎の改築などハード面の整備も一定完了	消防本部・署
		今後は、自治会や地域防災組織などソフト面のさらなる充実へ	
	浸水対策	煤谷川河川等の計画的な整備により浸水対策が向上。満足度も向上	上下水道部 下水道課
		近年の降雨状況と財政状況を踏まえ、九百石川をはじめとした一層の計画的な浸水対策の推進を	
	交通安全・防犯	指標「交通事故発生件数」「犯罪発生件数」は期末目標も達成。一方で住民の関心が高く「安全・安心」への不安感も一定ある	総務部 総務課
		住民が「安全・安心」を体感できる取り組みの継続を	

(参考)「未来をひらく文化と環境のまちづくり」に関する施策の中間評価※(平成30年3月)

節	施策の柱	施策の総括	統括課
学校教育	教育振興	指標「学校図書蔵書達成率」「学研立地機関等出前授業件数」は中間目標値を達成。	教育部 学校教育課
		学力向上に係る取り組み、児童・生徒が安心して相談できる仕組みのさらなる充実へ	
	教育環境	小中学校の耐震化工事、平成29年度には中学校の普通教室などへの空調設備の整備が完了	教育部 学校教育課
		小学校への空調設備の整備、中学校給食の実施でさらなる教育環境の充実へ	
生涯学習	歴史	指標「歴史・文化財に関する講演会参加者数」は期末目標も達成。文化財の適切な保護を図るとともに「せいか舎」での活用を	教育部 生涯学習課
	文化活動	指標は未達成だが、社会教育文化サークル登録団体数は増加しており、住民の文化活動は活性化している	教育部 生涯学習課
		文化サークル団体が活発に活動できるよう、さらなる環境づくりを	
	スポーツ活動	スポーツ施設利用者数は横ばい、スポーツクラブ登録会員数は減少傾向にあり、 スポーツ活動のさらなる振興を	教育部 生涯学習課

※教育及び生涯学習に関するもののみを記載

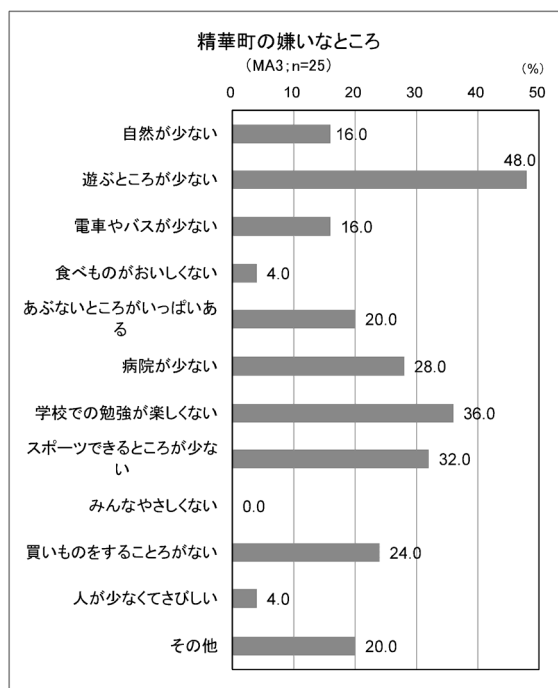
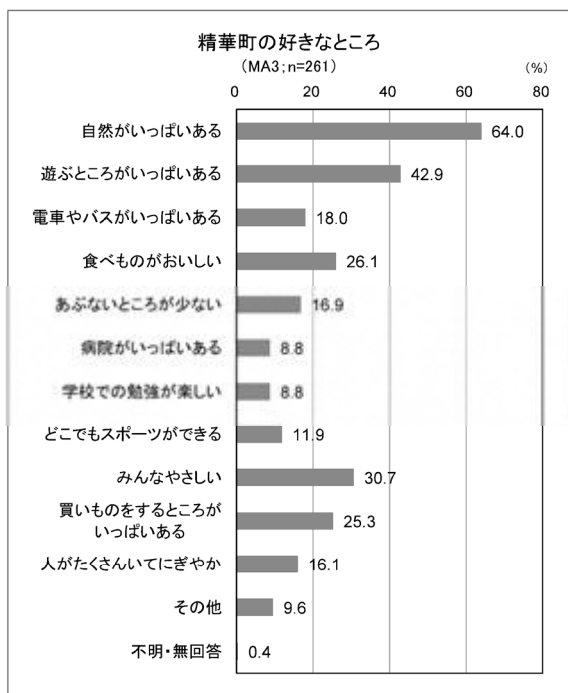
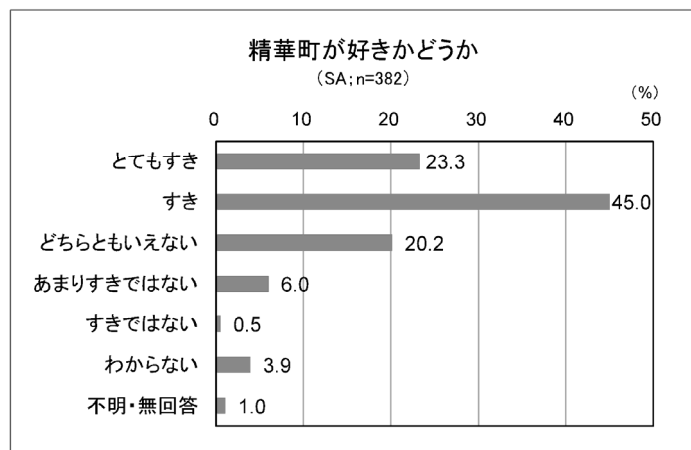
2-3精華町のまちづくりに関する小学6年生・中学3年生アンケート調査（平成28年6月）

精華町の最上位計画である「精華町第5次総合計画」の中間評価を行うにあたり、また今後のまちづくりの基礎資料とするため、次代を担う若い世代を代表して町内の全小学6年生、中学3年生を対象にアンケート調査が実施されました。

(1)小学6年生アンケート調査結果

精華町に対する好意については、「すき」（45.0%）が最も多く、次いで「とてもすき」（23.3%）、「どちらともいえない」（20.2%）が続きます。

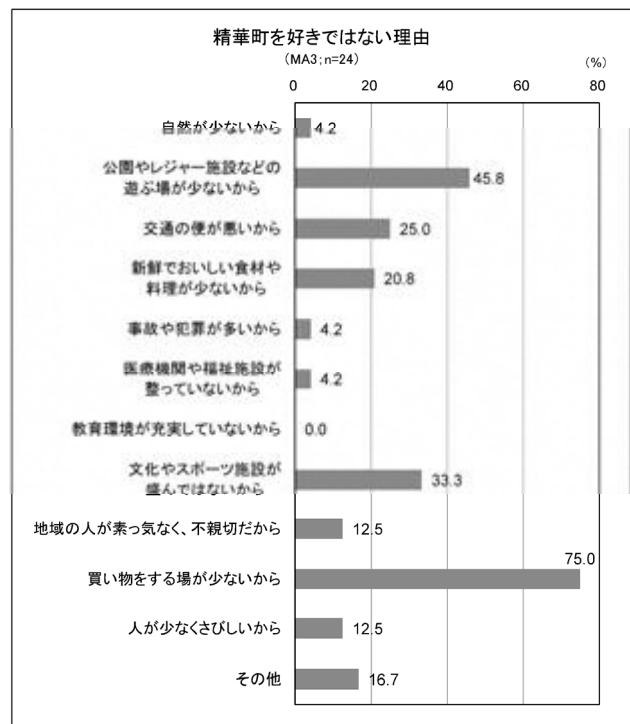
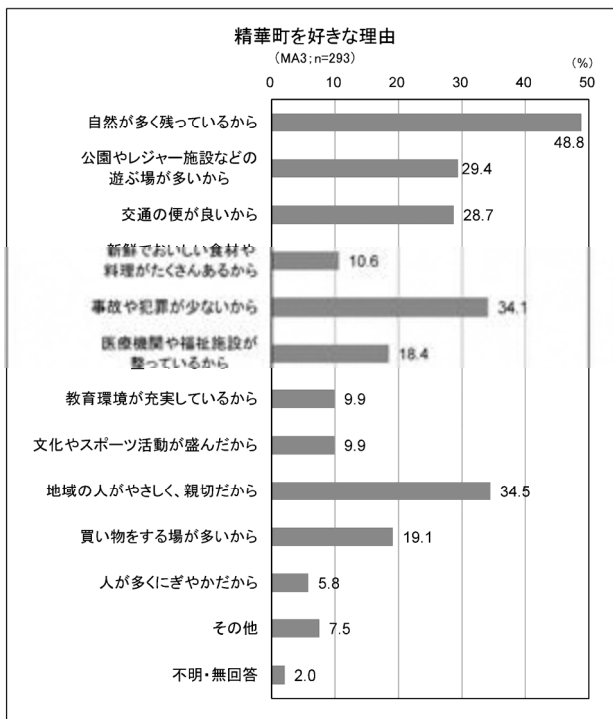
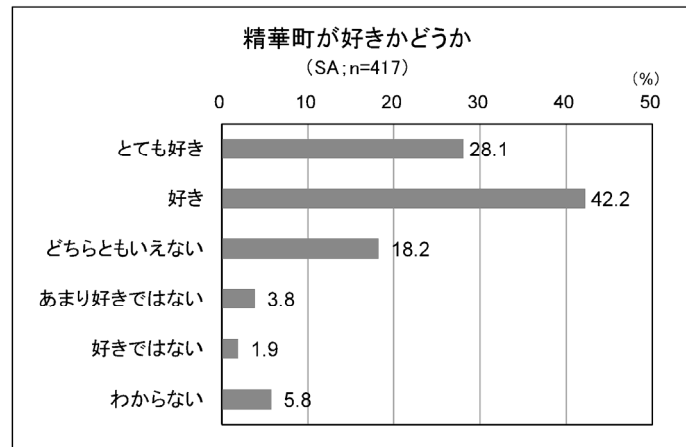
精華町を好きな理由として最も多いものは「自然がいっぱいある」（64.0%）であり、逆に嫌いな理由としては「遊ぶところが少ない」（48.0%）、「学校での勉強が楽しくない」（36.0%）、「スポーツできるところが少ない」（32.0%）などが挙げられています。



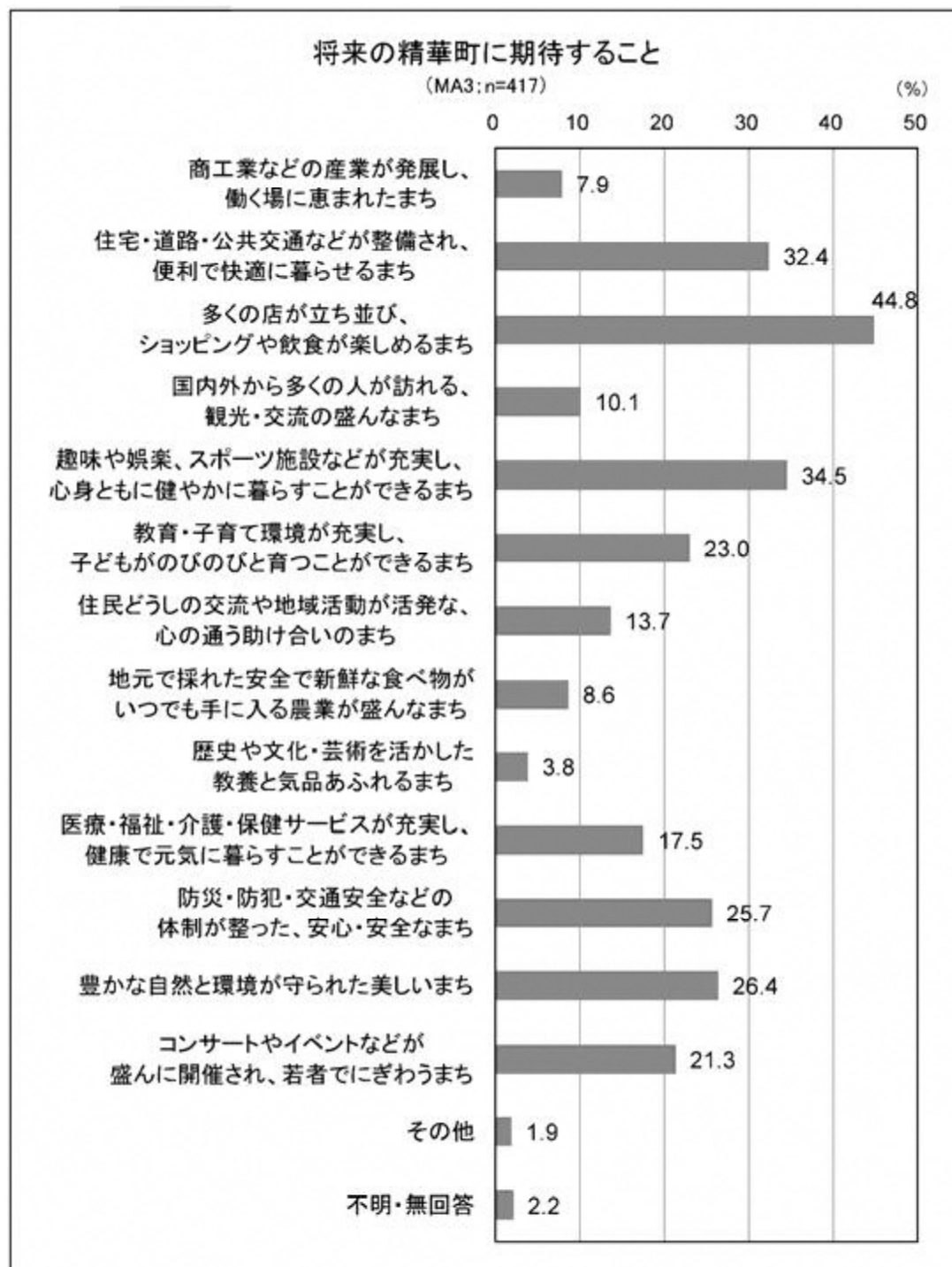
(2) 中学3年生アンケート調査結果

精華町に対する好意については、「好き」（42.2%）が最も多く、次いで「とても好き」（28.1%）、「どちらともいえない」（18.2%）が続きます。

精華町を好きな理由として最も多いものは「自然が多く残っているから」（48.8%）であり、逆に嫌いな理由としては「買い物をする場が少ないから」（75.0%）、「公園やレジャー施設などの遊ぶ場が少ないから」（45.8%）、「文化やスポーツ施設が盛んではないから」（33.3%）などが挙げられています。

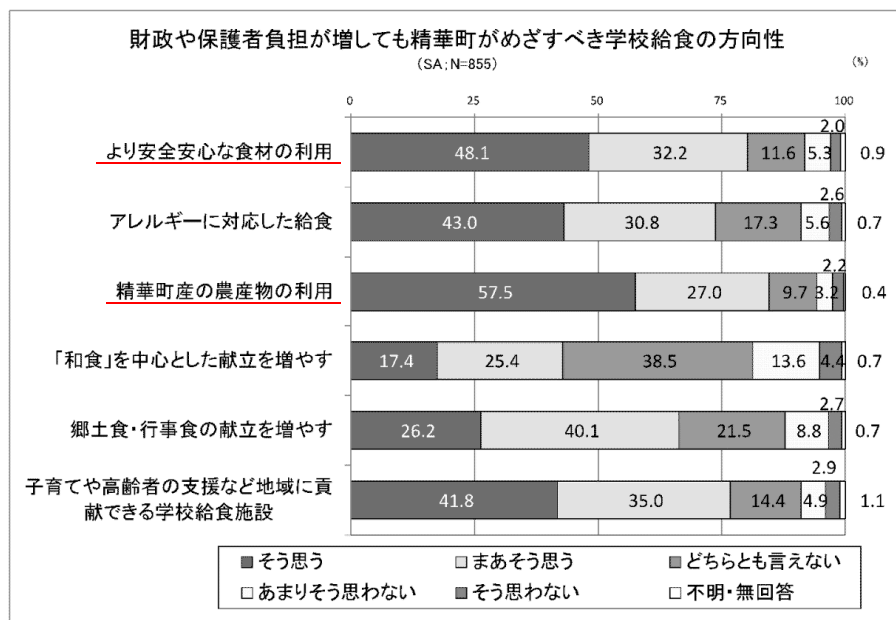


また、将来の精華町に期待することとしては、「多くの店が立ち並び、ショッピングや飲食が楽しめるまち」（44.8%）が最も多く、次いで「趣味や娯楽、スポーツ施設などが充実し、心身ともに健やかに暮らすことができるまち」（35.4%）となっています。

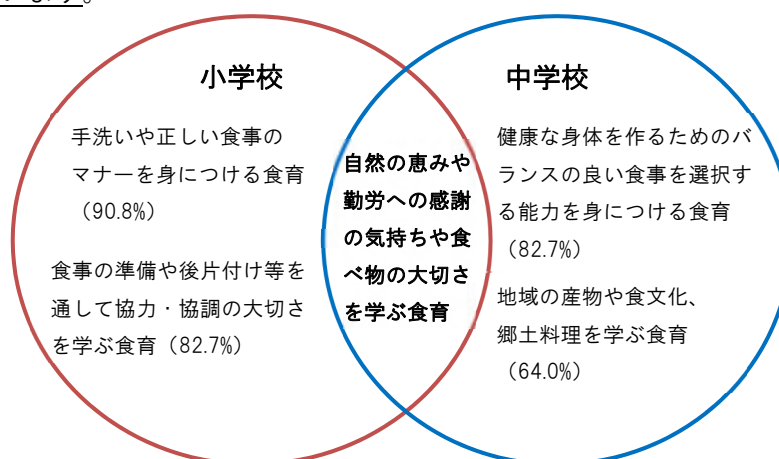


2-4精華町学校給食基本構想に向けた住民アンケート（平成29年2月）

学校給食基本構想策定時に行われた「精華町学校給食基本構想に向けた住民アンケート調査」（平成29年2月実施）によると、精華町がめざすべき学校給食の方向としては、「精華町産の農産物の利用」（57.5%）、「より安全安心な食材の利用」（48.1%）が上位を占めています。



学校給食を通じた食育として期待することにおいては、「小学生」では「手洗いや正しい食事のマナーを身につける食育」（90.8%）、「食事の準備や後片付け等を通して、協力・協調の大切さを学ぶ食育」（86.3%）、「中学生」では、「健康な身体を作るためのバランスの良い食事を選択する能力を身につける食育」（82.7%）、「地域の産物や食文化、郷土料理を学ぶ食育」（64.0%）が上位を占めており、「小学生」「中学生」とともに「自然の恵みや勤労への感謝の気持ちや食べ物の大切さを学ぶ食育」が期待されています。



中学校給食施設をまちづくりの施設として捉えた場合に必要な機能としては、「少子高齢化を見据えて施設の縮減・転用（高齢者向けの配食サービスなど）を可能とした施設」（64.8%）、「災害時などにおける町の防災拠点」（61.5%）が多く望まれています。

3. 事例調査

3-1 防災食育センター関連

(1) だて歴史の杜食育センター（2018 年 1 月供用開始）

所在地	北海道伊達市梅本町 71-8	事業費	内訳	約 46 億 7 千 6 百万円（PFI）
構造・規模	鉄骨造 地上 2 階建			建設一時金：約 20 億 9 千万円
敷地面積	4,000.50 m ²			備品調達・開設準備の割賦料： 約 2 億 7 百万円
最大生産食数	3,300 食			
延床面積	3,301.35 m ²			維持管理運営費：23 億 7 千 8 百万
諸室等	1 階：玄関、炊飯室、焼き物・揚げ物室、煮炊き調理室、コンテナ室、和え物果物室、和え物室前室、洗浄室、野菜下処理室等 2 階：トライアルキッチン、アレルギー調理室、ラウンジ、キッチンスタジオ、研修室等			



（出典）伊達市教育委員会 HP

■特徴

- ・ 安心・安全にはもちろん、おいしさにもこだわっている。
- ・ 最新鋭の設備による衛生管理とともに、アレルギー対応食専用のラインを請け、安心して安全な給食を提供する。
- ・ また、伊達野菜を中心に厳選した食材を使用し、栄養教諭指導のもと、おいしい給食を提供する。
- ・ 食育を推進するための総合食育拠点として、市民の健康増進に向けた食育レストランを併設し正しい食育の知識を育む。
- ・ 近隣施設と連携し、健康なからだづくりをお手伝いする。
- ・ 災害時、食の役割は、あたたかく心を満たすこと。1 日当たり最大 9,900 食の炊き出しを 3 日間可能とする設備が、もしもの時の安心を確保する。

(2)えびの市防災食育センター（2018 年 8 月供用開始）

所在地	宮 崎 県 え び の 市 大 字 大 明 司 1019-1	事業費	内 訳	約 14 億 8 千万円（うち防衛補助額約 11 億円）
構造・規模	鉄骨造 地上 2 階建			建築工事費：約 7 億円、 電気設備工事費：約 1 億 6 千万円 機械設備工事費：約 3 億 8 千万円 厨房機器費等：約 2 億 4 千万円
最大生産食数	1,700 食			
敷地面積	4,998.89 m ²			
延床面積	2,129.36 m ²			
諸室等	本施設 1 階：調理室、配送室、洗浄室、ボイラー室、事務室等 本施設 2 階：会議室、見学通路等 付属棟（車庫）			



（出典）えびの市役所 HP

■特徴

- ・ 防災施設および食育施設としての機能を持っている。
 - 防災施設 … 拠点機能： 支援物資の受入、集積、仕分け、搬送や応援部隊の受入
 - … 備蓄機能： 応急給食実施に必要な米や乾燥具材など備蓄
 - … 応急給食機能： 市内全域の非難生活者を対象とした炊出しなどの実施
 - 食育施設 … 学校給食機能： 市内小中学校に給食を提供する
 - … 食育学習機能： 実際に給食を作っている現場を見学でき、食育・防災・環境などについて学べる
- ・ 炊飯機の機能は、2 時間 30 分で米 500 k g（一人当たりおにぎり 2 個で 5,000 食）を炊けるものになっている。
- ・ 初動時の応急給食は、おにぎり 2 個（米 100 g）と汁物の提供を、一人一日一回とし、インフラの復旧状況や米などの調達物資の状況により可能な限り応急給食を実施する。
- ・ 実際の被災状況による避難生活者数の違いなどにより、提供内容や提供回数を変更するなど、柔軟な対応をとることを前提にしている。
- ・ 応急給食用に米を 510kg 備蓄。（平常時の学校給食で活用しながら備蓄する方式）
 - 1 食 100 g（おにぎり 2 個）× 1,700 食（避難生活者数）× 3 日分 = 510kg
- ・ 汁物については、長期保存が可能な乾燥具材を 1,700 食分備蓄。

(3) 福生市防災食育センター（2017 年 9 月供用開始）

所在地	東京都福生市大字熊川 1606-1		
総事業費	約 40 億円（うち防衛補助額約 29 億円）※福生市会見資料より 本体工事費：約 31 億 2 千万円、小中学校給食関連施設整備費：約 3 億 1 千万円、 施設用備品購入費：約 4 億 4 千万円、防災用備品購入費：約 2 千万円		
構造・規模	鉄骨造・RC 造 地上 2 階建 耐火建築物	概算工事費 内訳	26 億円 ※基本計画時点 建築工事：9 億 5 千万円 電気設備工事：2 億 5 千万円 機械設備工事：5 億 5 千万円 厨房機器工事：5 億円 厨房備品：1 億円 （その他）付属棟工事（車庫棟）： 6 千万円、外構工事：7 千万円、厨 芥施設工事 2 千万円、太陽光発電工 事：1 億円
最大生産食数	4,000 食（最大 4,500 食）		
敷地面積	9,807.58 m ²		
延床面積	4,844.84 m ²		
諸室等	1 階：異物除去洗浄機、ピュアスター、玉ジロー、軽量装置付納米庫、システム調理台、天吊り式消毒装置、連続炊飯システム、連続フライヤー、コンビオーブン、ステンレス回転釜、カゴごと食器洗浄機、厨芥脱水機等 2 階：見学ホール、体験コーナー、調理員食堂、調理員休憩室等		



（出典）福生市 HP

■主な機能と特徴

- ・ 応急給食機能： 災害発生 4 日目以降の最低 3 日間、市内の避難生活者に対し、一人あたり一日一回おにぎり 2 個と温かい汁物を提供する。また、施設を効率活用するため平常時は学校給食を提供する。（市内小中学校 10 校）
- ・ 避難所機能： 避難所、帰宅困難者の一時滞在所になる。
- ・ 拠点機能： 支援物資や応援部隊を受け入れる。
- ・ 備蓄機能： 避難所開設用の防災用備品、応急給食用の米 4,500 k g と汁物用の乾燥具材 45,000 食分を備蓄する。

■施設見学の概要

	団体で施設見学をする場合		個人で施設見学をする場合
試食	有 （20 人以上の団体に限る）	無	原則無し （指定日に限り 20 人未満の団体及び個人を対象 とした試食を伴う見学が実施されている）
時間	2 時間程度	1 時間程度	1 時間程度
受入可能 人数	最大 80 人	最大 120 人	最大 120 人

(4)行橋市防災食育センター（2014 年 4 月供用開始）

所在地	福岡県行橋市東大橋 6-8-1	総事業費 ※行橋市へのヒアリング資料より	約 21 億 3 千万円（うち防衛補助額 12 億 4 千万円）
構造・規模	鉄骨造 地上 2 階建	内訳	造成整備工事：約 6 千 7 百万円 建築主体工事：約 7 億 7 千 8 百万円 電気設備工事：約 2 億 5 千 3 百万円 給排水設備工事：約 2 億 1 千 3 百万円 空調設備工事：約 2 億 7 千万円 太陽光発電設備工事：約 2 千 3 百万円 厨房設備工事：約 4 億 9 千 4 百万円 工事監理委託量等：約 1 千 2 百万円
最大生産食数	約 7,000 食（食物アレルギー対応食特別調理室約 100 食）		
敷地面積	6,228.47 m ²		
延床面積	3,990.05 m ²		
諸室等	1 階：検収室、野菜下処理室、切裁室、クリーンルーム、加熱調理室、和え物室、特別調理室、洗浄室、コンテナプール、揚物・焼物室、炊飯室、米庫等 2 階：見学用廊下、食育多目的室（50～60 名規模）、会議室（40～50 名規模）、自家発電設備（ディーゼルエンジン 270kw）、太陽光発電設備（30kw）等		



（出典）行橋市 HP

■特徴

- ・ 食物アレルギー対応特別調理室（約 100 食／日）を備えており、専用の食缶によって個人別々に対応している。
- ・ 防災講習会や、防災啓発事業を実施している。
- ・ 停電時には自家発電設備により連続炊飯器 2 台と電気釜 2 台が稼働可能である。（連続 24 時間稼働分の燃料も備蓄）
- ・ オール電化であり、太陽光発電設備も装備されている。
- ・ 飲料水（約 60 トン）、白米（約 3 トン）、防火用水・生活用水（約 40 トン）の備蓄が可能。
- ・ 1 階通路及び 2 階食育多目的室より調理作業が見学できるほか、調理室各所にカメラを設置し、モニターでも調理作業が見学できるようになっている。

3-2防災受援施設関連

(1)大枝公園（2018 年 4 月リニューアル、2019 年度全面開園予定）

所在地	大阪府守口市松下町 3 番	総事業費	約 25 億円
公園面積	約 6.3ha	指定管理者	（一財）大阪スポーツみどり財団
主な施設	■西側 多目的球技場（14,880 m²）、テニスコート（3,020 m²）、相撲場（240 m²） パークセンター西（340 m²）、駐車場（西）：32 台、駐輪場：40 m²、 その他：園路・植栽地等（14,190 m²） ■東側（平成 31 年度開設予定） 森の遊び場（1,230 m²）、土の遊び場（3,030 m²）、水の遊び場（550 m²） 遊びの広場（1,250 m²）、ちびっこ広場（330 m²）、駐車場（東）：44 台 駐車場東側広場（500 m²）、パークセンター東（160 m²）、 その他：園路・植栽地等（10,860 m²）		



（出典）守口市 HP、大枝公園 HP

■特徴

- ・ 西側はスポーツやレクリエーションをメインとした公園となっており、東側は幅広い年齢層に対応した遊びの場（遊具のある空間、親水空間、ボール遊びができる広場など）となっている。
- ・ 多目的球技場には人工芝が敷かれ、軟式野球やソフトボール、サッカーやラグビー等などの球技だけでなく、多種多様な利用が可能。また、夜間照明設備が設置され仕事帰りに運動がしたい場合でも利用できる。（多目的競技場の人工芝新設事業と夜間照明整備事業は平成 28 年度スポーツ振興くじ助成金の交付をうけて整備された。）
- ・ 多目的球技場は災害時には大型ヘリコプターが離着陸でき、避難場所としても利用できる。
- ・ テニスコートは屋外・屋内コートが各 2 面備えられており、災害時には物資の保管場所となる。
- ・ パークセンター西には事務所、トイレ、更衣室、シャワー室を完備、パークセンター東にはトイレ、多目的室、防災倉庫が整備されており、災害時の支援活動をサポートする。
- ・ 園路は災害時に支援車両がスムーズに通行できるように計画され、夜間の目印となる太陽照明灯も設置されている。

(2)兵庫県立三木総合防災公園（2010 年 3 月事業完了）

所在地	兵庫県三木市志染町三津田 1708		総事業費	約 550 億円
公園面積	202.5ha			工 事 費：約 271 億円 用地補償費：約 279 億円
指定管理者	（公財）兵庫県園芸・公園協会		球技場等管理 運営受託者	（一社）兵庫県サッカー協会
主な施設	平常時			災害時
	陸上競技場	400mトラック 9 レン 天然芝グラウンド、観客席約 20,000 人、備蓄倉庫、日本陸連第 1 種公認	備蓄倉庫、物資の集積、仕分け、一時保管	
	第 2 陸上競技場	400mトラック 8 レン 天然芝グラウンド、日本陸連第 3 種公認	臨時ヘリポート、物資の集積、仕分け、一時保管	
	野球場	硬式対応 1 面、13,000 m ² （センター122m、両翼 97.5m）	臨時ヘリポート、物資の集積、仕分け	
	屋内テニスコート	9 面 （センターコート 1 面、サブコート 8 面）	活動要員の集結・宿泊・出動、物資の集積、仕分け	
	芝生広場	—	活動要員の集結・宿泊・出動	
	球技場	3 面（天然芝 2 面、人工芝 1 面）		
	駐車場	—		

物資の集配拠点

活動拠点
要員の

■特徴

- 公園に隣接して兵庫県広域防災センター・兵庫県消防学校が立地しており、県全体の防災センターの役割と広域の共助にも資するものとして計画されている。
 - 東日本大震災の際には他府県の消防隊の中継基地としての利用や、県民から提供のあった支援物資の集積、仕分け、発送の際に利用された。
- 陸上競技場のメインスタンドの一部には約 5,000 m²の備蓄倉庫があり、非常食や救援用資材・機材を常備しているほか、フィールド部分では約 300,000 人分の救援物資の調達・集配が可能である。



（出典）兵庫県 HP

(3)いわき市地域防災交流センター 久之浜・大久ふれあい館（2016年2月竣工）

所在地	福島県いわき市久之浜字中町 32 番地	総事業費	約 13 億 5 千万円
構造・規模	RC 造※ 地上 3 階・塔屋 1 階		
敷地面積	約 2,742 m ²	延床面積	約 2,207 m ²
諸室等	1 階 講堂、公民館、支所 2 階 防災倉庫、防災まちづくり資料室、和室、調理実習室 3 階 防災倉庫、防災まちづくり会議室、研修室 等		

※構造：Ⅱ類/非構造部材：A 類/建築設備：甲類

（官庁施設の総合耐震・対津波計画基準（国土交通省大臣官房官庁営繕部）に基づく）

■特徴

- ・ 東日本大震災で津波による甚大な被害を受けた久之浜地区において、支所が持つ防災拠点機能と、公民館が持つまちづくり活動拠点機能を集約するとともに、津波避難ビルとしての機能を備えた防災拠点施設である。
- ・ 平常時は研修室や和室等を貸し出し、各種市民活動や地域コミュニティの形成支援を行う。
- ・ 東日本大震災の経験や教訓を後世に伝え、防災意識の向上を図るための防災まちづくり資料室が設置されている。
- ・ 避難スペースは 260 人分、避難時間 3 日を想定し、その間の機能維持ができるよう非常用電源等の機能を確保している。（太陽光発電設備、自家発電設備、受水槽）



外観



1階入口



3階廊下

（出典）国土交通省資料

(4)佐久総合運動公園 野球場（2019 年 3 月竣工）

所在地	長野県佐久市平賀 3011	総事業費	約 17 億円
公園面積	22.1ha		
概要 （実施設計 結果より）	スタンドの収容人員 グラウンドの規模 グラウンドの仕様 ブルペン	内野：1,800 人、外野：6,550 人、合計：8,350 人 面積：14,000 ㎡、両翼：99.1m、中堅：122m 内野：クレイ（黒土）、外野：ロングパイル人工芝 内野ファールゾーン：高密度人工芝 屋根を設置し、屋内練習場と兼用（幅 10m×長さ 23m）	



（出典）佐久市 HP

■特徴

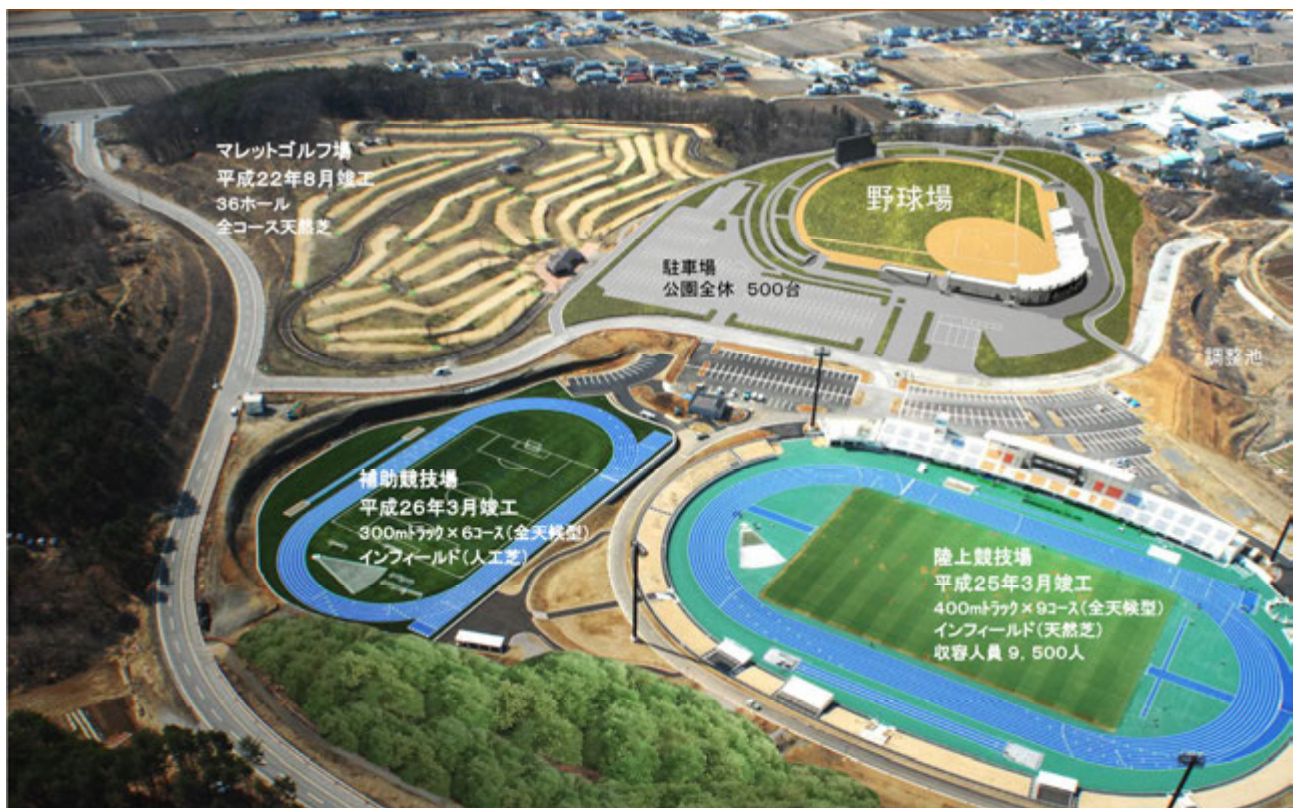
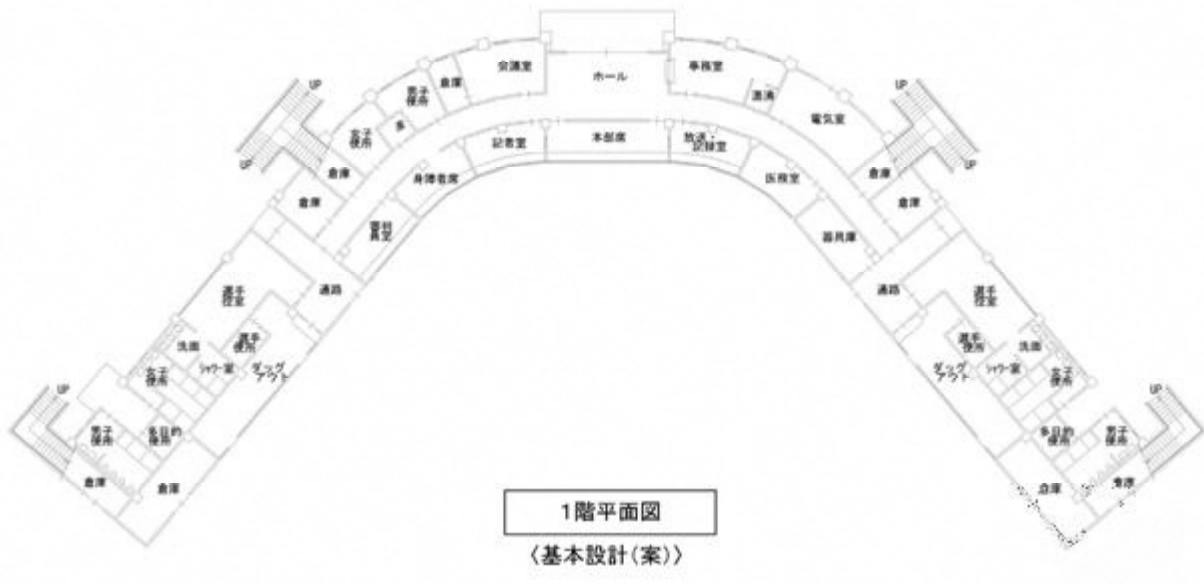
- ・ 佐久総合運動公園は、平成12年度の事業採択より9年が経過した、平成21年度に「国土交通省所管公共事業の再評価実施要領」の規定に基づき、事業再評価を実施した。
- ・ その際、事業の継続は「妥当」と判断されたが「コスト縮減に努める必要がある」との対応方針が示されたことを受け、基本設計の見直しを行い、野球場についてもスタンドの規模、照明設備の照度の見直しが行われた。

■見直しの概要

項目	見直し前	見直し後	備考
スタンド	収容人員：約 10,580 人 内野スタンド：約 2,400 人 外野スタンド：約 8,180 人	収容人員：約 8,100 人 内野スタンド：約 1,600 人 外野スタンド：約 6,500 人	高等学校野球選手権長野大会等の開催に対応できる施設とする。
グラウンド	面積：14,000 ㎡ HB～両翼まで：99.1m HB～センターまで：122.0m	変更なし	プロ野球の規格を満たす施設規模とする。
照明設備	公式競技対応（硬式野球） 内野：1,500 ルクス 外野：800 ルクス	一般競技対応（硬式野球） 内野：750 ルクス 外野：400 ルクス	高等学校野球選手権長野大会等の開催に支障のない照度とする。（県営上田球場と同等な照度）
スコアード	磁気反転式	変更なし	

■野球場スタンドの特徴

- ・1階に障がい者でもバリアフリーで利用できる観覧スペースを設けました
- ・選手控室に隣接してシャワー室を設けました



(出典) 佐久市 HP

(5) (仮称) 浄谷黒川^{きよたに}多目的運動公園（事業中・2020年春完成予定）

所在地	事業中のため地番なし （隣接する既設の野球場： 兵庫県小野市浄谷町 2230-1）	総事業費	約 11 億円 防衛省国庫補助事業（民生安定施設整備事業）を活用。（補助率は 3 分の 2）
公園面積	約 5.4ha		
主な施設	多目的運動広場 （4 種公認陸上競技場 全天候型舗装 400mトラック規模 9 レーン、人工芝サッカー場 1 面）、照明施設、管理棟、防災備蓄倉庫兼体育倉庫、駐車場等		

■特徴

- ・（仮称）浄谷黒川多目的運動公園は、浄谷黒川丘陵地という約 95ha に及ぶ広大地の中のスポーツゾーンに位置している。

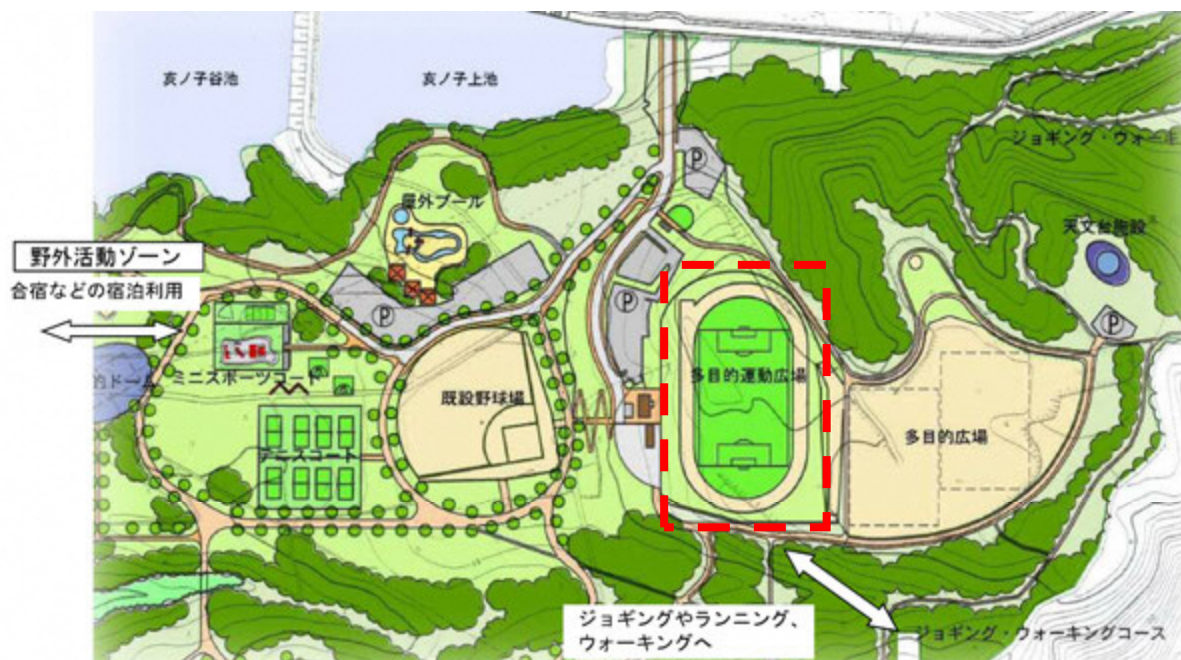
■「浄谷黒川丘陵地土地利用基本計画」での想定

- ・ 400mトラック陸上競技場規模を持つ運動広場とし、ランニングやサッカーなどのスポーツ、面積を活かした野外コンサートなどのイベント等、多目的に利用できる計画とする。
- ・ 将来は、本格的陸上競技場としての整備も視野に入れた計画とする。
- ・ 災害時には避難場所や支援活動拠点としても利用できる計画とする。



（出典）小野市 HP

■施設配置イメージ



（出典）小野市「浄谷黒川丘陵地土地利用基本計画」

4-1 設置要綱

精華町まちづくり基本構想策定懇話会設置要綱

平成30年9月28日
教委要綱第3号

(設置)

第1条 この要綱は、精華町のまちづくりに関する課題解決や安全・安心のまちづくりを推進するための精華町まちづくり基本構想（以下「基本構想」という。）の策定に関し、幅広く検討するため、精華町まちづくり基本構想策定懇話会（以下「懇話会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 懇話会は、基本構想の策定に関し必要な事項について調査及び検討を行い、教育長に提言する。

(組織)

第3条 懇話会は、委員7人以内で組織する。

2 委員は、次に掲げる者のうちから、教育長が委嘱する。

(1) 学識経験者

(2) 各種団体等を代表する者

(3) 前号に掲げる者のほか、教育長が必要と認める者

(委員の任期)

第4条 委員は、構想策定にかかる調査及び検討が終了したときは、解任されるものとする。

(役職)

第5条 懇話会に、座長及び副座長各1人を置く。

2 座長及び副座長は、構成員から互選によって決定する。

3 座長は、会務を総括し、懇話会を代表する。

4 副座長は、座長を補佐し、座長に事故があるときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 懇話会は、座長が必要に応じ招集する。ただし、座長が互選されていないときは、教育長が招集する。

2 懇話会は、構成員の半数以上の出席がなければ開くことができない。

3 座長は、必要があると認めるときは、関係者を会議に出席させ、意見又は説明を求めることができる。

(庶務)

第7条 懇話会の庶務は、精華町教育委員会学校教育課において処理する。

(補則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、懇話会の運営に関し必要な事項は、座長が懇話会に諮って定める。

附 則

この要綱は、公布の日から施行する。

4-2 委員名簿

■精華町まちづくり基本構想策定懇話会委員

(敬称略)

氏名	所属等
宗田 好史	京都府立大学 副学長 生命環境学部 教授（都市・建築計画学）
多々納 裕一	京都大学防災研究所 社会防災研究部門 教授（防災社会システム研究分野）
山本 卓二	公募により選考、光台在住
高鍋 房美	社会教育委員会 副委員長
井原 章	けいはんな学研都市精華地区まちづくり協議会 事務局長
福味 加世子	社会福祉法人精華町社会福祉協議会 理事

■オブザーバー

井上 賢二	近畿中部防衛局企画部周辺環境整備課 課長補佐
山戸 亮介	近畿中部防衛局企画部周辺環境整備課

(1)第1回懇話会（平成30年12月11日）

■検討依頼事項

1. 町北部に点在する文化学術資源を活用した、まちづくりの理念について
2. 災害時の食料供給拠点ともなる「防災食育センター」の構想について
3. 社会体育施設である打越台グラウンドと打越台環境センターの一体活用を含めた生涯学習機能やその他の付加価値機能を有した「防災受援施設」の構想について

■精華町の課題やまちづくりの理念に関する意見

- ・ 外国の方と共生するためのコミュニティを形成するような投資や政策を行って欲しい。
- ・ 地元企業との交流などの取り組み、つながりを作っていくことも重要。
- ・ 精華町の特徴（精華町にしかないもの）として、旧住民、新住民、学研都市の進出企業（最先端の技術など）、自衛隊（防衛省）があり、それを「融合」し理念としてまとめあげることが大切ではないか。
- ・ 自治会の加入率向上やコミュニティ活動の活性化を行うことで、子育て支援や災害時の助け合いにつながる。

■施設整備に関する意見

- ・ 災害時だけ役立つ機能はあまり意味がない。平常時からそれがどう役立つのか考えておく必要がある。
- ・ 災害時にコンビニなどが機能しない場合、給食センターの炊き出し機能が発揮できれば非常に良い。
- ・ 健康、保健、食育を含めた福祉の拠点、高齢者から子どもも含めた健康に関する拠点、これらの総合的な拠点があればと思う。
- ・ 点在する機能を一本化したり連携したりすることで、活動がスムーズになったり、機能が効果的・効率的になったりと思う。
- ・ 防災マップでの浸水域に住んでいる方をどのように安全に逃がすか、避難された方が最初の数日プラス何日間かをどういう形で対応していけるかを考えておく必要がある。そのような際に今回のような防災拠点があれば役立つし、自衛隊の支援の仕方も組み込めれば良い。
- ・ 防災拠点を学習拠点としてワークショップや避難所運営マニュアルの検討などができれば良い。
- ・ 災害派遣経験のある自衛隊の方に来ていただいて講演等をしていただければ、防衛施設のある町として隣の町にはできない防災研修ができるのでは。
- ・ 受援に関しては、熊本地震の際も課題であったが、施設があれば良いが本当に運営できるかは難しいところである。

■防災食育センターの機能に関する意見

- ・ 高齢化が大きな課題としてあるため、食育センターとして位置づけるのであれば高齢者にも食や食育が届くような仕組みが重要ではないか。
- ・ 周囲でも配食を利用しているお年寄りはいるが、それだけでは後に繋がらないと思う。自分も歩いて行って、配食と同じものであったとしても、そこで集まって食べられるような施設があれば良いのではないか。
- ・ 精華中学校には精華中学校コミュニティ協議会有り、そこにはシニア・スクール部会もあるため、そちらとうまく連携できればさらに良いのではないか。
- ・ 食育の面で、学校教育に関わって行くことやどう貢献できるのかという視点があると良い。
- ・ 防災食育センターは何かあった時の為のセンターであるから、平常時でも訪れやすくあるべき。
- ・ 防災に関しても食育センターよりも各学校の調理室をもっと充実させるべきではないか。
- ・ 平時のアレルギー対応の充実とともに、災害時にもアレルギー対策の拠点として、アレルギーを持った避難者の対応も可能となるような施設を作れば良いと思う。

■その他まちづくりに関する意見

- ・ 今、住んでいる子どもたちが大人になった時に、同じように自分の子どもと住みたいと思えるまちにしたい。こういうのが構想ではないかと思う。
- ・ 進出企業の従業員の方が地域に根づいたり、住民が企業に勤めたりするなど、職住近接のまちづくりを進めることが大切。
- ・ 子どもたちがおじいさんやおばあさんのノウハウを自然と身に付ける、そういう内容を構想に含めることが良いと思う。
- ・ アンケートには、交通網に関して、くるりんバスしか足がなく、それだけでは本数が少なく不便であるとの意見があった。高齢者あるいは人口の少ない地域からのアクセスを何らかの形で祝園駅に集めることができれば、その多くは解決できるのではないか。
- ・ 活性化していくにはインフラを便利にし、若い人がどんどん入ってきて、職場や住居も町内にある必要がある。職住近接するのであれば、学校等、子育て世代の人がそこに住みたいかどうかという議論が必要である。
- ・ 精華町を活性化されたサステナブルコミュニティとして、住んでいる人たちが満足して誇りを持てるような、精華町内で全てが自己完結できるようなまちにしていきたい。

住んでいる人が入れ替わる、新陳代謝するまちとするには、魅力のあるまち、景観や物語を作っていくことが大切で、時には地区計画などで規制をかけるなどして、コントロールしていくことも必要。

■まちづくりの理念に対する方向性

- ・ 現在、精華町のまちづくりは大きな転換点にあり、北部地域では民間による開発も予定されているが、打越台の施設については周辺の豊かな自然を生かすことが大切であり、給食センターを含む祝園駅周辺については、子育て世代や若い人たちが住みたくなるような魅力的なまちづくりに、展望や計画をしっかり持った上で取り組む必要がある。

(3)第3回懇話会（平成31年3月6日）

■防災受援施設の機能に関する意見

■まちづくりの理念

5. 住民アンケート調査

5-1 調査票

「あなたご自身のこと」についておたずねします

問1 あなたご自身のことについておたずねします。それぞれあてはまるものを1つずつ選び、番号に○を付けてください。

(1) 性別	1. 男性	2. 女性	3. 無回答
(2) 年齢	1. 16～19 歳 4. 40～49 歳 7. 70 歳以上	2. 20～29 歳 5. 50～59 歳	3. 30～39 歳 6. 60～69 歳
(3) 住宅	1. 持家（一戸建て） 3. 借家	2. 持家（マンション） 4. その他（ ）	
(4) 精華町 にお住まいの 年数	1. ～ 5 年 4. 21 年～30 年	2. 6～10 年 5. 31～40 年	3. 11～20 年 6. 41 年以上
(5) お住まい のある小学校区	1. 精北小学校区 4. 東光小学校区 6. わからない（お住まいの自治会名などをご記入ください）	2. 川西小学校区 5. 精華台小学校区	3. 山田荘小学校区
(6) 同居して いる家族構成	1. 単身 4. 三世代	2. 夫婦のみ 5. その他（ ）	3. 親子
(7) 職業等	1. 農林業 5. 学生	2. 自営業 6. 無職	3. 会社員 7. その他（ ）



1～5 を選んだ方におたずねします

職場・学校は どこですか？	1. 精華町内	2. 京都府内	3. 大阪府内	4. 奈良県内	5. その他（ ）
------------------	---------	---------	---------	---------	--------------------------------

安全・安心で健やかな暮らしのまちづくりについておたずねします

問 2 大地震、大雨、水害などに備える防災や減災についてどの程度意識していますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

1. かなり意識している（かなり意識するようになった）
2. 少なからず意識している（少なからず意識するようになった）
3. あまり意識していない
4. まったく意識していない

問 3 大きな地震災害や水害などの災害が身近で起きると考えた際に、何について不安に思われますか。特に不安に思われるものを3つまで選び、番号に○を付けてください。

1. 無事に避難できるかについて
2. 家族、親族らの安否について
3. 学校や職場など外出先から無事に帰宅できるかについて
4. 建物の倒壊について
5. 水道、電気、ガス等のライフライン、道路、橋などが寸断されることについて
6. 津波、浸水、堤防の決壊
7. 地割れ、陥没、液状化現象について
8. 土砂崩れ、崖崩れについて
9. 避難所などでの生活環境について
10. 食料、飲料水、日用品の確保について
11. 心身の健康について
12. お年寄りや障害のある方の介護について
13. 子どもの保育や教育について
14. 仕事や収入について
15. その他（ ）

問 4 精華町では、毎年防災訓練を行っています。あなたは、今までに精華町の実施する防災訓練に参加したり、見学したことがありますか。あてはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。（※）

1. 参加したことがある
2. 参加したことはないが、見学したことはある
3. 訓練が行われていることは知っていたが、参加したり見学したことはない
4. 訓練が行われていることを知らなかった

※各小学校区の輪番制により実施しています。

問 5 あなたは災害時に避難救護活動を行う施設、特に注意すべき場所、防災知識などを取りまとめた「精華町防災マップ」や「精華町地震ハザードマップ」を知っていますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- 1. 見たことがあり、見るができるように保管している
- 2. 見たことはあるが、保管していない
- 3. 見たことがない
- 4. 自宅の危険度を知っている
- 5. 最寄りの避難所を知っている

問 6 あなたは災害に備えて具体的にどういった取組をされていますか。
あてはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- 1. 地域の集合場所や避難所、避難経路を確認している
- 2. 家族の安否確認方法や集合場所を決めている
- 3. 停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している
- 4. 食料品の買い置きや非常食を用意している
- 5. 非常用持出袋（※）を用意している
- 6. 家具の固定など転倒防止対策を行っている
- 7. 自宅建物や家財を対象とした地震保険（地震共済を含む）に加入している
- 8. いつも風呂の水をためおきしている
- 9. その他（ ）
- 10. 特に何もしていない

※ 携帯ラジオや衣類、非常食などをひとつにまとめたもの

問 7 あなたは「自助」・「共助」・「公助」という言葉をご存知ですか。
あてはまるものを1つ選び、番号に○を付けてください。

- 1. 聞いたことがあり、言葉の意味も理解している
- 2. 聞いたことはあるが、言葉の意味はわからない
- 3. 聞いたことがない

※自助・共助・公助の言葉の意味は6ページ目の下部に記載しています

問 8 災害時、行政による活動のほかに、地域における共助の一翼を担うべきものは何だと思いますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

- | | |
|---------------|-----------------|
| 1. 町内会や自治会など | 2. 学校の PTA 組織など |
| 3. ボランティア組織など | 4. 企業等の自主組織 |
| 5. 個人一人ひとり | 6. その他（ ） |

問 9 災害時、地域による共助が機能するために、重要なものは何だと思いますか。あてはまるものを 2 つまで 選び、番号に○を付けてください。

1. 精華町からの情報提供（ホームページや広報誌での発信）
2. まちづくりや災害時の共助の体制について話し合う機会づくり（ワークショップの開催など）
3. まちづくり協議会や自主防災組織などの体制づくり
4. 専門家による講演会の開催
5. まちづくり活動・防災訓練などへの助成
6. 日頃からの交流、声かけ活動
7. 防災機能を持った施設の整備
8. その他（ ）

問 10 まちとしての防災機能の充実を図るために、重要だと思われる機能は何だと思いますか。
重要度が高いと思う機能を すべて 選び、番号に○を付けてください。

1. 避難施設の整備・強化
2. 備蓄物資の保管機能
3. 救援物資の集積機能
4. 消防能力の強化
5. 他の自治体や関係機関（消防隊や自衛隊を含む）の活動拠点
6. 災害ボランティアの活動拠点
7. その他（ ）

問 11 避難施設において重要なものは何だと思いますか。
特に重要度が高いと思うものを 2 つ 選び、番号に○を付けてください。

1. 空調設備
2. トイレの充実
3. 情報通信機能の充実（WiFi など）
4. 備蓄倉庫
5. バリアフリー
6. 高齢者、乳幼児、妊婦、障害者など要配慮者のための福祉スペース
7. その他（ ）

問 12 あなたは、地域や社会との関わりのためにどのような活動に参加している、もしくは、参加してみたいと思いますか。あてはまるものをすべて選び、番号に○を付けてください。

1. 趣味に関する活動（音楽、美術、書道、写真、博物館めぐりなど）
2. 健康・スポーツに関する活動（ラジオ体操、ジョギング、水泳など）
3. 防犯・防災に関する活動（防犯パトロール、消防団、自主防災組織など）
4. 子育て・育児を支援する活動（地域の見守り隊や子育てサークルなど）
5. 地域の環境保全に関する活動（清掃活動、地域花壇など）
6. 地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動（神社のお祭り、語りべ活動など）
7. 地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動（観光ガイド、農業委員会など）
8. 障がいのある方や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動
9. その他（ ）
10. 特に参加していないし、今後も参加したいと思わない

問 13 生涯学習（※）を通じて地域交流を活発にするために精華町が取り組むべきことは何だと思いますか。あてはまるものを2つまで選び、番号に○を付けてください。

1. 魅力的な講座や教室の開催
2. 利用しやすい公共施設の拡充
3. 生涯学習に関する情報の提供
4. 文化・スポーツイベントの開催
5. 生涯学習に関する相談窓口の充実
6. 仕事や就職に役立つ講座の開催
7. 生涯学習活動に対する表彰
8. その他（ ）
9. 特に思いつかない

※ 一人ひとりが、自分の人生を楽しく豊かにするために、生涯のいろいろな時期に、自分から進んで行う学習やスポーツ、文化活動、ボランティア活動、趣味などのさまざまな活動のこと

問 14 生涯学習の充実のために必要な施設は何だと思いますか。あてはまるものを2つまで選び、番号に○を付けてください。

1. 野球、サッカー、ゲートボールなどができるグラウンド
2. テニスコート
3. 体育館や室内プール
4. ウォーキングやランニングコース
5. 文化活動に使用できる会議室や多目的ホールなど
6. 文化財の展示施設
7. その他（

問 15 最後に精華町のこれからのまちづくりについて、ご意見等ございましたらお聞かせ下さい。

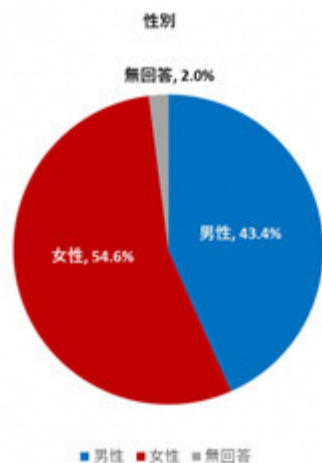
～ご協力ありがとうございました～

「 自助 」とは	自分の身は自分で守ること
「 共助 」とは	地域や身近にいる人どうしが助け合うこと
「 公助 」とは	国や地方公共団体が行う救助・援助・支援

5-2集計結果（単純集計）

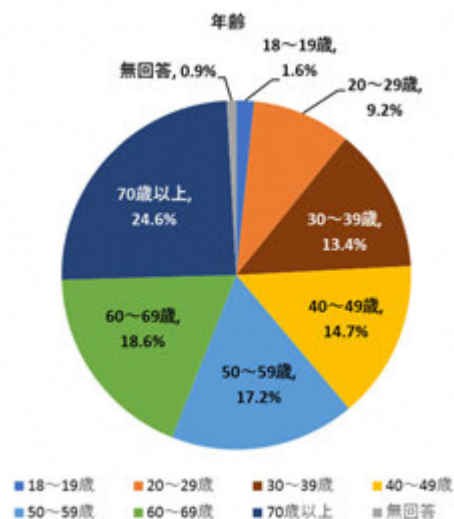
問1（1） 性別

		件数	割合
1	男性	346	43.4%
2	女性	436	54.6%
3	無回答	16	2.0%
	総計	798	100.0%



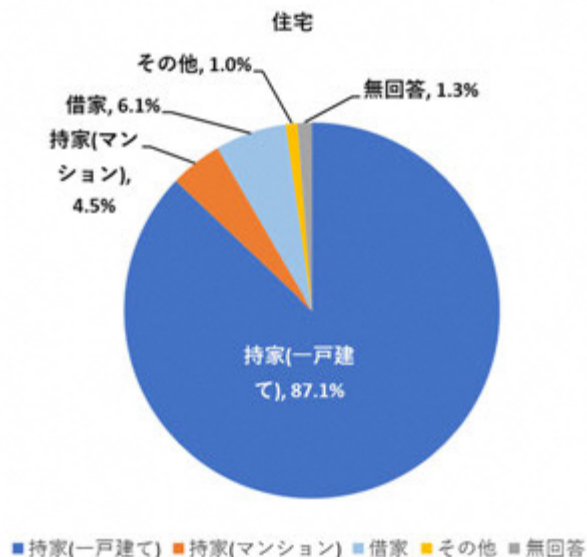
問1（2） 年齢

		件数	割合
1	18～19歳	13	1.6%
2	20～29歳	73	9.2%
3	30～39歳	107	13.4%
4	40～49歳	117	14.7%
5	50～59歳	137	17.2%
6	60～69歳	148	18.6%
7	70歳以上	196	24.6%
0	無回答	7	0.9%
	総計	798	100.0%



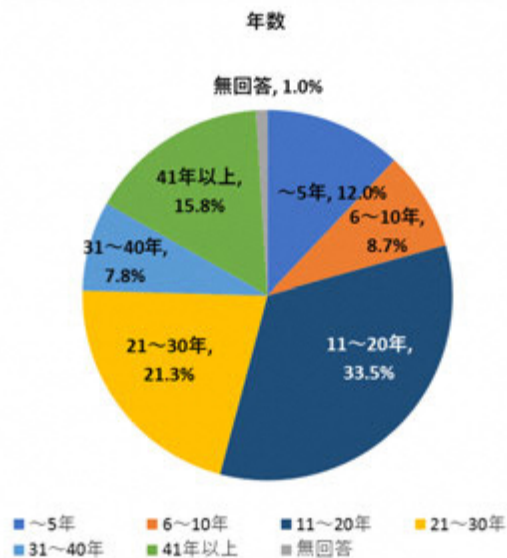
問 1 (3) 住宅

		件数	割合
1	持家(一戸建て)	695	87.1%
2	持家(マンション)	36	4.5%
3	借家	49	6.1%
4	その他	8	1.0%
0	無回答	10	1.3%
	総計	798	100.0%



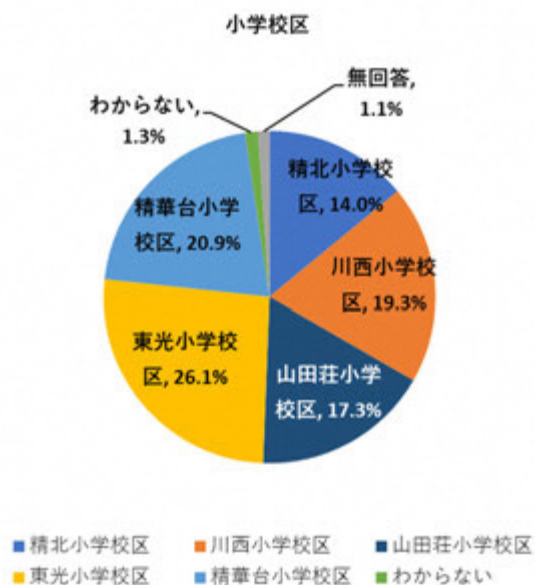
問 1 (4) 精華町にお住まいの年数

		件数	割合
1	～5年	96	12.0%
2	6～10年	69	8.7%
3	11～20年	267	33.5%
4	21～30年	170	21.3%
5	31～40年	62	7.8%
6	41年以上	126	15.8%
0	無回答	8	1.0%
	総計	798	100.0%



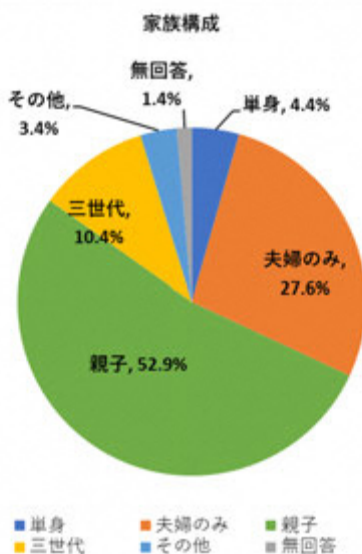
問１（５） お住まいのある小学校区

		件数	割合
1	精北小学校区	112	14.0%
2	川西小学校区	154	19.3%
3	山田荘小学校区	138	17.3%
4	東光小学校区	208	26.1%
5	精華台小学校区	167	20.9%
6	わからない	10	1.3%
0	無回答	9	1.1%
	総計	798	100.0%



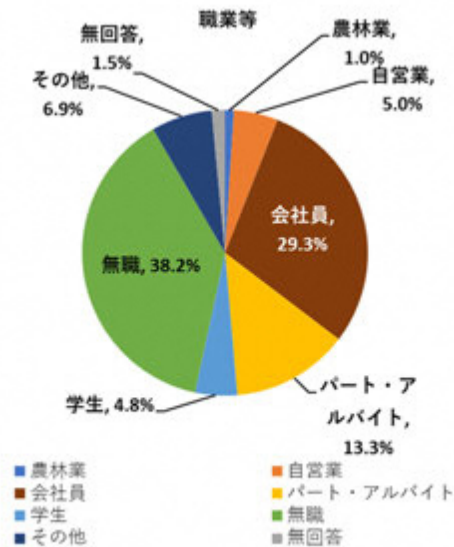
問１（６） 同居している家族構成

		件数	割合
1	単身	35	4.4%
2	夫婦のみ	220	27.6%
3	親子	422	52.9%
4	三世代	83	10.4%
5	その他	27	3.4%
0	無回答	11	1.4%
	総計	798	100.0%



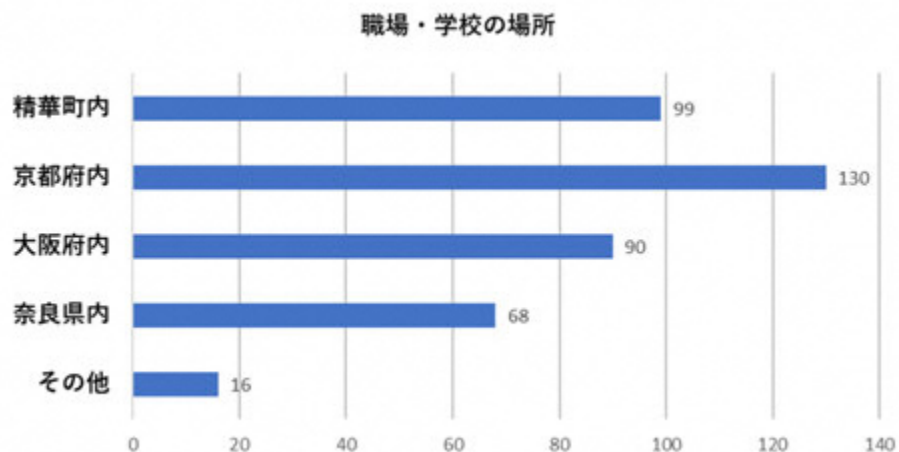
問1（7-1） 職業等

		件数	割合
1	農林業	8	1.0%
2	自営業	40	5.0%
3	会社員	234	29.3%
4	パート・アルバイト	106	13.3%
5	学生	38	4.8%
6	無職	305	38.2%
7	その他	55	6.9%
0	無回答	12	1.5%
	総計	798	100.0%



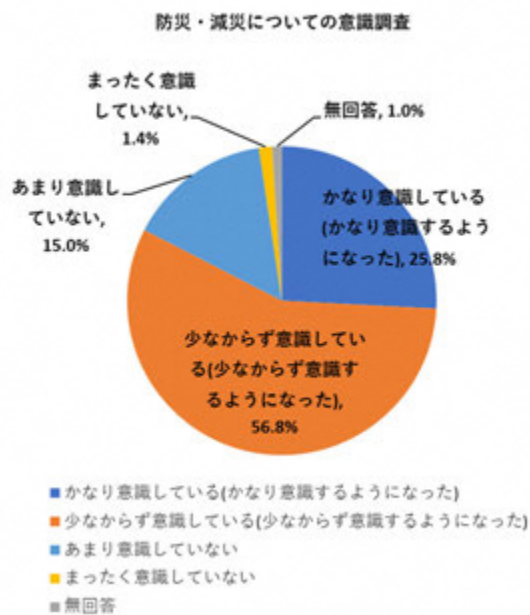
問1（7-2） 職場・学校の場所

		件数	割合
1	精華町内	99	24.6%
2	京都府内	130	32.3%
3	大阪府内	90	22.3%
4	奈良県内	68	16.9%
5	その他	16	4.0%
	総計	403	100.0%



問2 大地震、大雨、水害などに備える防災や減災についてどの程度意識していますか。

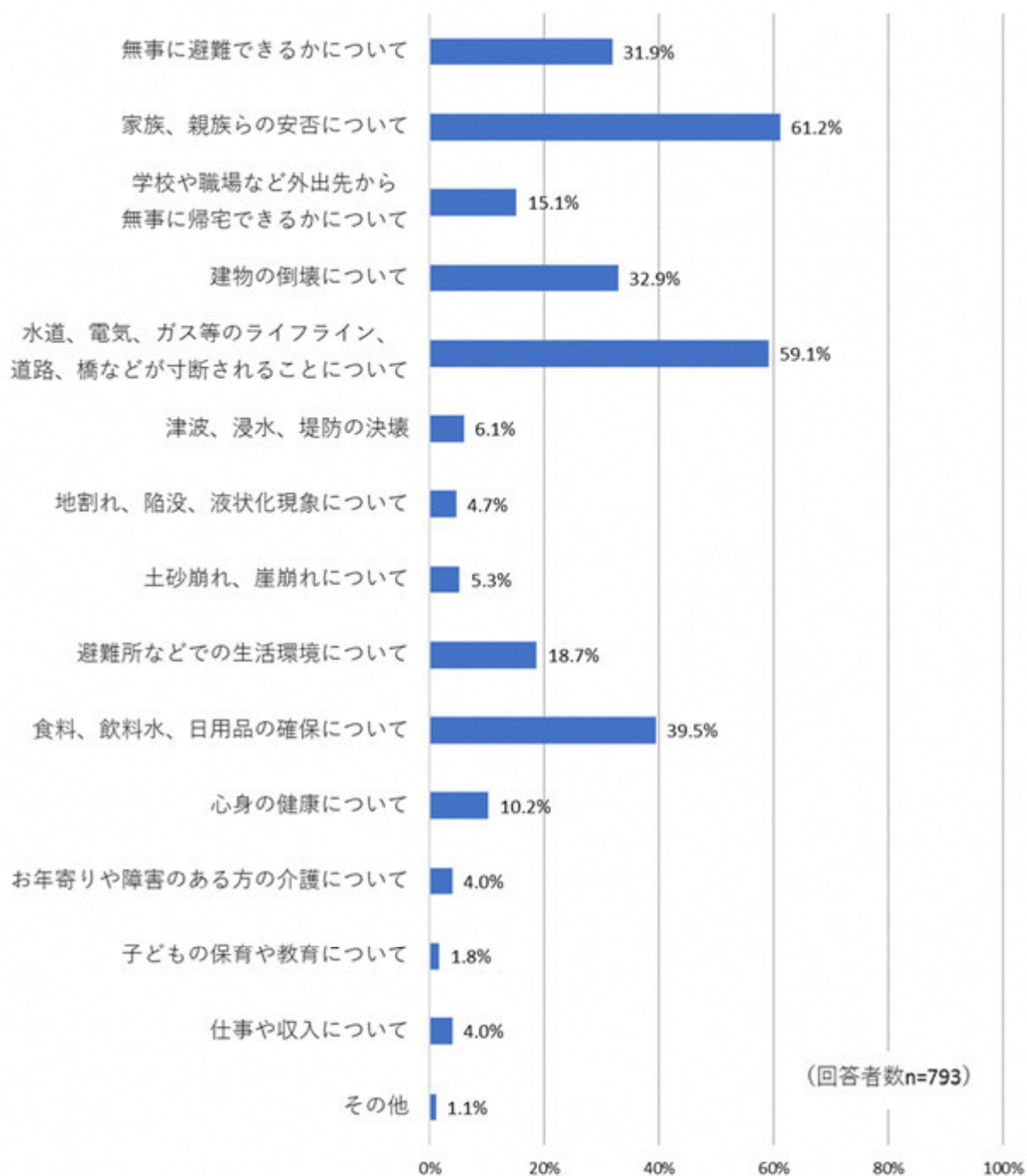
		件数	割合
1	かなり意識している(かなり意識するようになった)	206	25.8%
2	少なからず意識している(少なからず意識するようになった)	453	56.8%
3	あまり意識していない	120	15.0%
4	まったく意識していない	11	1.4%
0	無回答	8	1.0%
	総計	798	100.0%



問3 大きな地震災害や水害などの災害が身近で起きると考えた際に、何について不安に思われますか。（3つまで回答可）

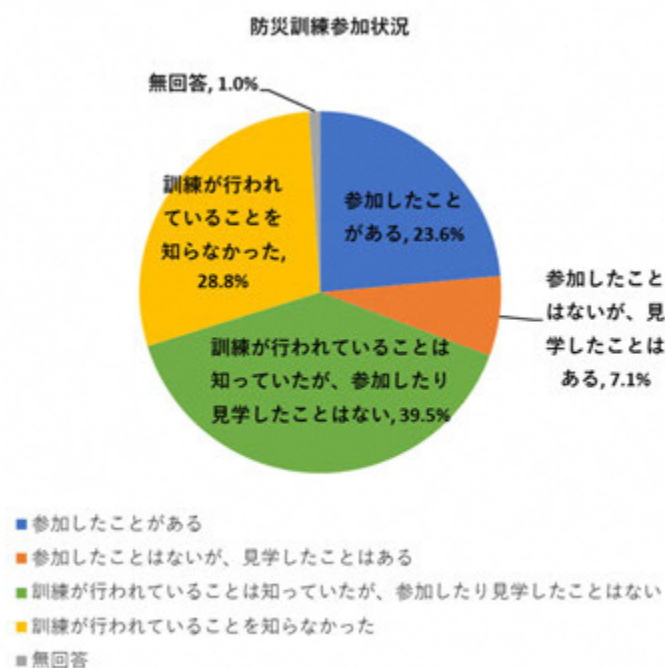
	件数	回答率
1 無事に避難できるかについて	253	31.9%
2 家族、親族らの安否について	485	61.2%
3 学校や職場など外出先から 無事に帰宅できるかについて	120	15.1%
4 建物の倒壊について	261	32.9%
5 水道、電気、ガス等のライフライン、 道路、橋などが寸断されることについて	469	59.1%
6 津波、浸水、堤防の決壊	48	6.1%
7 地割れ、陥没、液状化現象について	37	4.7%
8 土砂崩れ、崖崩れについて	42	5.3%
9 避難所などでの生活環境について	148	18.7%
10 食料、飲料水、日用品の確保について	313	39.5%
11 心身の健康について	81	10.2%
12 お年寄りや障害のある方の介護について	32	4.0%
13 子どもの保育や教育について	14	1.8%
14 仕事や収入について	32	4.0%
15 その他	9	1.1%
総計	2344	—

災害時に不安に思うこと（3つまで回答可）



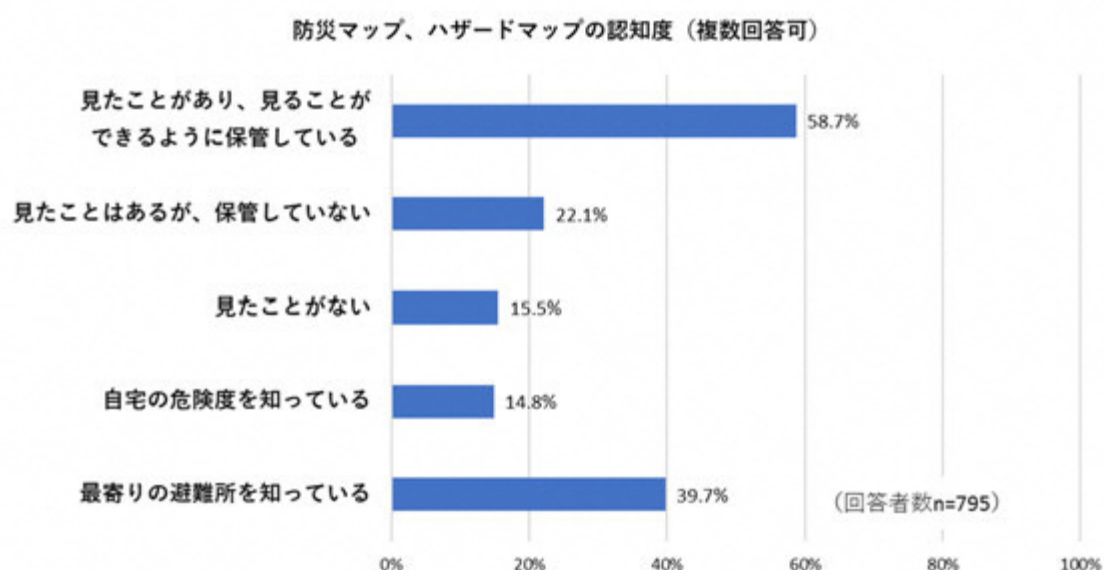
問4 精華町では、毎年防災訓練を行っています。あなたは、今までに精華町の実施する防災訓練に参加したり、見学したことがありますか。

		件数	割合
1	参加したことがある	188	23.6%
2	参加したことはないが、見学したことはある	57	7.1%
3	訓練が行われていることは知っていたが、参加したり見学したことはない	315	39.5%
4	訓練が行われていることを知らなかった	230	28.8%
0	無回答	8	1.0%
	総計	798	100.0%



問5 あなたは災害時に避難救護活動を行う施設、特に注意すべき場所、防災知識などをとりまとめた「精華町防災マップ」や「精華町地震ハザードマップ」を知っていますか。（複数回答可）

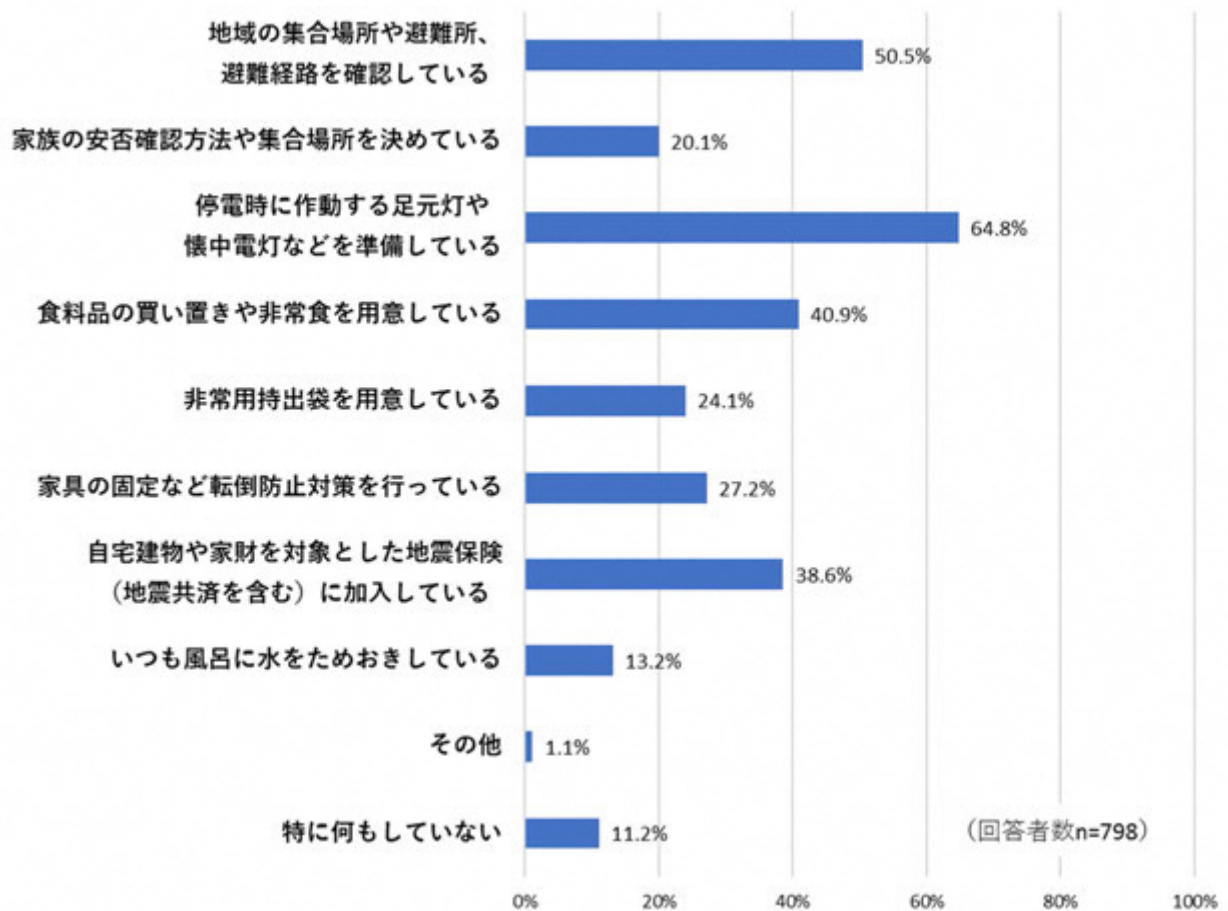
		件数	回答率
1	見たことがあり、見るができるように保管している	467	58.7%
2	見たことはあるが、保管していない	176	22.1%
3	見たことがない	123	15.5%
4	自宅の危険度を知っている	118	14.8%
5	最寄りの避難所を知っている	316	39.7%
	総計	1200	—



問6 あなたは災害に備えて具体的にどのような取組をされていますか。（複数回答可）

		件数	回答率
1	地域の集合場所や避難所、避難経路を確認している	403	50.5%
2	家族の安否確認方法や集合場所を決めている	160	20.1%
3	停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している	517	64.8%
4	食料品の買い置きや非常食を用意している	326	40.9%
5	非常用持出袋を用意している	192	24.1%
6	家具の固定など転倒防止対策を行っている	217	27.2%
7	自宅建物や家財を対象とした地震保険（地震共済を含む）に加入している	308	38.6%
8	いつも風呂に水をためおきしている	105	13.2%
9	その他	9	1.1%
10	特に何もしていない	89	11.2%
	総計	2326	—

災害に備えての取り組み（複数回答可）

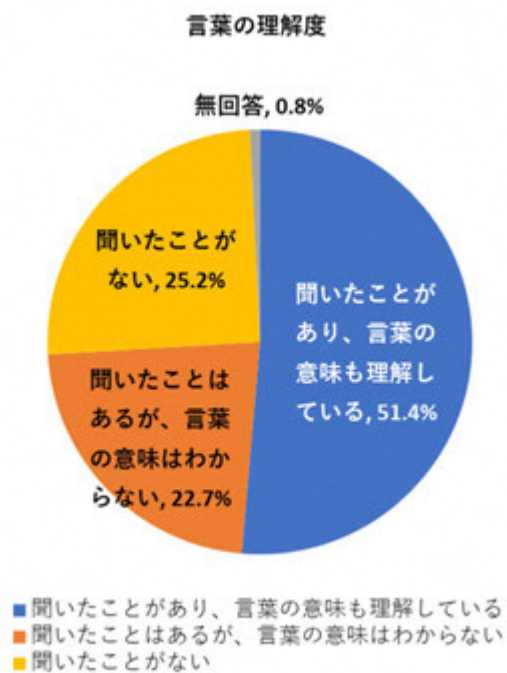


「その他」の回答

- 雨水タンクをつけている。
- ペットボトルに水を入れ保管。2 l × 12本
- 貴重品をまとめて置いてある。
- 大きなペットボトル10数本に水を溜めている。カセットコンロ・石油ストーブ・灯油・炭（コンロ共）を準備している。
- 常に意識して行動している。
- ガレージにペーパー・洗剤・簡易トイレ・ガスコンロ等々、災害時使用できる物を置いている。
- 飲料水を備えておくこと。
- 趣味のキャンプ用品があるのでサバイバルには対応できると思う。
- 雨水タンクの水等、いざという時に利用できるよう考えている。

問7 あなたは「自助」・「共助」・「公助」という言葉をご存知ですか。

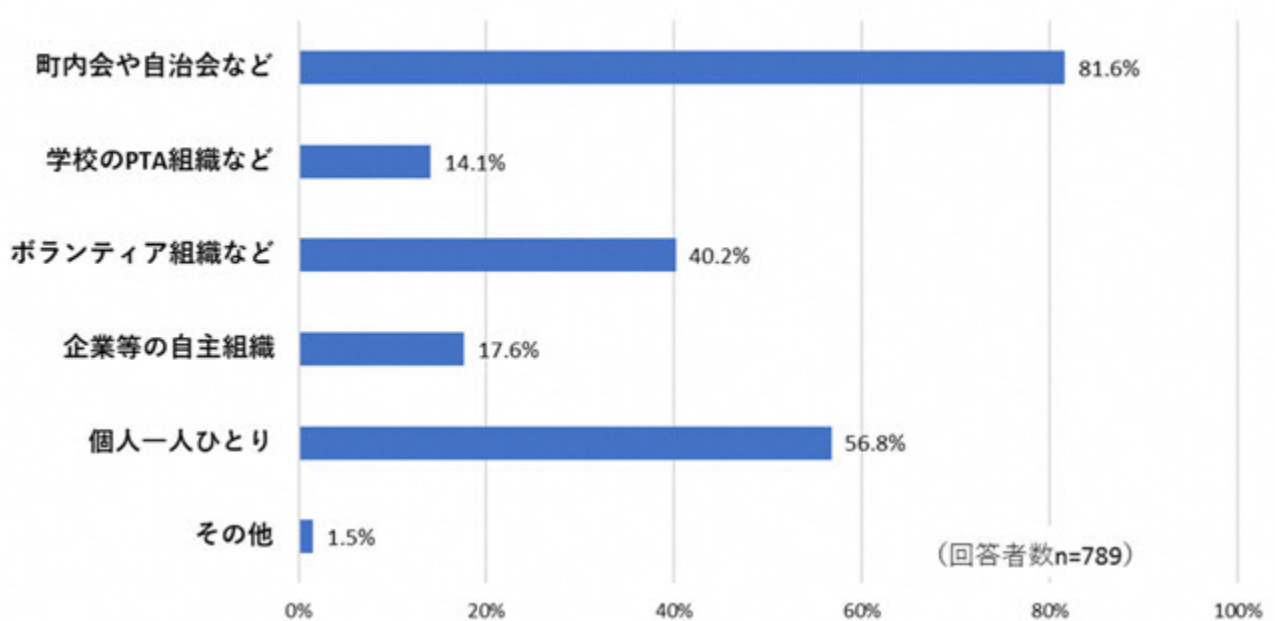
		件数	割合
1	聞いたことがあります、言葉の意味も理解している	410	51.4%
2	聞いたことはあるが、言葉の意味はわからない	181	22.7%
3	聞いたことがない	201	25.2%
0	無回答	6	0.8%
	総計	798	100.0%



問8 災害時、行政による活動のほかに、地域における共助の一翼を担うべきものは何だと思いますか。（複数回答可）

		件数	回答率
1	町内会や自治会など	644	81.6%
2	学校のPTA組織など	111	14.1%
3	ボランティア組織など	317	40.2%
4	企業等の自主組織	139	17.6%
5	個人一人ひとり	448	56.8%
6	その他	12	1.5%
	総計	1671	—

災害時、地域における共助の一翼を担うべきもの（複数回答可）



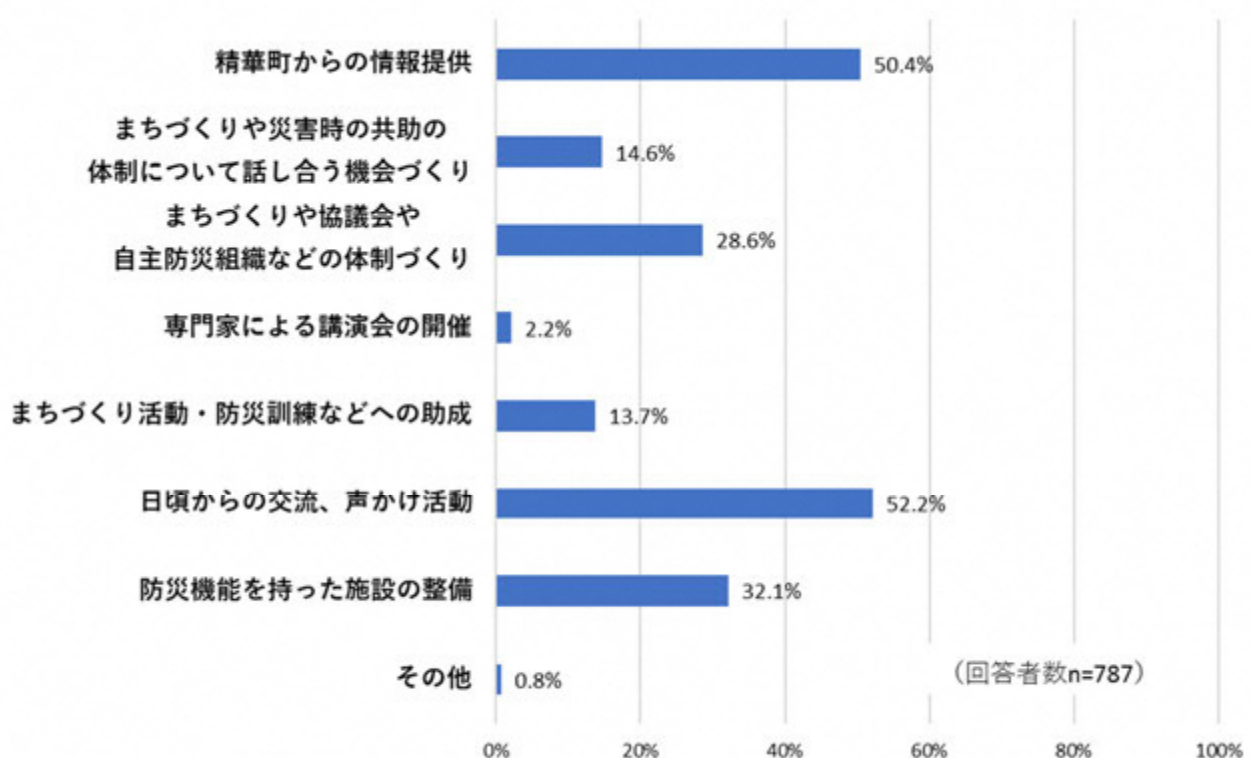
「その他」の回答

- ご近所（5件）
- わからない（2件）
- 消防団
- 期待していない。
- 友人 知人

問9 災害時、地域による共助が機能するために、重要なものは何だと思いますか。（2つまで回答可）

		件数	回答率
1	精華町からの情報提供	397	50.4%
2	まちづくりや災害時の共助の体制について話し合う機会づくり	115	14.6%
3	まちづくりや協議会や自主防災組織などの体制づくり	225	28.6%
4	専門家による講演会の開催	17	2.2%
5	まちづくり活動・防災訓練などへの助成	108	13.7%
6	日頃からの交流、声かけ活動	411	52.2%
7	防災機能を持った施設の整備	253	32.1%
8	その他	6	0.8%
	総計	1532	—

災害時、地域による共助が機能するために、重要なもの（2つまで回答可）



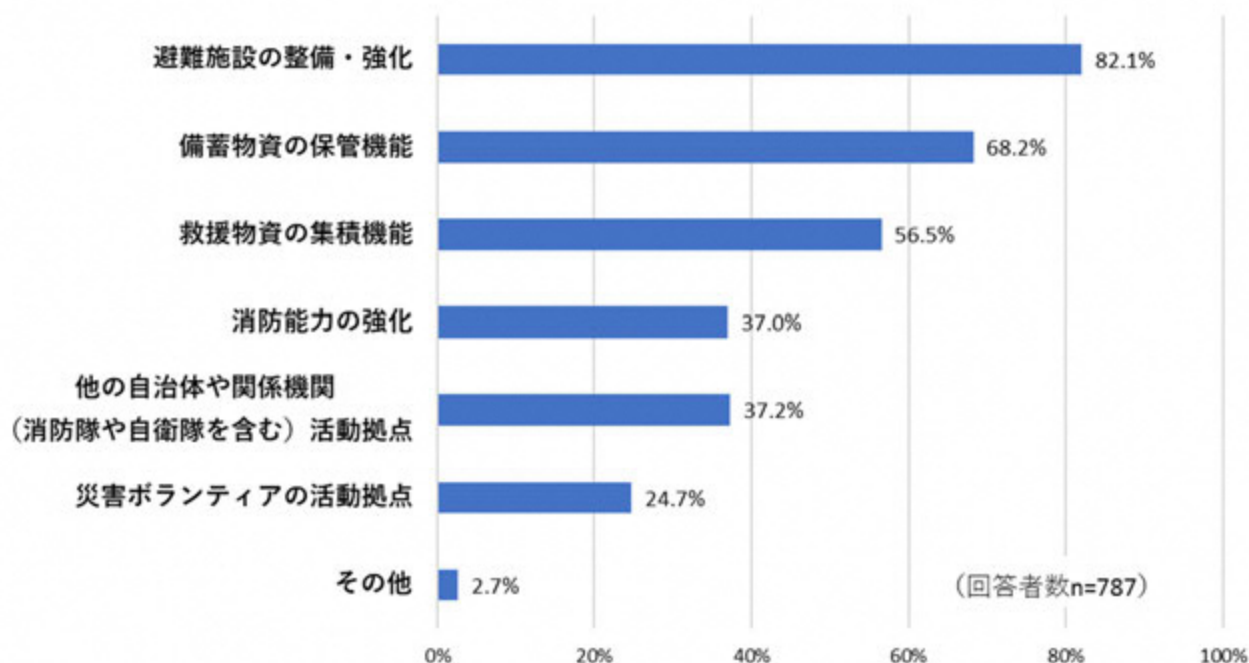
「その他」の回答

- わからない（2件）
- 自治会のあり方。
- 共助の必要性・意識を全ての町民が持てるように…でなければ意味なし。
- 行政による雇入れ制度。

問10 まちとしての防災機能の充実を図るために、重要だと思われる機能は何だと思いますか。
(複数回答可)

		件数	回答率
1	避難施設の整備・強化	646	82.1%
2	備蓄物資の保管機能	537	68.2%
3	救援物資の集積機能	445	56.5%
4	消防能力の強化	291	37.0%
5	他の自治体や関係機関 (消防隊や自衛隊を含む) 活動拠点	293	37.2%
6	災害ボランティアの活動拠点	194	24.7%
7	その他	21	2.7%
	総計	2427	—

防災機能の充実を図るために重要な機能 (複数回答可)

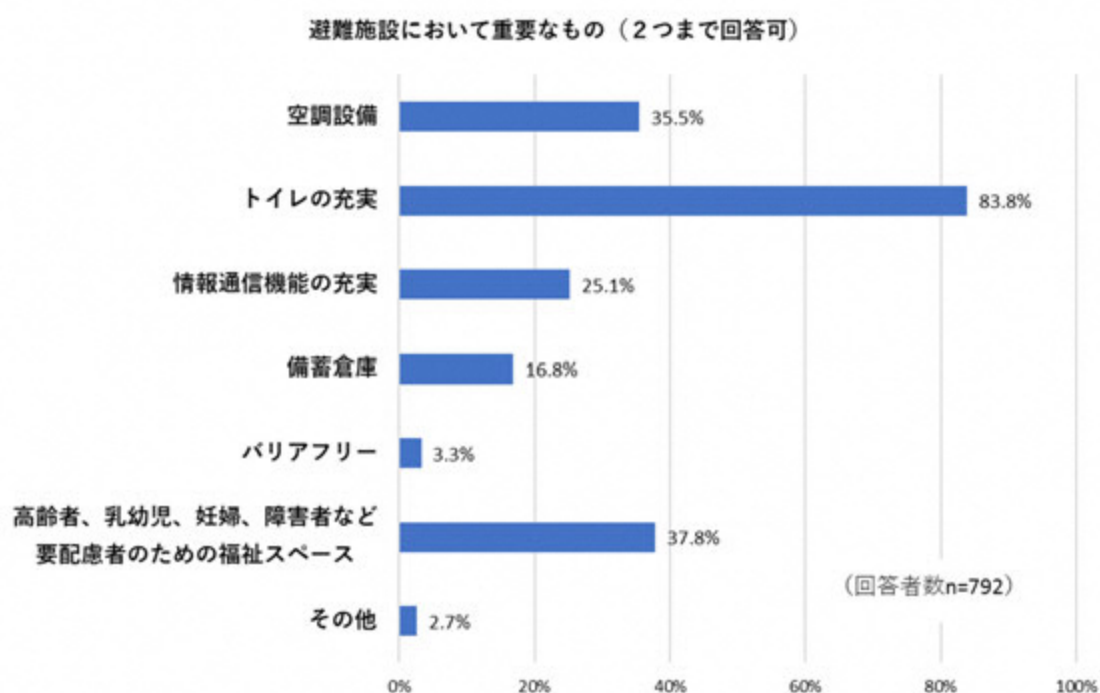


「その他」の回答

- 防災を想定した町づくり・環境づくり・整備。
- 町民の防災能力の底上げ。つまり教育が一番大事。人間が育たなければ何をやっても意味がない。
- 早く正確な情報発信。
- ヘリポート拠点
- わからない
- 精華町駐在の自衛隊の協力関係づくり。
- 町民への災害意識の強化。
- 情報をどう管理し、どう伝達していくかのフレームワーク。
- 水の供給・電気の供給の災害時の整備。
- 住民意識への啓蒙 (正常性バイアスなど)
- 河川の治水対策 (スス谷川)
- 地区毎のまとまりを町は知って頂きたい。
- 昼間子供が世話になっても親は知らぬ顔。近所付き合いを心掛けるべし。何をしても留守宅が多すぎる。
- 町の受け入れ体制。
- ペットと一緒に避難できる設備。
- 共助ボランティアの防災訓練 (実際に災害が起きた時、自分達で地域の避難生活の辛さをできるだけ減らせるように)
- 防災無線やメール。
- 耐震工事の補助金増額。
- 意識

問１１ 避難施設において重要なものは何だと思いますか。（２つまで回答可）

		件数	回答率
1	空調設備	281	35.5%
2	トイレの充実	664	83.8%
3	情報通信機能の充実	199	25.1%
4	備蓄倉庫	133	16.8%
5	バリアフリー	26	3.3%
6	高齢者、乳幼児、妊婦、障害者など 要配慮者のための福祉スペース	299	37.8%
7	その他	21	2.7%
	総計	1623	—

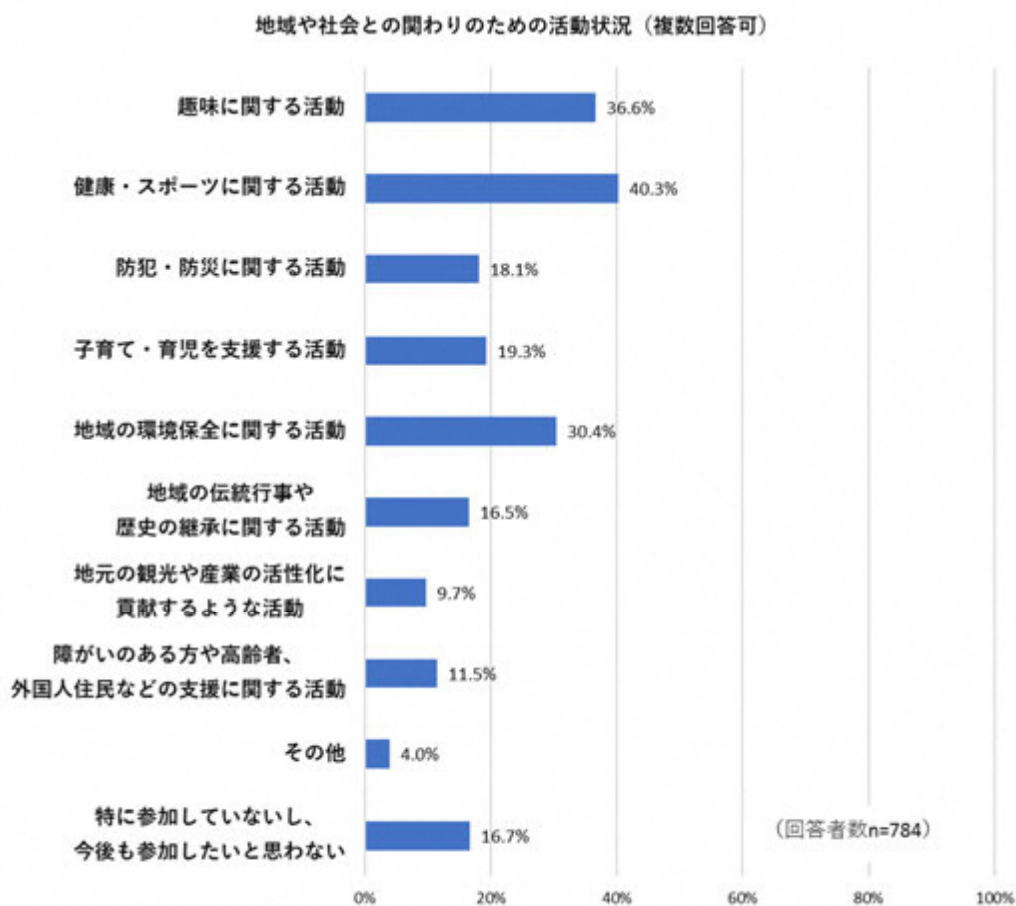


「その他」の回答

- AEDの設置
- 水
- スフィアプロジェクトに沿った内容となっているか。
- プライバシー保護（6件）
- ペットも避難できる施設。（3件）
- 施設利用への心理的ハードルがないこと。
- 発想の転換・企業の協力のもと仮設病院を建てる等。
- 入浴施設（2件）
- 個室空間の設置、男性女性で分ける（家族は一単位） 性的被害のない避難施設で安心して生活できるようにしてほしい。持病がある身内がいるので、それに配慮してほしい（緊急事態こそ町の力を発揮する機会だと思うので、あらゆる事態を想定したシミュレーションが必要）
- 心身の疲労回復のためのスペースを確保する。
- 自治組織（助け合い）
- 無香料空間！！ 片頭痛持ちは香りが強い場所にいられない（柔軟剤など） アレルギー（食材）への対応。

問１２ あなたは、地域や社会との関わりのためにどのような活動に参加している、もしくは、参加してみたいと思いますか。（複数回答可）

		件数	回答率
1	趣味に関する活動	287	36.6%
2	健康・スポーツに関する活動	316	40.3%
3	防犯・防災に関する活動	142	18.1%
4	子育て・育児を支援する活動	151	19.3%
5	地域の環境保全に関する活動	238	30.4%
6	地域の伝統行事や 歴史の継承に関する活動	129	16.5%
7	地元の観光や産業の活性化に 貢献するような活動	76	9.7%
8	障がいのある方や高齢者、 外国人住民などの支援に関する活動	90	11.5%
9	その他	31	4.0%
10	特に参加していないし、 今後も参加したいと思わない	131	16.7%
	総計	1591	—



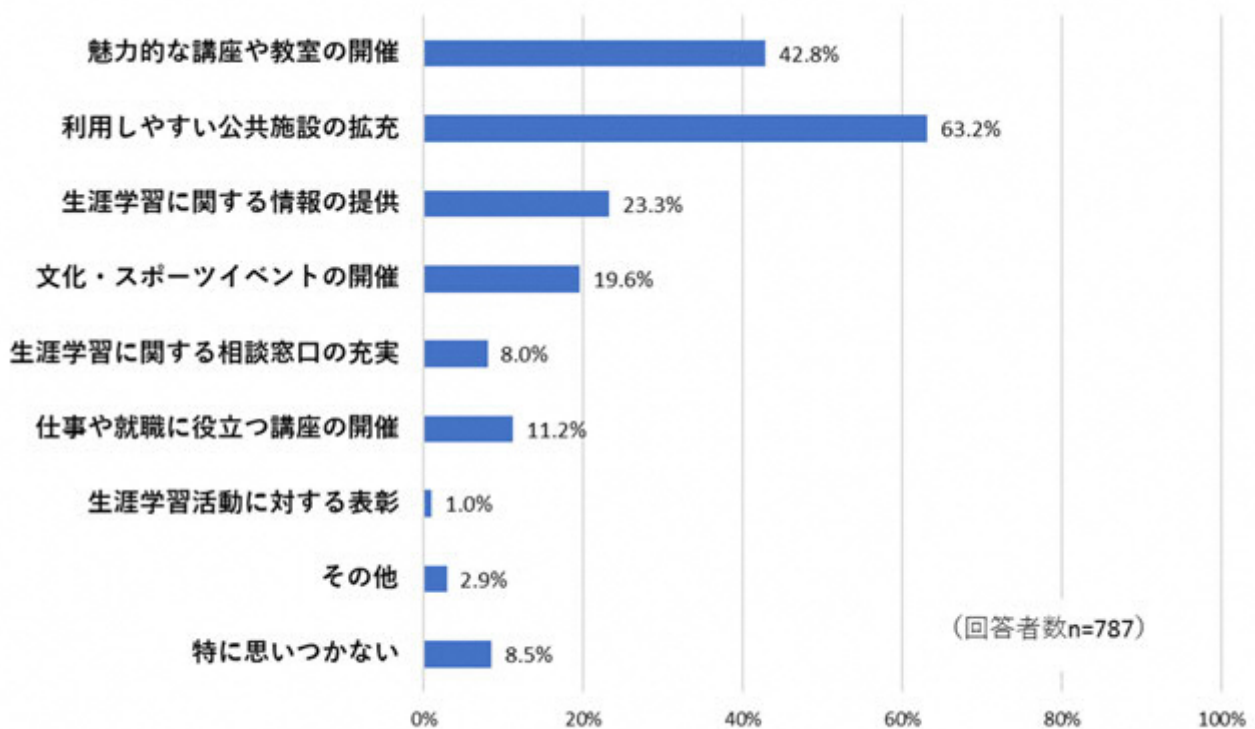
「その他」の回答

- P T A 活動
- 外国人の方々とのコミュニケーションを英会話で（英語はできないが勉強したい）
- ボランティア
- 料理教室
- 地域のサロン 体操
- 囲碁・将棋クラブ参加
- 自分の趣味を生かしたボランティアをした
- 冠句会
- ふれあいサロン
- 町内会活動
- 精華町介護者家族の会「なでしこの会」・地区長・川西ふれあいN. Wなど…。
- 介護支援の見直し。
- 自治会活動
- ボランティアとしてお手伝いを長年している（神の園・かしのき苑等で） 年齢が高くなり、もう止めなくてはと思っている。
- 高齢者・弱者に手を貸す人必要。
- 上記すべて。ただし、子供が楽しめるような時のみ。
- シルバーセンター 貸農園
- 地域のグランドゴルフに参加。
- 里山
- この街に住んで良かった…と思えるような場に。
- 以前は参加していましたが最近はなし。
- 現在参加していない。参加したくはないとは思っていない。
- 参加できる状況にない（時間、仕事の都合など：6件）

問 1 3 生涯学習を通じて地域交流を活発にするために精華町が取り組むべきことは何だと思いますか。（2つまで回答可）

		件数	回答率
1	魅力的な講座や教室の開催	337	42.8%
2	利用しやすい公共施設の拡充	497	63.2%
3	生涯学習に関する情報の提供	183	23.3%
4	文化・スポーツイベントの開催	154	19.6%
5	生涯学習に関する相談窓口の充実	63	8.0%
6	仕事や就職に役立つ講座の開催	88	11.2%
7	生涯学習活動に対する表彰	8	1.0%
8	その他	23	2.9%
9	特に思いつかない	67	8.5%
	総計	1420	—

地域交流を活発にするために精華町が取り組むべきこと（2つまで回答可）

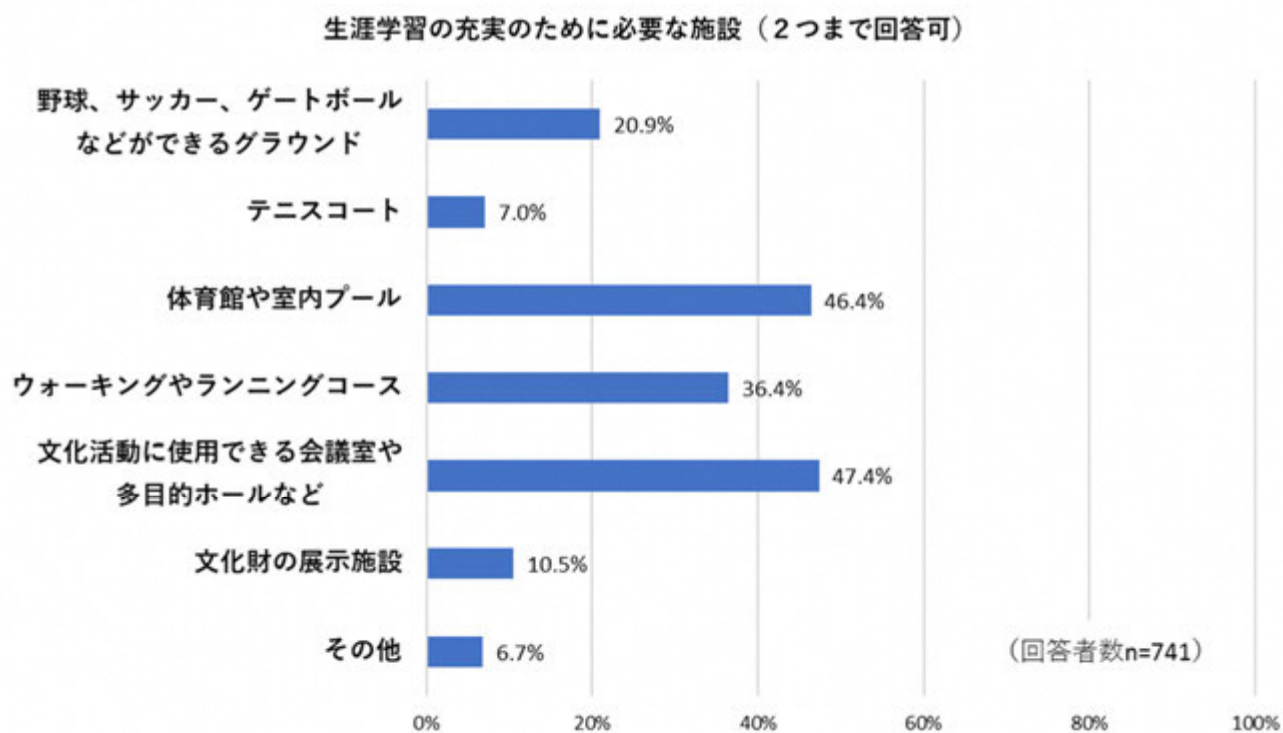


「その他」の回答

- 自主的な活動を支援する取り組み。
- 初めて参加しても楽しめるようなプログラム。
- 災害時の対応。
- もう少し町のPRが必要。
- 公共窓口の出張所
- 今現在、知っている人・興味ある人のみの参加では？ 特に高齢化に対しては力を入れてほしい（無関心の人が多いかも？）
- 子供と高齢者のふれあう機会を作る。
- 現役世代に配慮したイベント・施設等の時間帯の調整。
- 楽しくしています（ウォーキング・体操etc）
- 便利にすること。足の便も良くする。
- 講座・教室への参加のしやすさ。
- 世代間交流
- ラジオ体操のCDが欲しい（購入したい）家で利用したい。
- 公共施設を利用する為の交通。
- 運営する人材の育成。
- どうせ同じ人しか来ないと思うので予算の無駄。
- 交通機関を利用しなくてすむ範囲での利用。
- 色々な立場・状況の人を受け入れられる場をつくること。
- 意義を明確にして個々の自覚を促す。
- 中学・高校生が地域交流にかかわれる場づくり。
- 老後の生活情報
- 京田辺市のようなプール設備→健康のために

問１４ 生涯学習の充実のために必要な施設は何だと思いますか。（２つまで回答可）

		件数	回答率
1	野球、サッカー、ゲートボールなどができるグラウンド	155	20.9%
2	テニスコート	52	7.0%
3	体育館や室内プール	344	46.4%
4	ウォーキングやランニングコース	270	36.4%
5	文化活動に使用できる会議室や多目的ホールなど	351	47.4%
6	文化財の展示施設	78	10.5%
7	その他	50	6.7%
	総計	1300	—



「その他」の回答

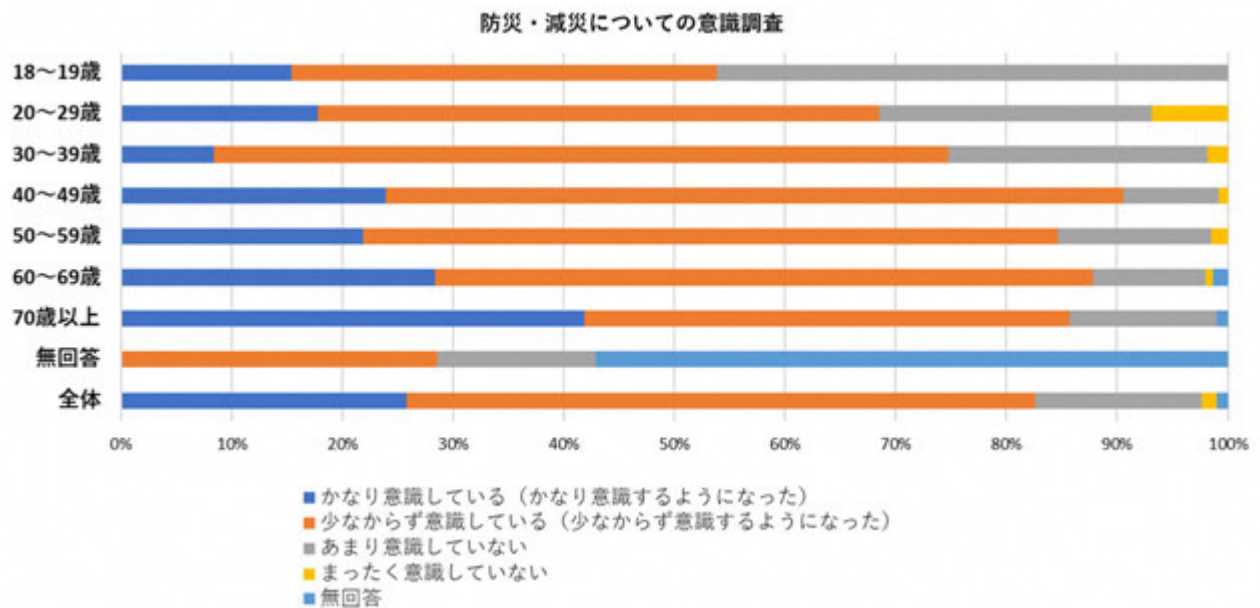
- 情報を広めるサイト。
- 自習室・学習スペース、図書館（3 件）
- スポーツジム・トレーニングジム（3 件）
- 囲碁・将棋クラブのような施設。
- 自分で確保する、確保している（2 件）
- シェアハウスの空間。
- 小さい子供も遊べる大きなプレイルーム。
- 多くの人々が利用しやすい施設及び環境
- 新しくてキレイな子供向け施設。
- 公共窓口の出張所
- 文化活動に使用できる小ホール。
- 花火やＢＢＱのできる施設・場所
- お年寄りの集まる空間。
- 動物とふれ合える場・公園・ドッグランなど。
- 音楽
- サーキット
- アンケートに基づく小規模な公演や、例えば妊婦などのヨガ教室開催。
- かしの木苑多目的ホールの改造。
- 公園に年配者用健康器具を 1 ～ 2 ヶ設置してほしい。
- 集会所の整備・充実で、習い事やサークルが開きやすくなるようにする。
- 公園又はグラウンドにバスケットゴールを設置してほしい。
- 施設まで行く交通手段の充実。
- 1 ～ 4 などができる総合的な公園。
- 1 の他に、小学校高学年（外あそびをさせたい）や中学生（居場所がない）が放課後自由にボールあそびができる場（公園など幼児がいると危ないのでできない）
- 小学校のグラウンドを使用しないグラウンドゴルフができるグラウンド。
- 身体の不自由な高齢者に、手厚い支援をお願いしたい。
- 元気な高齢者は畑仕事をしていて、文化活動には参加されない。
- 既存施設の有効活用や改善（4 件）
- 既に十分にある・特になし（9 件）
- 施設ではなく、考え方の普及。
- わからない・興味がない（3 件）

5-3集計結果（年齢クロス集計）

問2 大地震、大雨、水害などに備える防災や減災についてどの程度意識していますか。

		18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	全体
1	かなり意識している （かなり意識するようになった）	2 15.4%	13 17.8%	9 8.4%	28 23.9%	30 21.9%	42 28.4%	82 41.8%	0 0.0%	206 25.8%
2	少なからず意識している（少なからず 意識するようになった）	5 38.5%	37 50.7%	71 66.4%	78 66.7%	86 62.8%	88 59.5%	86 43.9%	2 28.6%	453 56.8%
3	あまり意識していない	6 46.2%	18 24.7%	25 23.4%	10 8.5%	19 13.9%	15 10.1%	26 13.3%	1 14.3%	120 15.0%
4	まったく意識していない	0 0.0%	5 6.8%	2 1.9%	1 0.9%	2 1.5%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	11 1.4%
0	無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.4%	2 1.0%	4 57.1%	8 1.0%
	回答者数(n=)	13 100.0%	73 100.0%	107 100.0%	117 100.0%	137 100.0%	148 100.0%	196 100.0%	7 100.0%	798 100.0%

※上段は件数、下段は割合

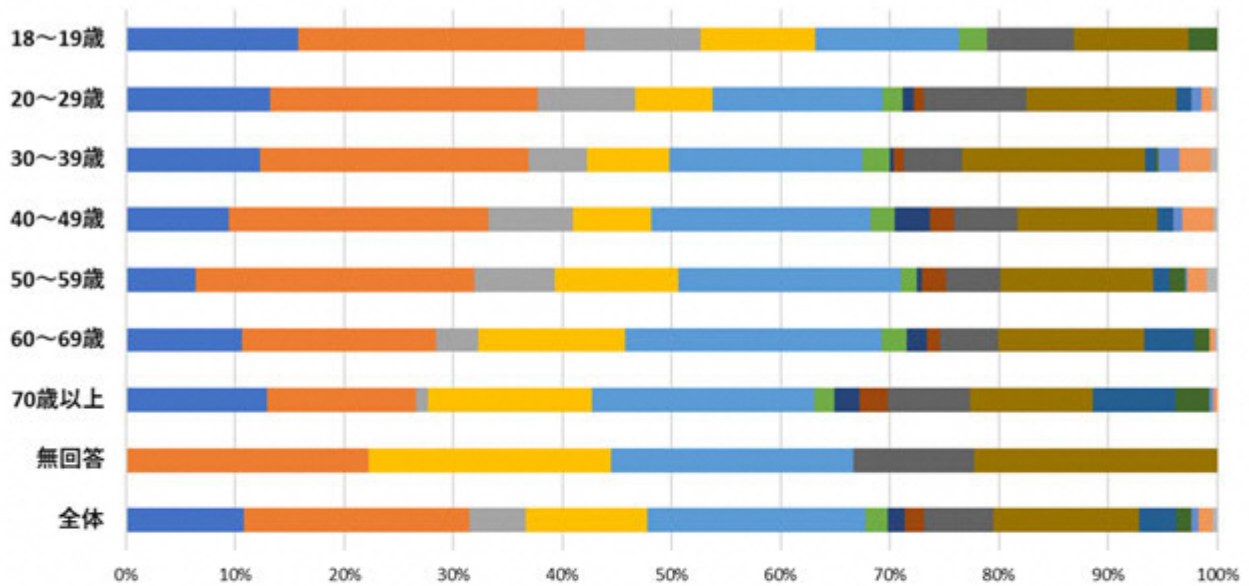


問3 大きな地震災害や水害などの災害が身近で起きると考えた際に、何について不安に思われますか。（3つまで回答可）

		18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	全体
1	無事に避難できるかについて	6 46.2%	28 38.4%	39 36.4%	33 28.4%	26 19.0%	46 31.1%	75 38.3%	0 0.0%	253 31.9%
2	家族、親族らの安否について	10 76.9%	52 71.2%	78 72.9%	83 71.6%	104 75.9%	77 52.0%	79 40.3%	2 66.7%	485 61.2%
3	学校や職場など外出先から無事に帰宅できるかについて	4 30.8%	19 26.0%	17 15.9%	27 23.3%	30 21.9%	17 11.5%	6 3.1%	0 0.0%	120 15.1%
4	建物の倒壊について	4 30.8%	15 20.5%	24 22.4%	25 21.6%	46 33.6%	58 39.2%	87 44.4%	2 66.7%	261 32.9%
5	水道、電気、ガス等のライフライン、道路、橋などが寸断されることについて	5 38.5%	33 45.2%	56 52.3%	70 60.3%	83 60.6%	102 68.9%	118 60.2%	2 66.7%	469 59.1%
6	津波、浸水、堤防の決壊	1 7.7%	4 5.5%	8 7.5%	8 6.9%	6 4.4%	10 6.8%	11 5.6%	0 0.0%	48 6.1%
7	地割れ、陥没、液状化現象について	0 0.0%	2 2.7%	1 0.9%	11 9.5%	2 1.5%	8 5.4%	13 6.6%	0 0.0%	37 4.7%
8	土砂崩れ、崖崩れについて	0 0.0%	2 2.7%	3 2.8%	8 6.9%	9 6.6%	5 3.4%	15 7.7%	0 0.0%	42 5.3%
9	避難所などでの生活環境について	3 23.1%	20 27.4%	17 15.9%	20 17.2%	20 14.6%	23 15.5%	44 22.4%	1 33.3%	148 18.7%
10	食料、飲料水、日用品の確保について	4 30.8%	29 39.7%	53 49.5%	45 38.8%	57 41.6%	58 39.2%	65 33.2%	2 66.7%	313 39.5%
11	心身の健康について	0 0.0%	3 4.1%	3 2.8%	5 4.3%	6 4.4%	20 13.5%	44 22.4%	0 0.0%	81 10.2%
12	お年寄りや障害のある方の介護について	1 7.7%	0 0.0%	1 0.9%	0 0.0%	6 4.4%	6 4.1%	18 9.2%	0 0.0%	32 4.0%
13	子どもの保育や教育について	0 0.0%	2 2.7%	6 5.6%	3 2.6%	1 0.7%	0 0.0%	2 1.0%	0 0.0%	14 1.8%
14	仕事や収入について	0 0.0%	2 2.7%	9 8.4%	10 8.6%	7 5.1%	2 1.4%	2 1.0%	0 0.0%	32 4.0%
15	その他	0 0.0%	1 1.4%	2 1.9%	1 0.9%	4 2.9%	1 0.7%	0 0.0%	0 0.0%	9 1.1%
	回答者数(n=)	13	73	107	116	137	148	196	3	793

※上段は件数、下段は割合（回答率）

災害時に不安に思うこと（3つまで回答可）

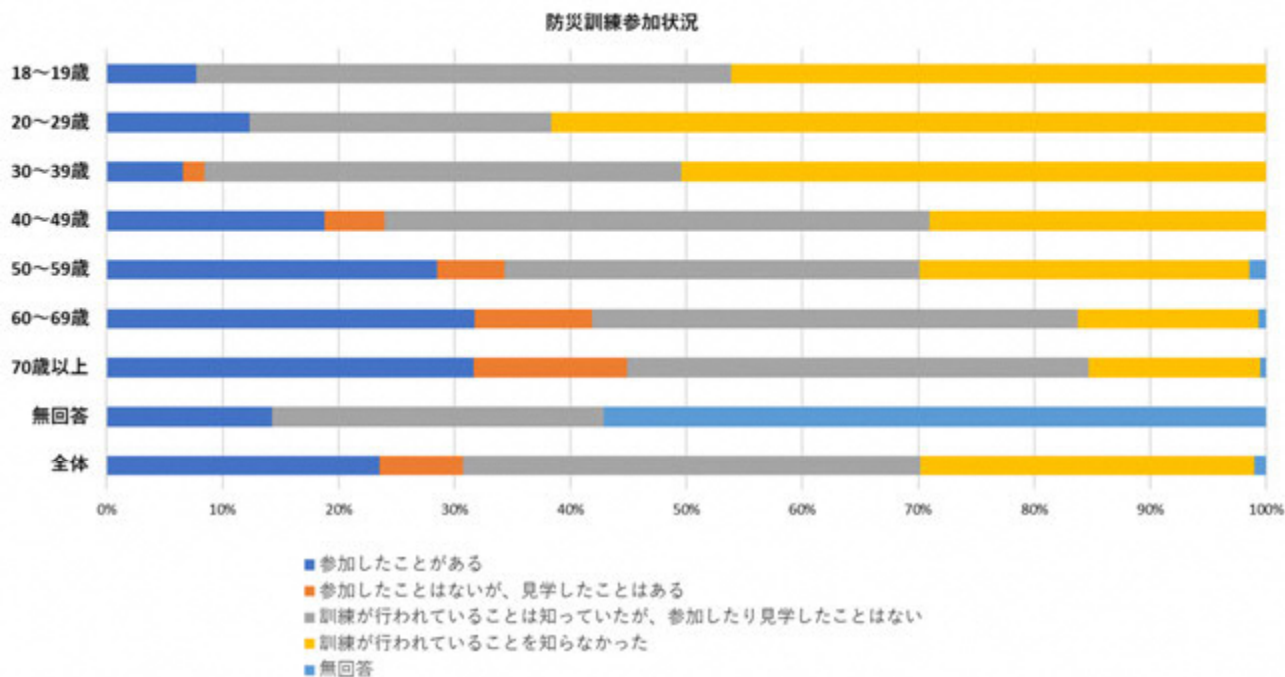


- 無事に避難できるかについて
- 家族、親族らの安否について
- 学校や職場など外出先から無事に帰宅できるかについて
- 建物の倒壊について
- 水道、電気、ガス等のライフライン、道路、橋などが寸断されることについて
- 津波、浸水、堤防の決壊
- 地割れ、陥没、液状化現象について
- 土砂崩れ、崖崩れについて
- 避難所などでの生活環境について
- 食料、飲料水、日用品の確保について
- 心身の健康について
- お年寄りや障害のある方の介護について
- 子どもの保育や教育について
- 仕事や収入について
- その他

問4 精華町では、毎年防災訓練を行っています。あなたは、今までに精華町の実施する防災訓練に参加したり、見学したことがありますか。

	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	全体
1 参加したことがある	1 7.7%	9 12.3%	7 6.5%	22 18.8%	39 28.5%	47 31.8%	62 31.6%	1 14.3%	188 23.6%
2 参加したことはないが、見学したことはある	0 0.0%	0 0.0%	2 1.9%	6 5.1%	8 5.8%	15 10.1%	26 13.3%	0 0.0%	57 7.1%
3 訓練が行われていることは知っていたが、参加したり見学したことはなかった	6 46.2%	19 26.0%	44 41.1%	55 47.0%	49 35.8%	62 41.9%	78 39.8%	2 28.6%	315 39.5%
4 訓練が行われていることを知らなかった	6 46.2%	45 61.6%	54 50.5%	34 29.1%	39 28.5%	23 15.5%	29 14.8%	0 0.0%	230 28.8%
0 無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 1.5%	1 0.7%	1 0.5%	4 57.1%	8 1.0%
回答者数(n=)	13 100.0%	73 100.0%	107 100.0%	117 100.0%	137 100.0%	148 100.0%	196 100.0%	7 100.0%	798 100.0%

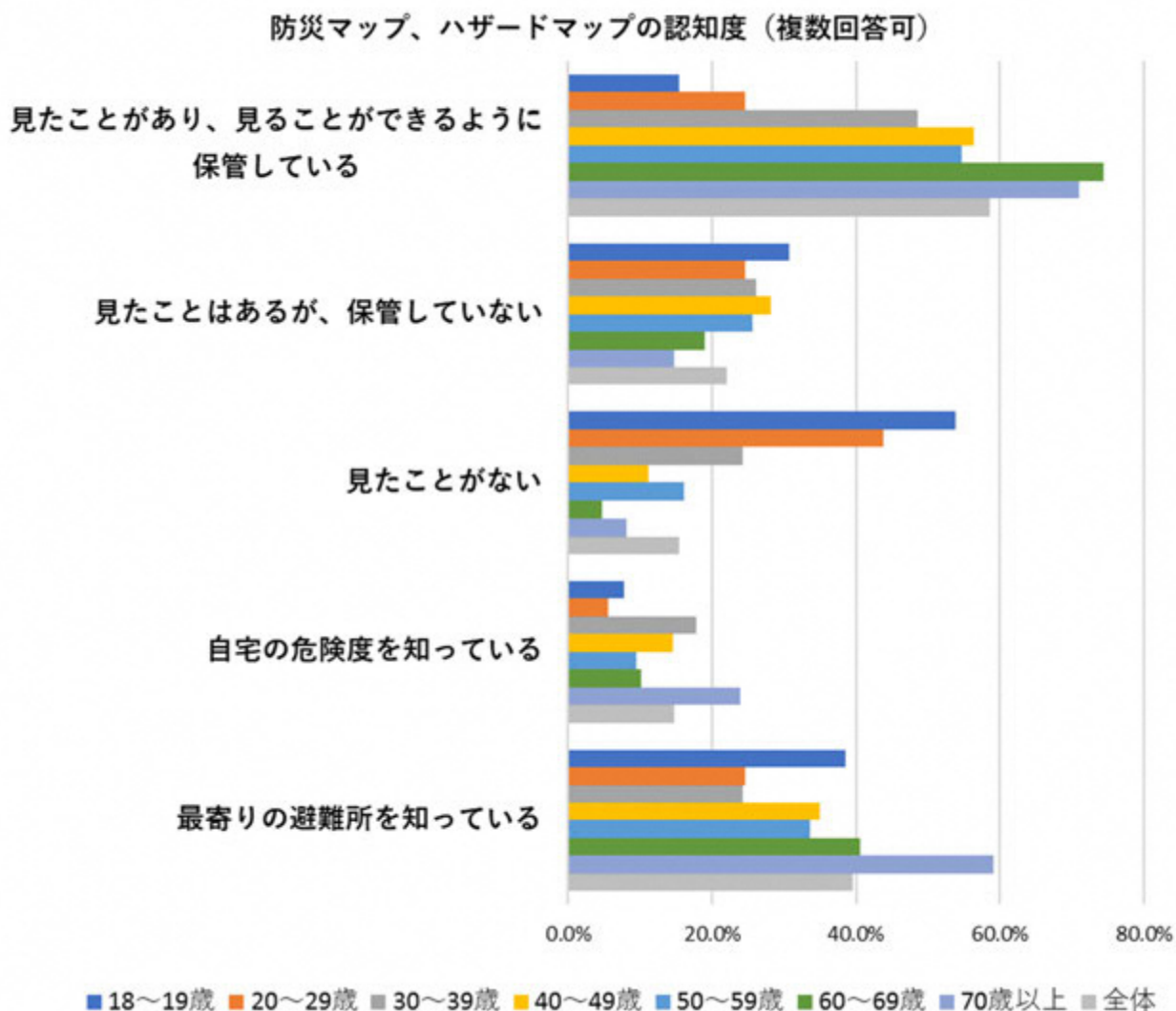
※上段は件数、下段は割合



問5 あなたは災害時に避難救護活動を行う施設、特に注意すべき場所、防災知識などを取りまとめた「精華町防災マップ」や「精華町地震ハザードマップ」を知っていますか。（複数回答可）

		18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	全体
1	見たことがあり、見ることもできるように保管している	2 15.4%	18 24.7%	52 48.6%	66 56.4%	75 54.7%	110 74.3%	139 70.9%	5 71.4%	467 58.5%
2	見たことはあるが、保管していない	4 30.8%	18 24.7%	28 26.2%	33 28.2%	35 25.5%	28 18.9%	29 14.8%	1 14.3%	176 22.1%
3	見たことがない	7 53.8%	32 43.8%	26 24.3%	13 11.1%	22 16.1%	7 4.7%	16 8.2%	0.0%	123 15.4%
4	自宅の危険度を知っている	1 7.7%	4 5.5%	19 17.8%	17 14.5%	13 9.5%	15 10.1%	47 24.0%	2 28.6%	118 14.8%
5	最寄りの避難所を知っている	5 38.5%	18 24.7%	26 24.3%	41 35.0%	46 33.6%	60 40.5%	116 59.2%	4 57.1%	316 39.6%
	回答者数(n=)	13	73	107	117	136	148	194	7	795

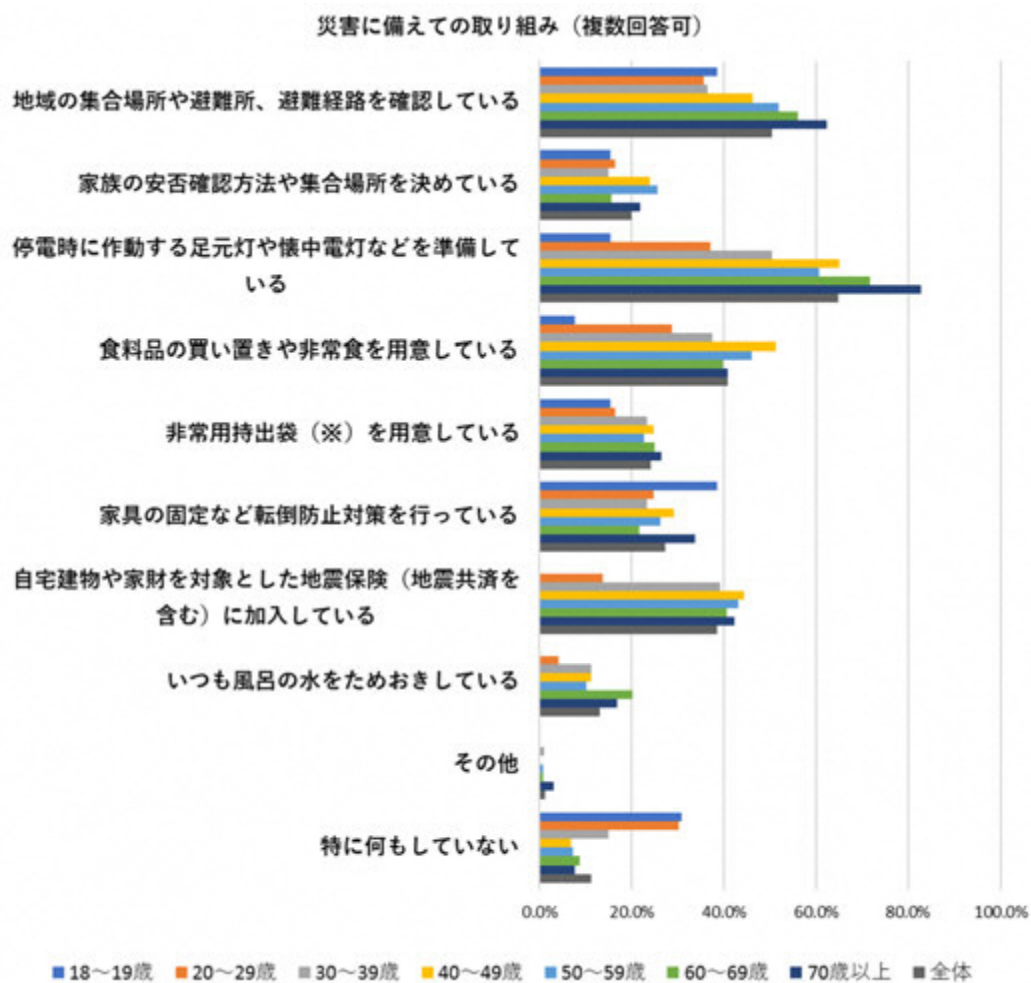
※上段は件数、下段は割合（回答率）



問6 あなたは災害に備えて具体的にどのような取組をされていますか。（複数回答可）

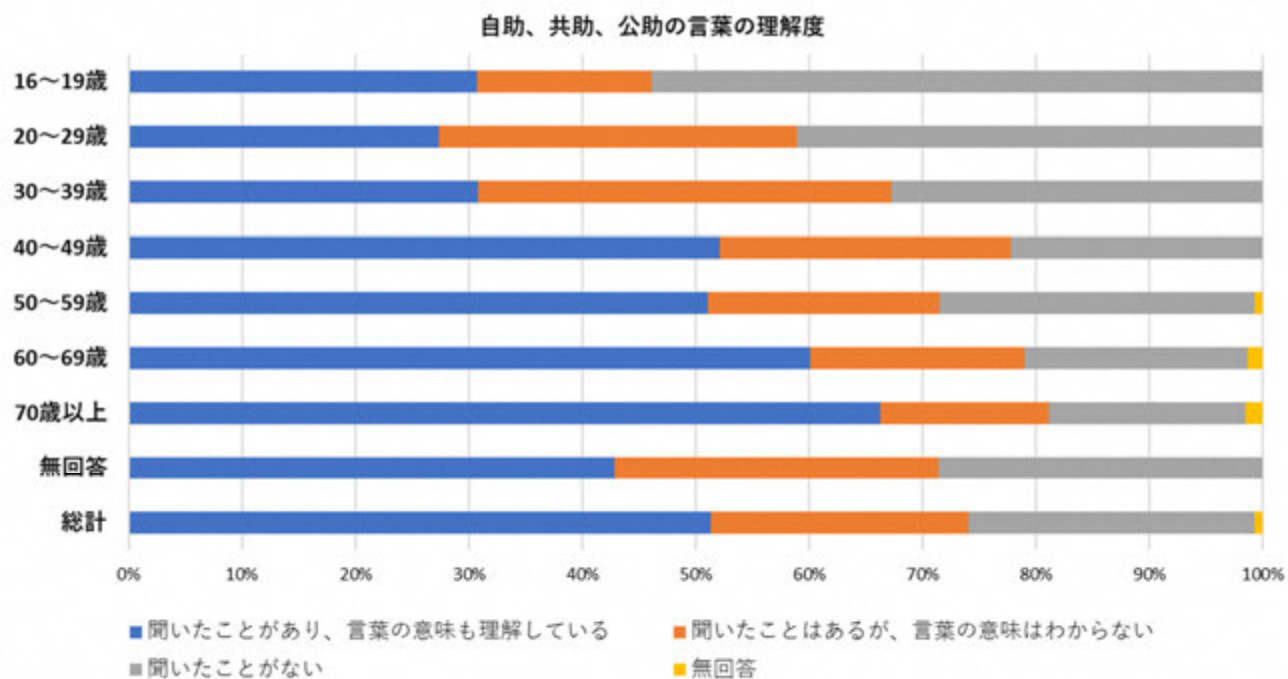
	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	全体
1 地域の集合場所や避難所、避難経路を確認している	5 23.8%	26 17.2%	39 14.4%	54 15.3%	71 17.6%	83 18.7%	122 18.4%	3 14.3%	403 17.3%
2 家族の安否確認方法や集合場所を決めている	2 9.5%	12 7.9%	16 5.9%	28 7.9%	35 8.7%	23 5.2%	43 6.5%	1 4.8%	160 6.9%
3 停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している	2 9.5%	27 17.9%	54 20.0%	76 21.5%	83 20.6%	106 23.9%	162 24.5%	7 33.3%	517 22.2%
4 食料品の買い置きや非常食を用意している	1 4.8%	21 13.9%	40 14.8%	60 16.9%	63 15.6%	59 13.3%	80 12.1%	2 9.5%	326 14.0%
5 非常用持出袋を用意している	2 9.5%	12 7.9%	25 9.3%	29 8.2%	31 7.7%	37 8.3%	52 7.9%	4 19.0%	192 8.3%
6 家具の固定など転倒防止対策を行っている	5 23.8%	18 11.9%	25 9.3%	34 9.6%	36 8.9%	32 7.2%	66 10.0%	1 4.8%	217 9.3%
7 自宅建物や家財を対象とした地震保険（地震共済を含む）に加入している	0 0.0%	10 6.6%	42 15.6%	52 14.7%	59 14.6%	60 13.5%	83 12.5%	2 9.5%	308 13.2%
8 いつも風呂の水をためおきしている	0 0.0%	3 2.0%	12 4.4%	13 3.7%	14 3.5%	30 6.8%	33 5.0%	0 0.0%	105 4.5%
9 その他	0 0.0%	0 0.0%	1 0.4%	0 0.0%	1 0.2%	1 0.2%	6 0.9%	0 0.0%	9 0.4%
10 特に何もしていない	4 19.0%	22 14.6%	16 5.9%	8 2.3%	10 2.5%	13 2.9%	15 2.3%	1 4.8%	89 3.8%
回答者数(n=)	13	73	107	117	137	148	196	7	798

※上段は件数、下段は割合(回答率)



問7 あなたは「自助」・「共助」・「公助」という言葉をご存知ですか。

	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	全体
1 聞いたことがあり、言葉の意味も理解している	4 30.8%	20 27.4%	33 30.8%	61 52.1%	70 51.1%	89 60.1%	130 66.3%	3 42.9%	410 51.4%
2 聞いたことはあるが、言葉の意味はわからない	2 15.4%	23 31.5%	39 36.4%	30 25.6%	28 20.4%	28 18.9%	29 14.8%	2 28.6%	181 22.7%
3 聞いたことがない	7 53.8%	30 41.1%	35 32.7%	26 22.2%	38 27.7%	29 19.6%	34 17.3%	2 28.6%	201 25.2%
0 無回答	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.7%	2 1.4%	3 1.5%	0 0.0%	6 0.8%
回答者数(n=)	13 100.0%	73 100.0%	107 100.0%	117 100.0%	137 100.0%	148 100.0%	196 100.0%	7 100.0%	798 100.0%

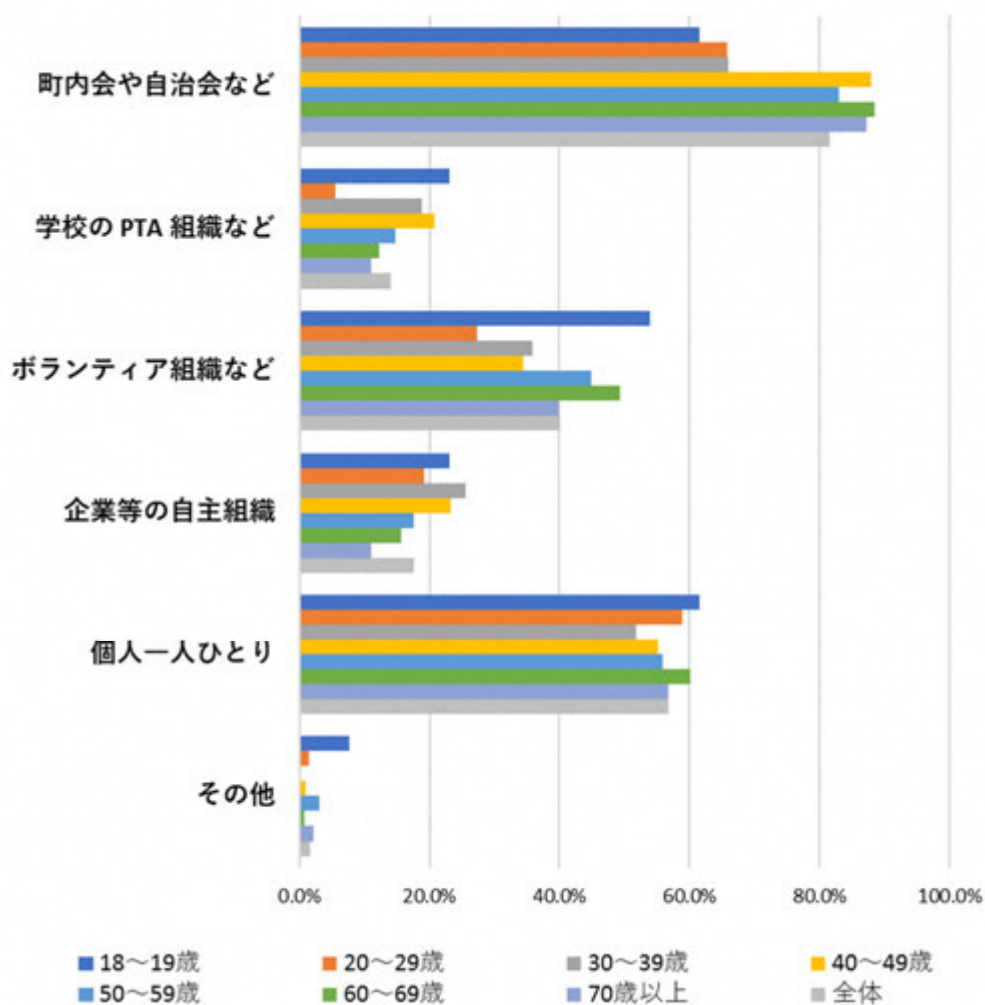


問8 災害時、行政による活動のほかに、地域における共助の一翼を担うべきものは何だと思いますか。（複数回答可）

	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	全体
1 町内会や自治会など	8 61.5%	48 65.8%	70 66.0%	102 87.9%	113 83.1%	131 88.5%	166 87.4%	6 85.7%	644 81.6%
2 学校の PTA 組織など	3 23.1%	4 5.5%	20 18.9%	24 20.7%	20 14.7%	18 12.2%	21 11.1%	1 14.3%	111 14.1%
3 ボランティア組織など	7 53.8%	20 27.4%	38 35.8%	40 34.5%	61 44.9%	73 49.3%	76 40.0%	2 28.6%	317 40.2%
4 企業等の自主組織	3 23.1%	14 19.2%	27 25.5%	27 23.3%	24 17.6%	23 15.5%	21 11.1%	0 0.0%	139 17.6%
5 個人一人ひとり	8 61.5%	43 58.9%	55 51.9%	64 55.2%	76 55.9%	89 60.1%	108 56.8%	5 71.4%	448 56.8%
6 その他	1 7.7%	1 1.4%	0 0.0%	1 0.9%	4 2.9%	1 0.7%	4 2.1%	0 0.0%	12 1.5%
回答者数(n=)	13	73	106	116	136	148	190	7	789

※上段は件数、下段は割合(回答率)

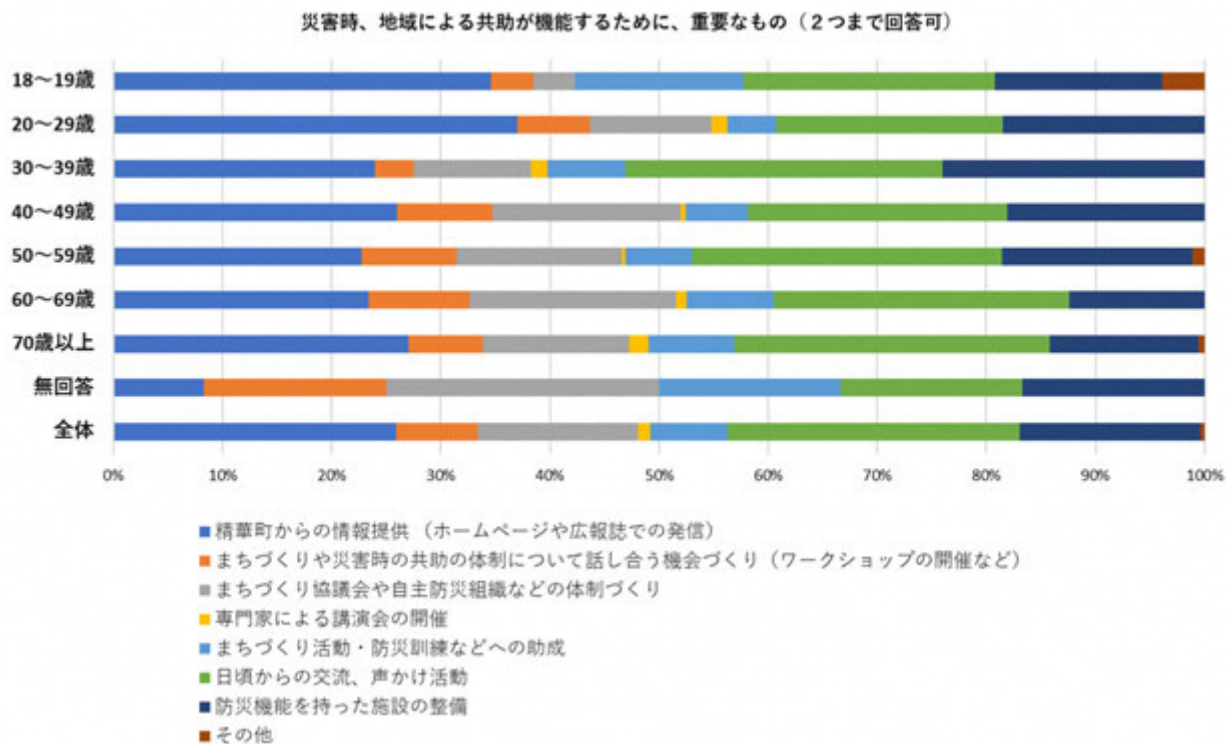
災害時、地域における共助の一翼を担うべきもの（複数回答可）



問9 災害時、地域による共助が機能するために、重要なものは何だと思いますか。（2つまで回答可）

		18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	全体
1	精華町からの情報提供（ホームページや広報誌での発信）	9 69.2%	50 68.5%	47 44.3%	59 50.9%	60 44.4%	68 46.6%	103 53.9%	1 14.3%	397 50.4%
2	まちづくりや災害時の共助の体制について話し合う機会づくり（ワークショップの開催など）	1 7.7%	9 12.3%	7 6.6%	20 17.2%	23 17.0%	27 18.5%	26 13.6%	2 28.6%	115 14.6%
3	まちづくり協議会や自主防災組織などの体制づくり	1 7.7%	15 20.5%	21 19.8%	39 33.6%	40 29.6%	55 37.7%	51 26.7%	3 42.9%	225 28.6%
4	専門家による講演会の開催	0 0.0%	2 2.7%	3 2.8%	1 0.9%	1 0.7%	3 2.1%	7 3.7%	0 0.0%	17 2.2%
5	まちづくり活動・防災訓練などへの助成	4 30.8%	6 8.2%	14 13.2%	13 11.2%	16 11.9%	23 15.8%	30 15.7%	2 28.6%	108 13.7%
6	日頃からの交流、声かけ活動	6 46.2%	28 38.4%	57 53.8%	54 46.6%	75 55.6%	79 54.1%	110 57.6%	2 28.6%	411 52.2%
7	防災機能を持った施設の整備	4 30.8%	25 34.2%	47 44.3%	41 35.3%	46 34.1%	36 24.7%	52 27.2%	2 28.6%	253 32.1%
8	その他	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 2.2%	0 0.0%	2 1.0%	0 0.0%	6 0.8%
	回答者数(n=)	13	73	106	116	135	146	191	7	787

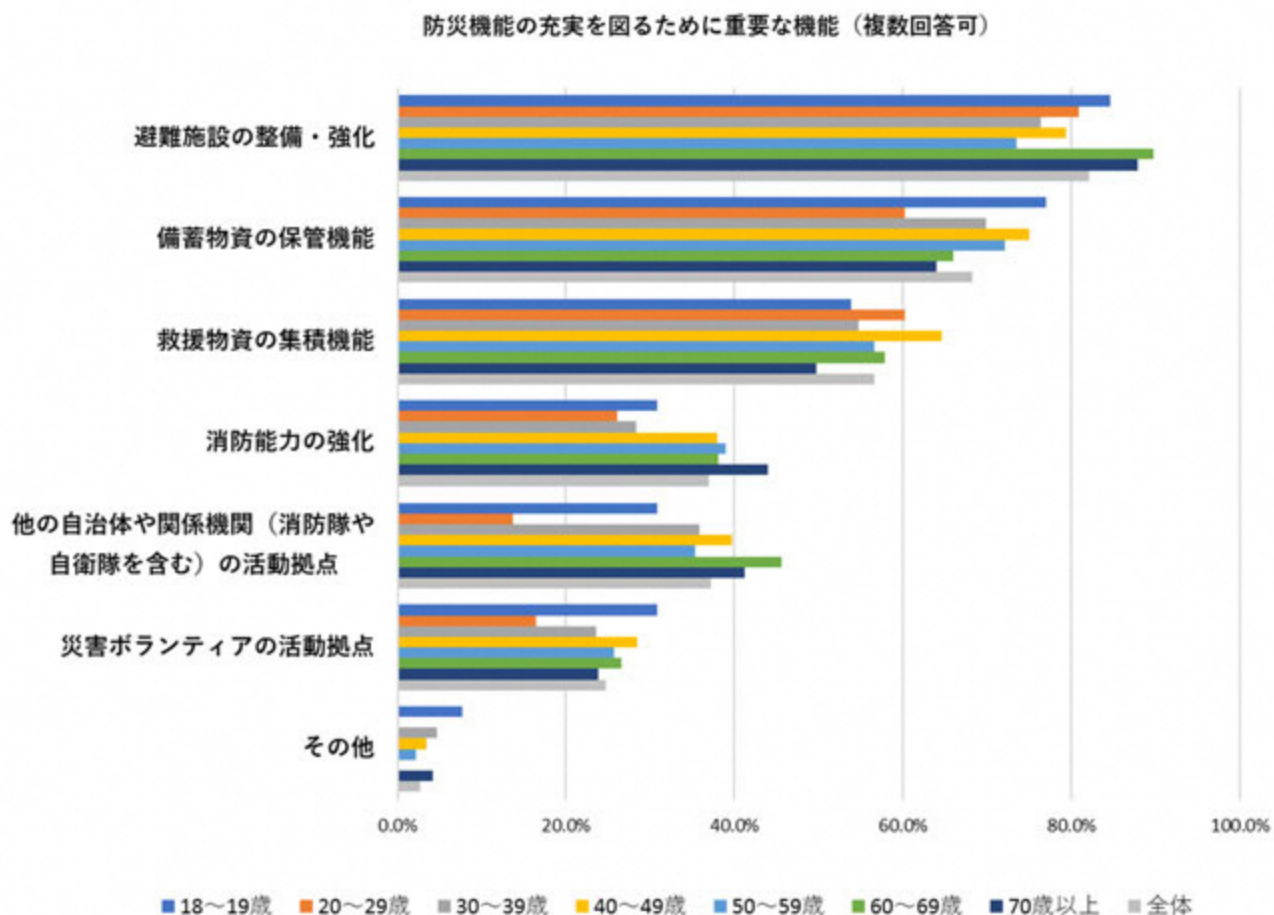
※上段は件数、下段は割合(回答率)



問１０ まちとしての防災機能の充実を図るために、重要だと思われる機能は何だと思いますか。
(複数回答可)

	18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	全体
1 避難施設の整備・強化	11 84.6%	59 80.8%	81 76.4%	92 79.3%	100 73.5%	132 89.8%	166 87.8%	5 71.4%	646 82.1%
2 備蓄物資の保管機能	10 76.9%	44 60.3%	74 69.8%	87 75.0%	98 72.1%	97 66.0%	121 64.0%	6 85.7%	537 68.2%
3 救援物資の集積機能	7 53.8%	44 60.3%	58 54.7%	75 64.7%	77 56.6%	85 57.8%	94 49.7%	5 71.4%	445 56.5%
4 消防能力の強化	4 30.8%	19 26.0%	30 28.3%	44 37.9%	53 39.0%	56 38.1%	83 43.9%	2 28.6%	291 37.0%
5 他の自治体や関係機関（消防隊や自衛隊を含む）の活動拠点	4 30.8%	10 13.7%	38 35.8%	46 39.7%	48 35.3%	67 45.6%	78 41.3%	2 28.6%	293 37.2%
6 災害ボランティアの活動拠点	4 30.8%	12 16.4%	25 23.6%	33 28.4%	35 25.7%	39 26.5%	45 23.8%	1 14.3%	194 24.7%
7 その他	1 7.7%	0 0.0%	5 4.7%	4 3.4%	3 2.2%	0 0.0%	8 4.2%	0 0.0%	21 2.7%
回答者数(n=)	13	73	106	116	136	147	189	7	787

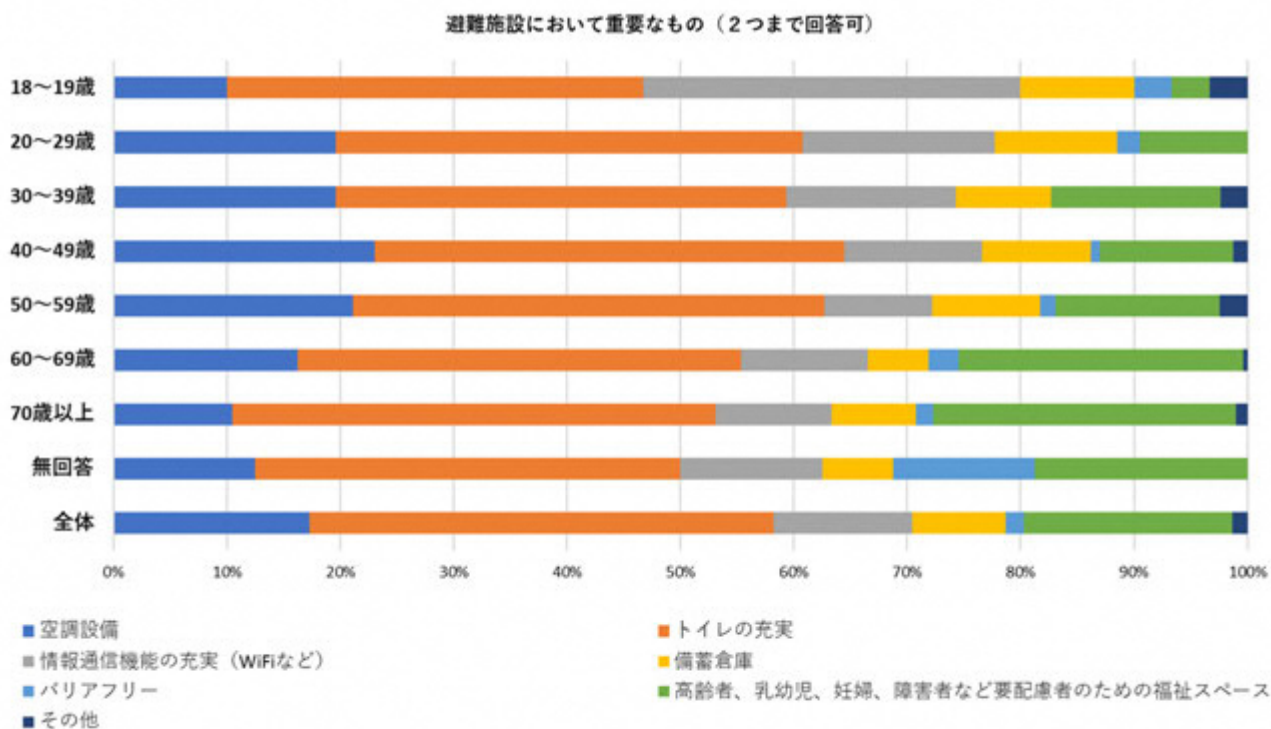
※上段は件数、下段は割合(回答率)



問 1 1 避難施設において重要なものは何だと思いますか。（2つまで回答可）

		18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	全体
1	空調設備	3 23.1%	29 39.7%	42 39.6%	55 47.4%	60 44.4%	49 33.1%	41 21.1%	2 28.6%	281 35.5%
2	トイレの充実	11 84.6%	61 83.6%	85 80.2%	99 85.3%	118 87.4%	118 79.7%	166 85.6%	6 85.7%	664 83.8%
3	情報通信機能の充実 (WiFiなど)	10 76.9%	25 34.2%	32 30.2%	29 25.0%	27 20.0%	34 23.0%	40 20.6%	2 28.6%	199 25.1%
4	備蓄倉庫	3 23.1%	16 21.9%	18 17.0%	23 19.8%	27 20.0%	16 10.8%	29 14.9%	1 14.3%	133 16.8%
5	バリアフリー	1 7.7%	3 4.1%	0 0.0%	2 1.7%	4 3.0%	8 5.4%	6 3.1%	2 28.6%	26 3.3%
6	高齢者、乳幼児、妊婦、障 害者など要配慮者のための 福祉スペース	1 7.7%	14 19.2%	32 30.2%	28 24.1%	41 30.4%	76 51.4%	104 53.6%	3 42.9%	299 37.8%
7	その他	1 7.7%	0 0.0%	5 4.7%	3 2.6%	7 5.2%	1 0.7%	4 2.1%	0 0.0%	21 2.7%
	回答者数(n=)	13	73	106	116	135	148	194	7	792

※上段は件数、下段は割合(回答率)

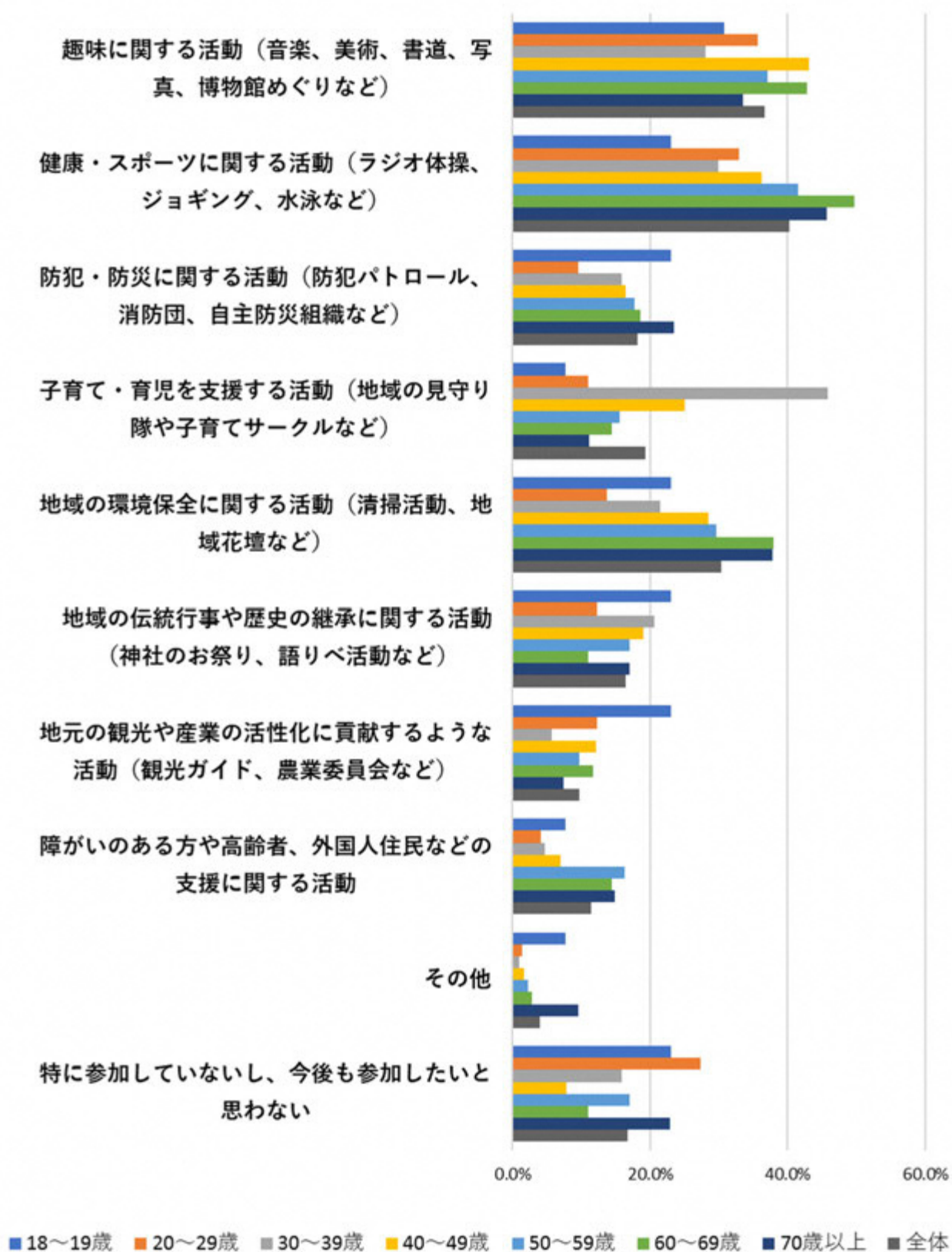


問１２ あなたは、地域や社会との関わりのためにどのような活動に参加している、もしくは、参加してみたいと思いますか。（複数回答可）

		18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	全体
1	趣味に関する活動（音楽、美術、書道、写真、博物館めぐりなど）	4 30.8%	26 35.6%	30 28.0%	50 43.1%	50 37.0%	62 42.8%	63 33.5%	2 28.6%	287 36.6%
2	健康・スポーツに関する活動（ラジオ体操、ジョギング、水泳など）	3 23.1%	24 32.9%	32 29.9%	42 36.2%	56 41.5%	72 49.7%	86 45.7%	1 14.3%	316 40.3%
3	防犯・防災に関する活動（防犯パトロール、消防団、自主防災組織など）	3 23.1%	7 9.6%	17 15.9%	19 16.4%	24 17.8%	27 18.6%	44 23.4%	1 14.3%	142 18.1%
4	子育て・育児を支援する活動（地域の見守り隊や子育てサークルなど）	1 7.7%	8 11.0%	49 45.8%	29 25.0%	21 15.6%	21 14.5%	21 11.2%	1 14.3%	151 19.3%
5	地域の環境保全に関する活動（清掃活動、地域花壇など）	3 23.1%	10 13.7%	23 21.5%	33 28.4%	40 29.6%	55 37.9%	71 37.8%	3 42.9%	238 30.4%
6	地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動（神社のお祭り、語りべ活動など）	3 23.1%	9 12.3%	22 20.6%	22 19.0%	23 17.0%	16 11.0%	32 17.0%	2 28.6%	129 16.5%
7	地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動（観光ガイド、農業委員会など）	3 23.1%	9 12.3%	6 5.6%	14 12.1%	13 9.6%	17 11.7%	14 7.4%	0 0.0%	76 9.7%
8	障がいのある方や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動	1 7.7%	3 4.1%	5 4.7%	8 6.9%	22 16.3%	21 14.5%	28 14.9%	2 28.6%	90 11.5%
9	その他	1 7.7%	1 1.4%	1 0.9%	2 1.7%	3 2.2%	4 2.8%	18 9.6%	1 14.3%	31 4.0%
10	特に参加していないし、今後 も参加したいと思わない	3 23.1%	20 27.4%	17 15.9%	9 7.8%	23 17.0%	16 11.0%	43 22.9%	0 0.0%	131 16.7%
	回答者数(n=)	13	73	107	116	135	145	188	7	784

※上段は件数、下段は割合(回答率)

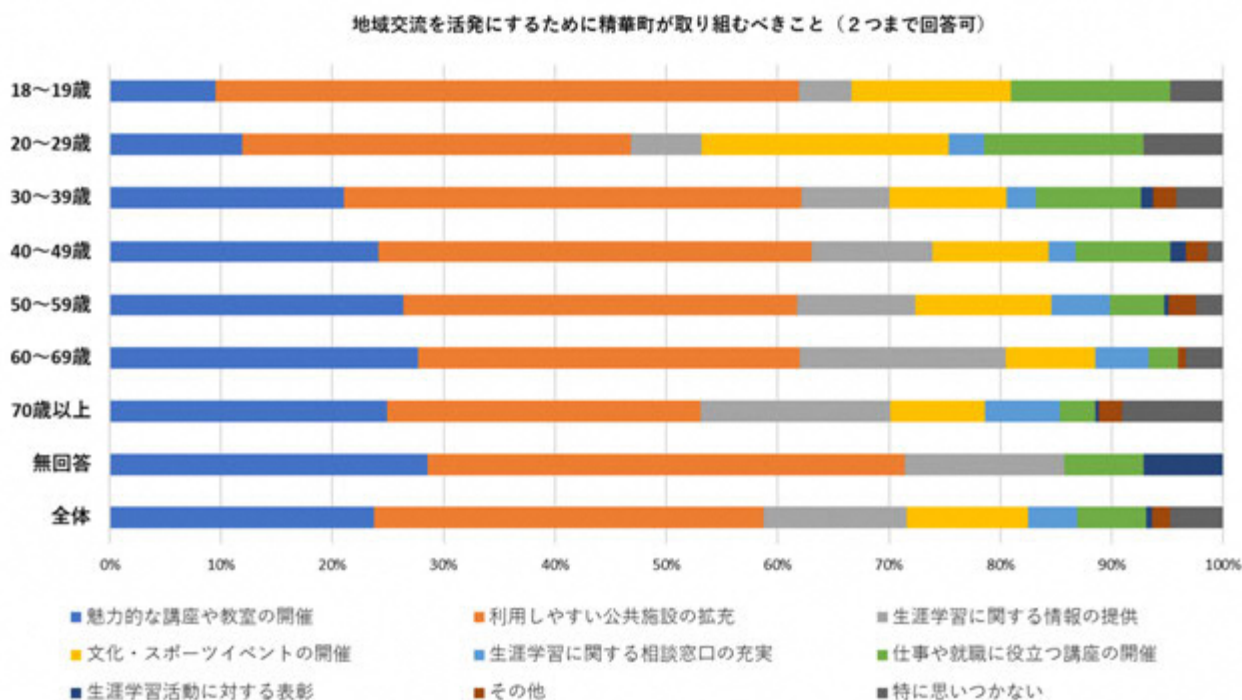
地域や社会との関わりのための活動状況（複数回答可）



問 1 3 生涯学習を通じて地域交流を活発にするために精華町が取り組むべきことは何だと思いますか。（2つまで回答可）

		18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	全体
1	魅力的な講座や教室の開催	2 15.4%	15 20.5%	40 38.1%	51 44.0%	65 47.8%	75 51.4%	85 44.5%	4 57.1%	337 42.8%
2	利用しやすい公共施設の拡充	11 84.6%	44 60.3%	78 74.3%	82 70.7%	87 64.0%	93 63.7%	96 50.3%	6 85.7%	497 63.2%
3	生涯学習に関する情報の提供	1 7.7%	8 11.0%	15 14.3%	23 19.8%	26 19.1%	50 34.2%	58 30.4%	2 28.6%	183 23.3%
4	文化・スポーツイベントの開催	3 23.1%	28 38.4%	20 19.0%	22 19.0%	30 22.1%	22 15.1%	29 15.2%	0 0.0%	154 19.6%
5	生涯学習に関する相談窓口の充実	0 0.0%	4 5.5%	5 4.8%	5 4.3%	13 9.6%	13 8.9%	23 12.0%	0 0.0%	63 8.0%
6	仕事や就職に役立つ講座の開催	3 23.1%	18 24.7%	18 17.1%	18 15.5%	12 8.8%	7 4.8%	11 5.8%	1 14.3%	88 11.2%
7	生涯学習活動に対する表彰	0 0.0%	0 0.0%	2 1.9%	3 2.6%	1 0.7%	0 0.0%	1 0.5%	1 14.3%	8 1.0%
8	その他	0 0.0%	0 0.0%	4 3.8%	4 3.4%	6 4.4%	2 1.4%	7 3.7%	0 0.0%	23 2.9%
9	特に思いつかない	1 7.7%	9 12.3%	8 7.6%	3 2.6%	6 4.4%	9 6.2%	31 16.2%	0 0.0%	67 8.5%
回答者数(n=)		13	73	105	116	136	146	191	7	787

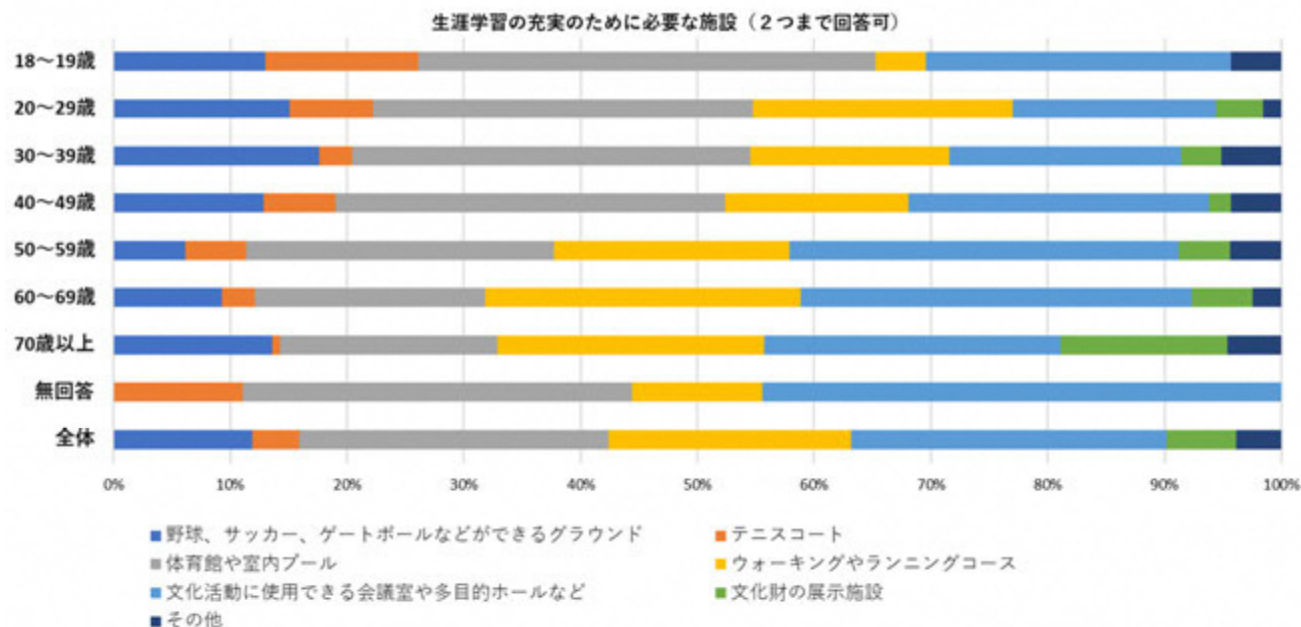
※上段は件数、下段は割合(回答率)



問１４ 生涯学習の充実のために必要な施設は何だと思いますか。（２つまで回答可）

		18～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70歳以上	無回答	全体
1	野球、サッカー、ゲートボールなどができるグラウンド	3 23.1%	19 26.4%	31 30.4%	27 23.5%	14 10.7%	23 16.5%	38 23.3%	0 0.0%	155 20.9%
2	テニスコート	3 23.1%	9 12.5%	5 4.9%	13 11.3%	12 9.2%	7 5.0%	2 1.2%	1 16.7%	52 7.0%
3	体育館や室内プール	9 69.2%	41 56.9%	60 58.8%	70 60.9%	60 45.8%	49 35.3%	52 31.9%	3 50.0%	344 46.4%
4	ウォーキングやランニングコース	1 7.7%	28 38.9%	30 29.4%	33 28.7%	46 35.1%	67 48.2%	64 39.3%	1 16.7%	270 36.4%
5	文化活動に使用できる会議室や多目的ホールなど	6 46.2%	22 30.6%	35 34.3%	54 47.0%	76 58.0%	83 59.7%	71 43.6%	4 66.7%	351 47.4%
6	文化財の展示施設	0 0.0%	5 6.9%	6 5.9%	4 3.5%	10 7.6%	13 9.4%	40 24.5%	0 0.0%	78 10.5%
7	その他	1 7.7%	2 2.8%	9 8.8%	9 7.8%	10 7.6%	6 4.3%	13 8.0%	0 0.0%	50 6.7%
	回答者数(n=)	13	72	102	115	131	139	163	6	741

※上段は件数、下段は割合(回答率)

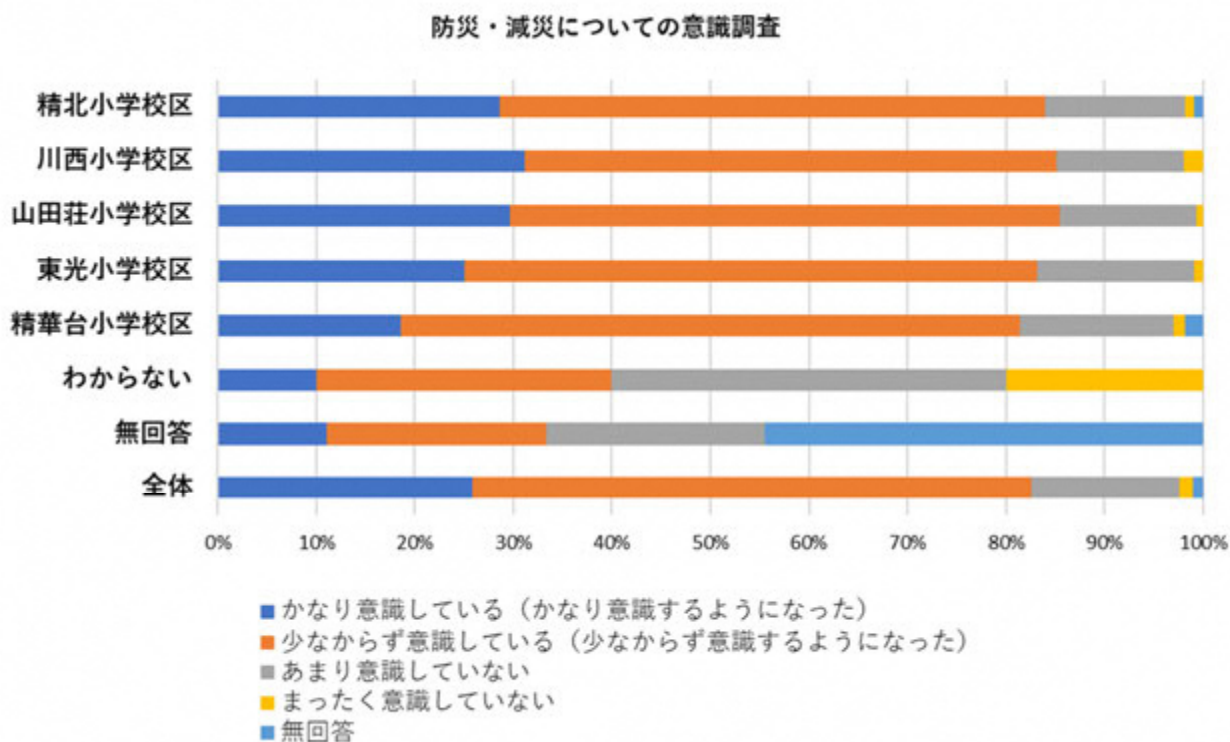


5-4集計結果（小学校区クロス集計）

問2 大地震、大雨、水害などに備える防災や減災についてどの程度意識していますか。

		精北 小学校区	川西 小学校区	山田荘 小学校区	東光 小学校区	精華台 小学校区	わからない	無回答	全体
1	かなり意識している (かなり意識するようになった)	32 28.6%	48 31.2%	41 29.7%	52 25.0%	31 18.6%	1 10.0%	1 11.1%	206 25.8%
2	少なからず意識している(少な からず意識するようになった)	62 55.4%	83 53.9%	77 55.8%	121 58.2%	105 62.9%	3 30.0%	2 22.2%	453 56.8%
3	あまり意識していない	16 14.3%	20 13.0%	19 13.8%	33 15.9%	26 15.6%	4 40.0%	2 22.2%	120 15.0%
4	まったく意識していない	1 0.9%	3 1.9%	1 0.7%	2 1.0%	2 1.2%	2 20.0%	0 0.0%	11 1.4%
0	無回答	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 1.8%	0 0.0%	4 44.4%	8 1.0%
	回答者数(n=)	112 100.0%	154 100.0%	138 100.0%	208 100.0%	167 100.0%	10 100.0%	9 100.0%	798 100.0%

※上段は件数、下段は割合

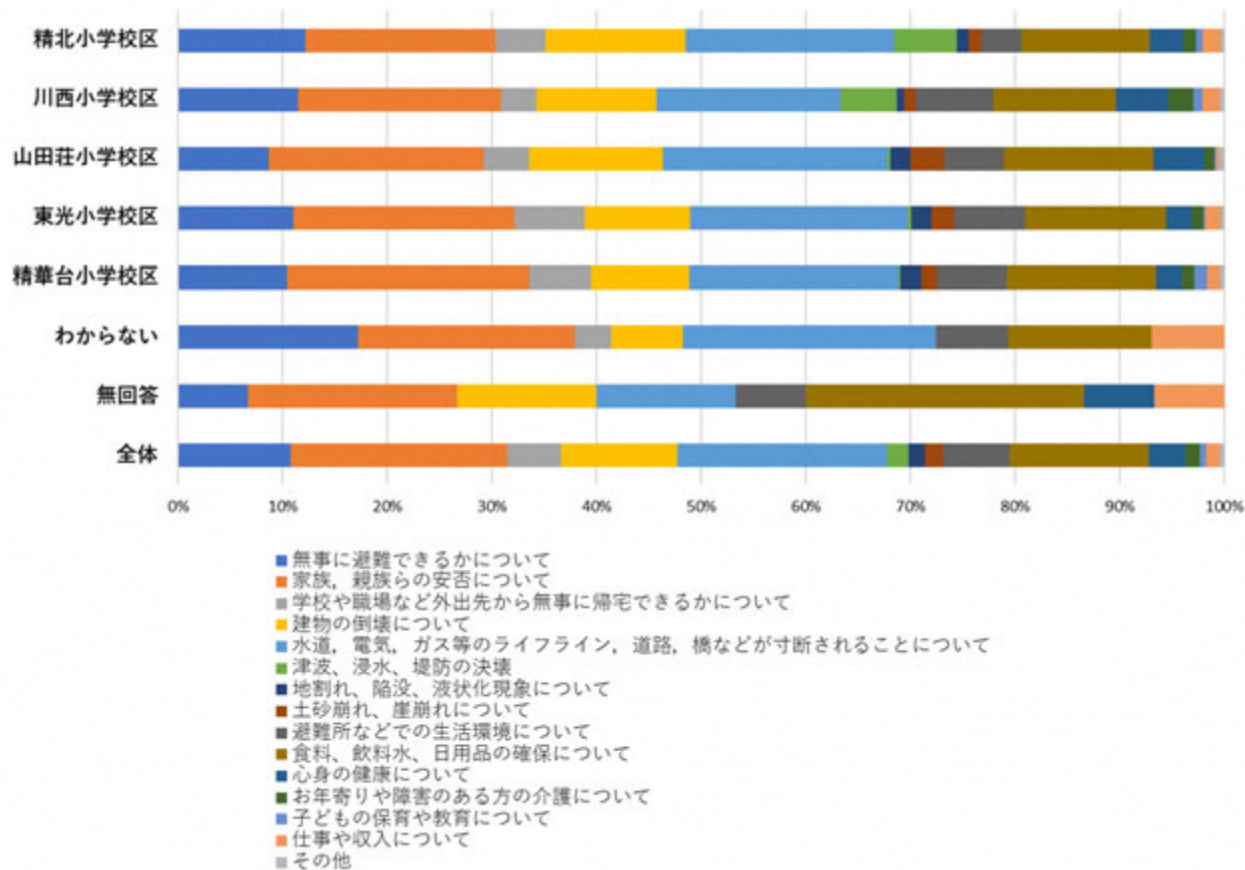


問3 大きな地震災害や水害などの災害が身近で起きると考えた際に、何について不安に思われますか。（3つまで回答可）

		精北 小学校区	川西 小学校区	山田荘 小学校区	東光 小学校区	精華台 小学校区	わからない	無回答	全体
1	無事に避難できるかについて	41 36.6%	51 33.1%	36 26.1%	68 32.7%	51 30.7%	5 50.0%	1 20.0%	253 31.9%
2	家族、親族らの安否について	61 54.5%	86 55.8%	85 61.6%	130 62.5%	114 68.7%	6 60.0%	3 60.0%	485 61.2%
3	学校や職場など外出先から無事に帰宅できるかについて	16 14.3%	15 9.7%	18 13.0%	41 19.7%	29 17.5%	1 10.0%	0 0.0%	120 15.1%
4	建物の倒壊について	45 40.2%	51 33.1%	53 38.4%	62 29.8%	46 27.7%	2 20.0%	2 40.0%	261 32.9%
5	水道、電気、ガス等のライフライン、道路、橋などが寸断されることについて	67 59.8%	78 50.6%	89 64.5%	128 61.5%	98 59.0%	7 70.0%	2 40.0%	469 59.1%
6	津波、浸水、堤防の決壊	20 17.9%	24 15.6%	1 0.7%	2 1.0%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	48 6.1%
7	地割れ、陥没、液状化現象について	4 3.6%	3 1.9%	8 5.8%	12 5.8%	10 6.0%	0 0.0%	0 0.0%	37 4.7%
8	土砂崩れ、崖崩れについて	4 3.6%	5 3.2%	13 9.4%	13 6.3%	7 4.2%	0 0.0%	0 0.0%	42 5.3%
9	避難所などでの生活環境について	13 11.6%	33 21.4%	24 17.4%	42 20.2%	33 19.9%	2 20.0%	1 20.0%	148 18.7%
10	食料、飲料水、日用品の確保について	41 36.6%	52 33.8%	59 42.8%	83 39.9%	70 42.2%	4 40.0%	4 80.0%	313 39.5%
11	心身の健康について	11 9.8%	22 14.3%	20 14.5%	15 7.2%	12 7.2%	0 0.0%	1 20.0%	81 10.2%
12	お年寄りや障害のある方の介護について	4 3.6%	11 7.1%	4 2.9%	7 3.4%	6 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	32 4.0%
13	子どもの保育や教育について	2 1.8%	4 2.6%	1 0.7%	1 0.5%	6 3.6%	0 0.0%	0 0.0%	14 1.8%
14	仕事や収入について	6 5.4%	7 4.5%	1 0.7%	9 4.3%	6 3.6%	2 20.0%	1 20.0%	32 4.0%
15	その他	1 0.9%	2 1.3%	2 1.4%	2 1.0%	2 1.2%	0 0.0%	0 0.0%	9 1.1%
	回答者数(n=)	112	154	138	208	166	10	5	793

※上段は件数、下段は割合(回答率)

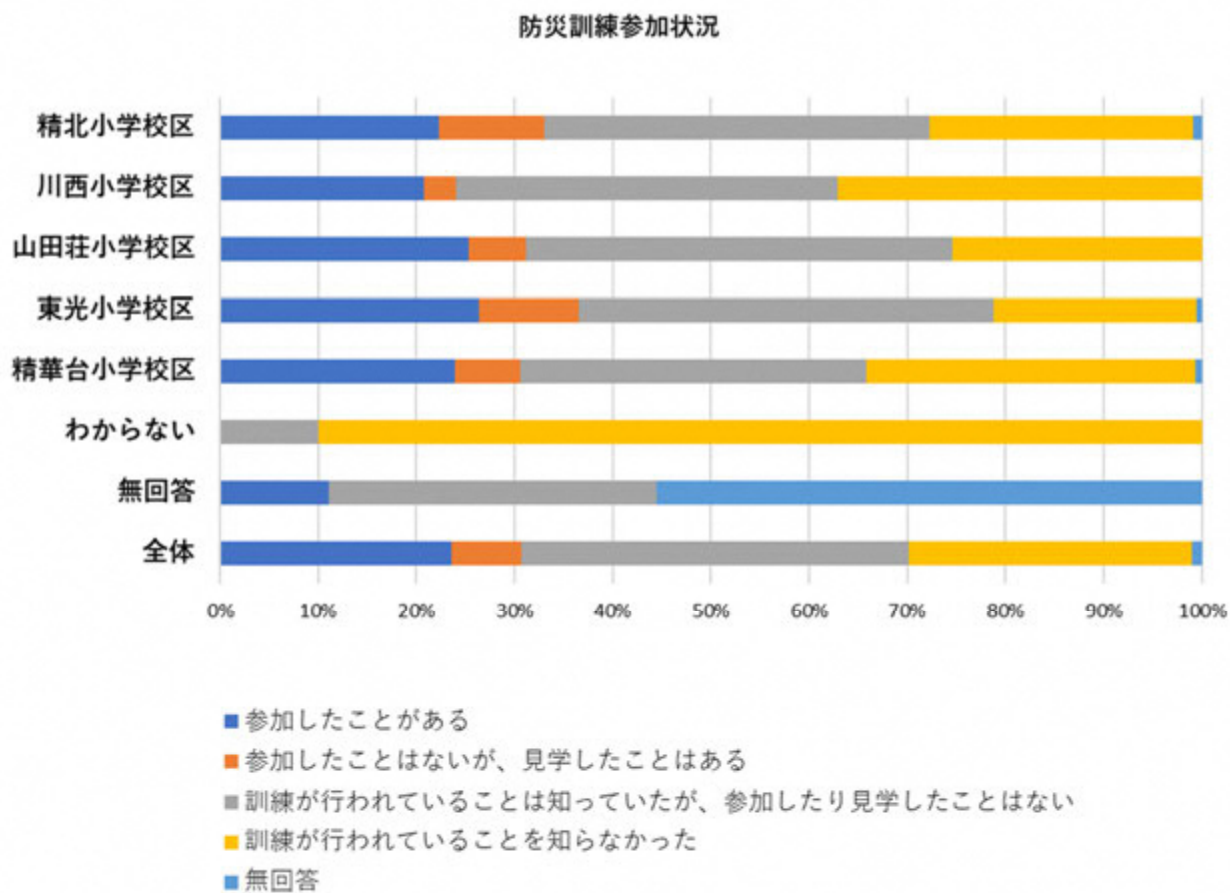
災害時に不安に思うこと（3つまで回答可）



問4 精華町では、毎年防災訓練を行っています。あなたは、今までに精華町の実施する防災訓練に参加したり、見学したことがありますか。

	精北 小学校区	川西 小学校区	山田荘 小学校区	東光 小学校区	精華台 小学校区	わからない	無回答	全体
1 参加したことがある	25 22.3%	32 20.8%	35 25.4%	55 26.4%	40 24.0%	0 0.0%	1 11.1%	188 23.6%
2 参加したことはないが、見学したことはある	12 10.7%	5 3.2%	8 5.8%	21 10.1%	11 6.6%	0 0.0%	0 0.0%	57 7.1%
3 訓練が行われていることは知っていたが、参加したり見学したことはない	44 39.3%	60 39.0%	60 43.5%	88 42.3%	59 35.3%	1 10.0%	3 33.3%	315 39.5%
4 訓練が行われていることを知らなかった	30 26.8%	57 37.0%	35 25.4%	43 20.7%	56 33.5%	9 90.0%	0 0.0%	230 28.8%
0 無回答	1 0.9%	0 0.0%	0 0.0%	1 0.5%	1 0.6%	0 0.0%	5 55.6%	8 1.0%
回答者数(n=)	112 100.0%	154 100.0%	138 100.0%	208 100.0%	167 100.0%	10 100.0%	9 100.0%	798 100.0%

※上段は件数、下段は割合

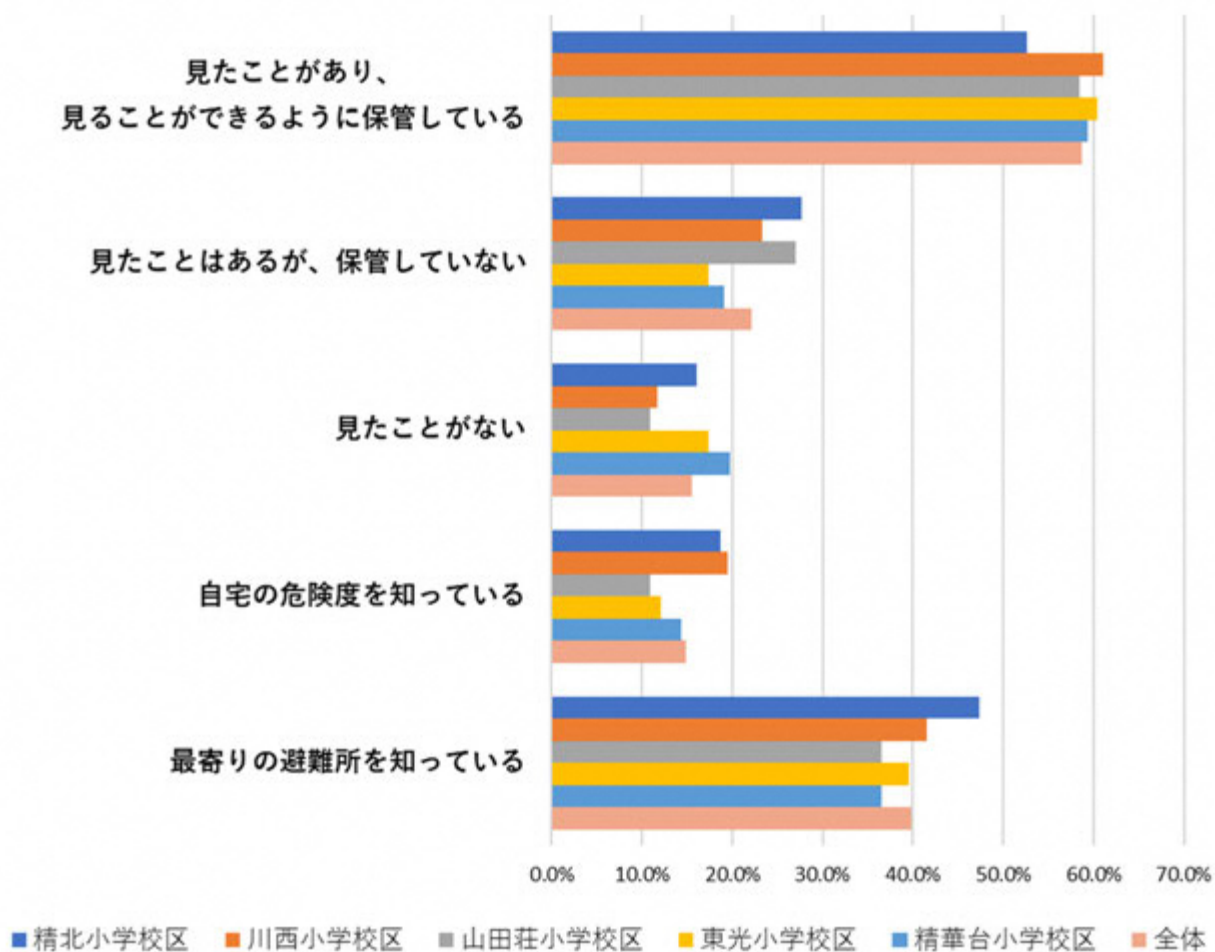


問5 あなたは災害時に避難救護活動を行う施設、特に注意すべき場所、防災知識などをとりまとめた「精華町防災マップ」や「精華町地震ハザードマップ」を知っていますか。（複数回答可）

		精北 小学校区	川西 小学校区	山田荘 小学校区	東光 小学校区	精華台 小学校区	わからない	無回答	全体
1	見たことがあり、見る ことができるように保管 している	59 52.7%	94 61.0%	80 58.4%	125 60.4%	99 59.3%	4 40.0%	6 75.0%	467 58.7%
2	見たことはあるが、保管 していない	31 27.7%	36 23.4%	37 27.0%	36 17.4%	32 19.2%	3 30.0%	1 12.5%	176 22.1%
3	見たことがない	18 16.1%	18 11.7%	15 10.9%	36 17.4%	33 19.8%	3 30.0%	0 0.0%	123 15.5%
4	自宅の危険度を知っている	21 18.8%	30 19.5%	15 10.9%	25 12.1%	24 14.4%	1 10.0%	2 25.0%	118 14.8%
5	最寄りの避難所を知っている	53 47.3%	64 41.6%	50 36.5%	82 39.6%	61 36.5%	2 20.0%	4 50.0%	316 39.7%
	回答者数(n=)	112	154	137	207	167	10	8	795

※上段は件数、下段は割合(回答率)

防災マップ、ハザードマップの認知度（複数回答可）

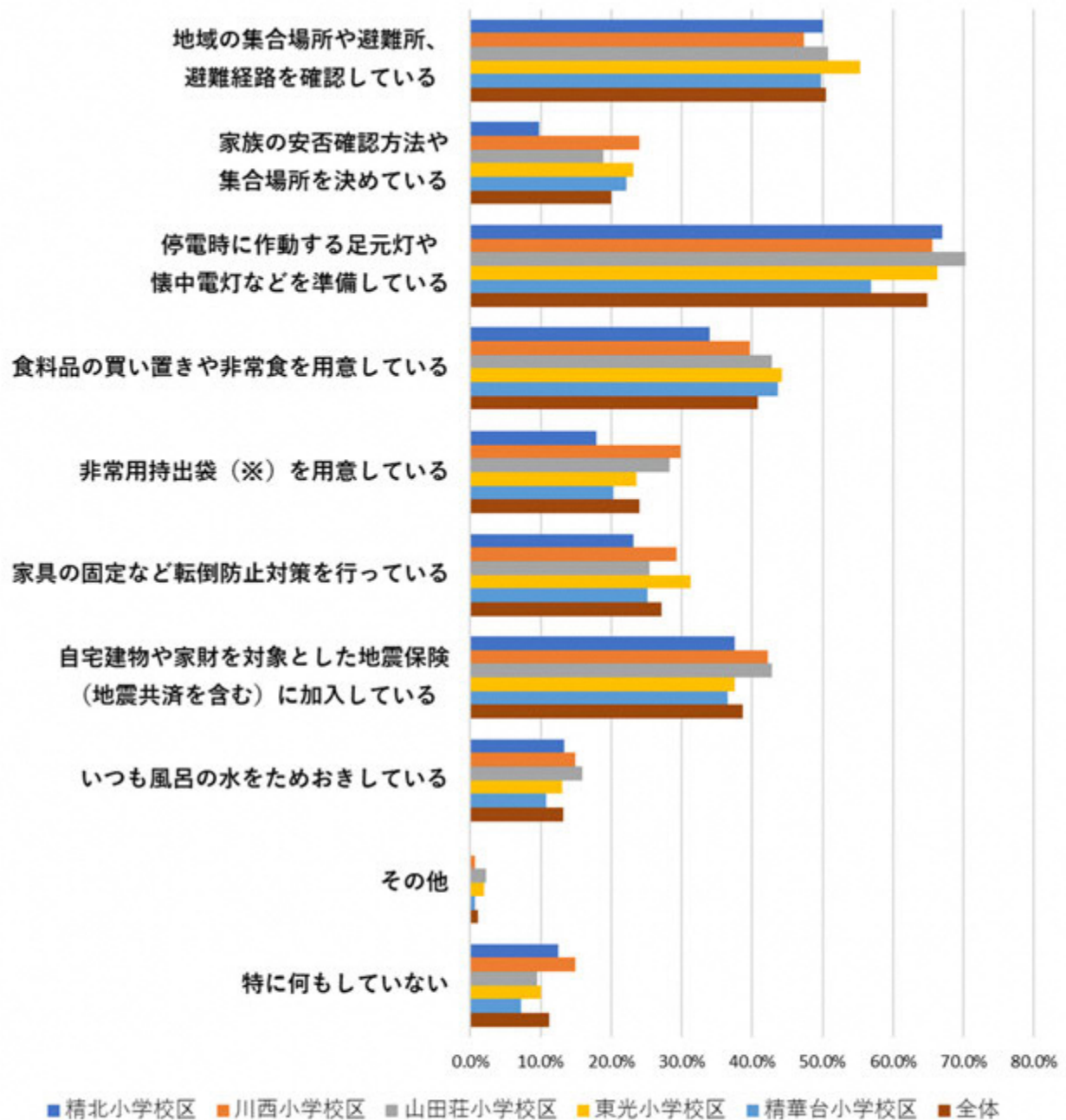


問6 あなたは災害に備えて具体的にどういった取組をされていますか。（複数回答可）

		精北 小学校区	川西 小学校区	山田荘 小学校区	東光 小学校区	精華台 小学校区	わからない	無回答	全体
1	地域の集合場所や避難所、避難経路を確認している	56 50.0%	73 47.4%	70 50.7%	115 55.3%	83 49.7%	3 30.0%	3 33.3%	403 50.5%
2	家族の安否確認方法や集合場所を決めている	11 9.8%	37 24.0%	26 18.8%	48 23.1%	37 22.2%	0 0.0%	1 11.1%	160 20.1%
3	停電時に作動する足元灯や懐中電灯などを準備している	75 67.0%	101 65.6%	97 70.3%	138 66.3%	95 56.9%	2 20.0%	9 100.0%	517 64.8%
4	食料品の買い置きや非常食を用意している	38 33.9%	61 39.6%	59 42.8%	92 44.2%	73 43.7%	1 10.0%	2 22.2%	326 40.9%
5	非常用持出袋を用意している	20 17.9%	46 29.9%	39 28.3%	49 23.6%	34 20.4%	0 0.0%	4 44.4%	192 24.1%
6	家具の固定など転倒防止対策を行っている	26 23.2%	45 29.2%	35 25.4%	65 31.3%	42 25.1%	2 20.0%	2 22.2%	217 27.2%
7	自宅建物や家財を対象とした地震保険（地震共済を含む）に加入している	42 37.5%	65 42.2%	59 42.8%	78 37.5%	61 36.5%	1 10.0%	2 22.2%	308 38.6%
8	いつも風呂の水をためおきしている	15 13.4%	23 14.9%	22 15.9%	27 13.0%	18 10.8%	0 0.0%	0 0.0%	105 13.2%
9	その他	0 0.0%	1 0.6%	3 2.2%	4 1.9%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	9 1.1%
10	特に何もしていない	14 12.5%	23 14.9%	13 9.4%	21 10.1%	12 7.2%	5 50.0%	1 11.1%	89 11.2%
	回答者数(n=)	112	154	138	208	167	10	9	798

※上段は件数、下段は割合(回答率)

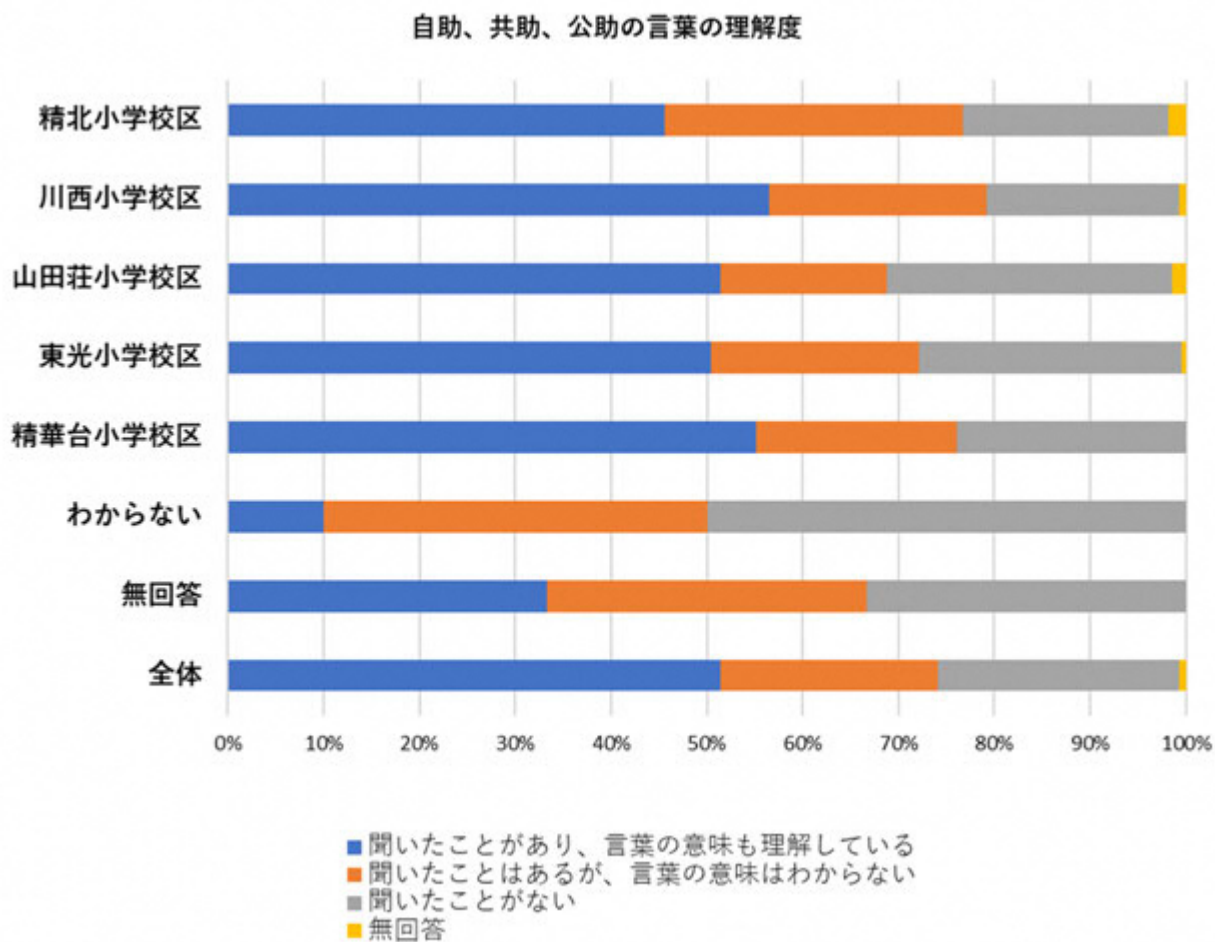
災害に備えての取り組み（複数回答可）



問7 あなたは「自助」・「共助」・「公助」という言葉をご存知ですか。

	精北 小学校区	川西 小学校区	山田荘 小学校区	東光 小学校区	精華台 小学校区	わからない	無回答	全体
1 聞いたことがあり、言葉の意味も理解している	51 45.5%	87 56.5%	71 51.4%	105 50.5%	92 55.1%	1 10.0%	3 33.3%	410 51.4%
2 聞いたことはあるが、言葉の意味はわからない	35 31.3%	35 22.7%	24 17.4%	45 21.6%	35 21.0%	4 40.0%	3 33.3%	181 22.7%
3 聞いたことがない	24 21.4%	31 20.1%	41 29.7%	57 27.4%	40 24.0%	5 50.0%	3 33.3%	201 25.2%
0 無回答	2 1.8%	1 0.6%	2 1.4%	1 0.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 0.8%
回答者数(n=)	112 100.0%	154 100.0%	138 100.0%	208 100.0%	167 100.0%	10 100.0%	9 100.0%	798 100.0%

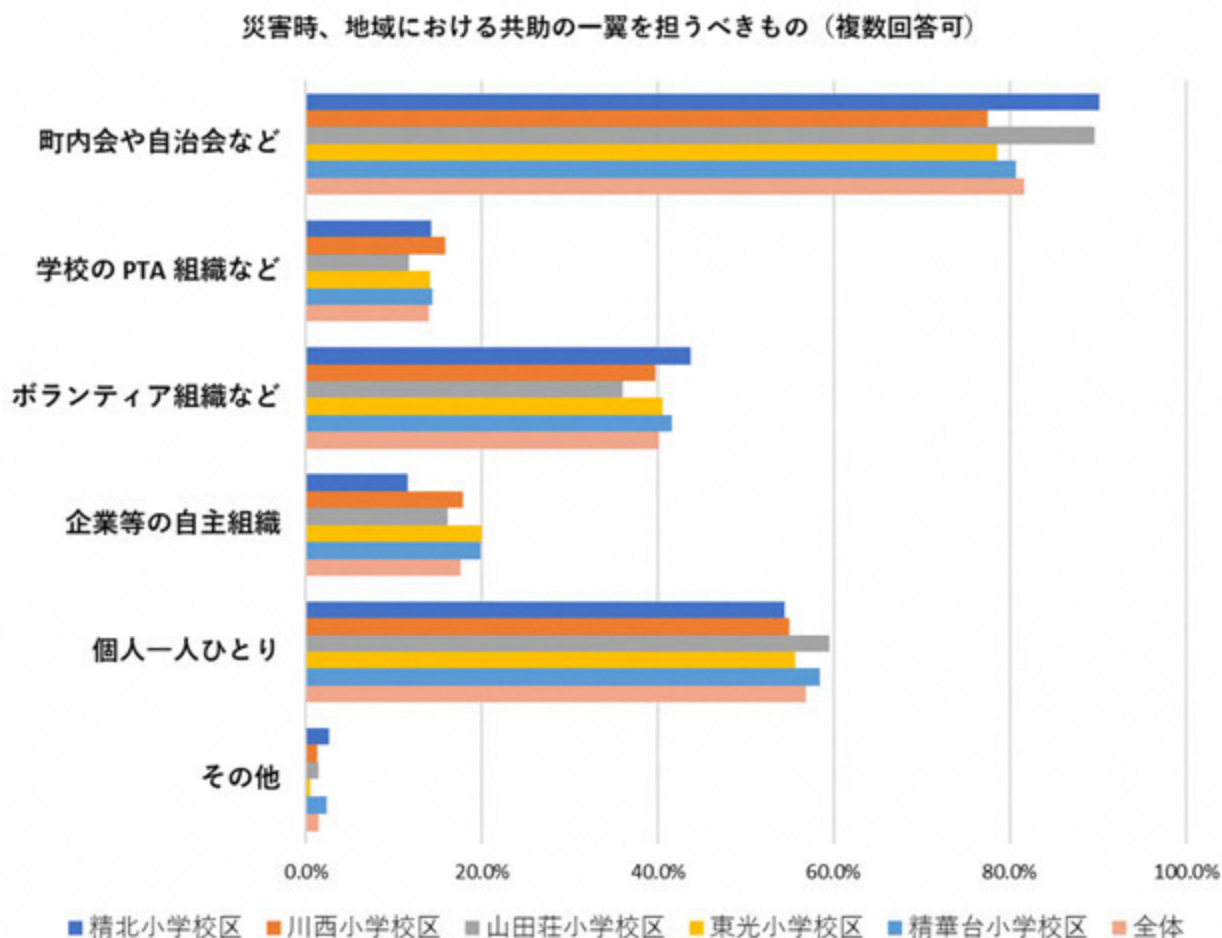
※上段は件数、下段は割合



問8 災害時、行政による活動のほかに、地域における共助の一翼を担うべきものは何だと思いますか。（複数回答可）

	精北 小学校区	川西 小学校区	山田荘 小学校区	東光 小学校区	精華台 小学校区	わからない	無回答	全体
1 町内会や自治会など	101 90.2%	117 77.5%	122 89.7%	161 78.5%	134 80.7%	1 10.0%	8 88.9%	644 81.6%
2 学校の PTA 組織など	16 14.3%	24 15.9%	16 11.8%	29 14.1%	24 14.5%	0 0.0%	2 22.2%	111 14.1%
3 ボランティア組織など	49 43.8%	60 39.7%	49 36.0%	83 40.5%	69 41.6%	4 40.0%	3 33.3%	317 40.2%
4 企業等の自主組織	13 11.6%	27 17.9%	22 16.2%	41 20.0%	33 19.9%	2 20.0%	1 11.1%	139 17.6%
5 個人一人ひとり	61 54.5%	83 55.0%	81 59.6%	114 55.6%	97 58.4%	6 60.0%	6 66.7%	448 56.8%
6 その他	3 2.7%	2 1.3%	2 1.5%	1 0.5%	4 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	12 1.5%
回答者数(n=)	112	151	136	205	166	10	9	789

※上段は件数、下段は割合(回答率)

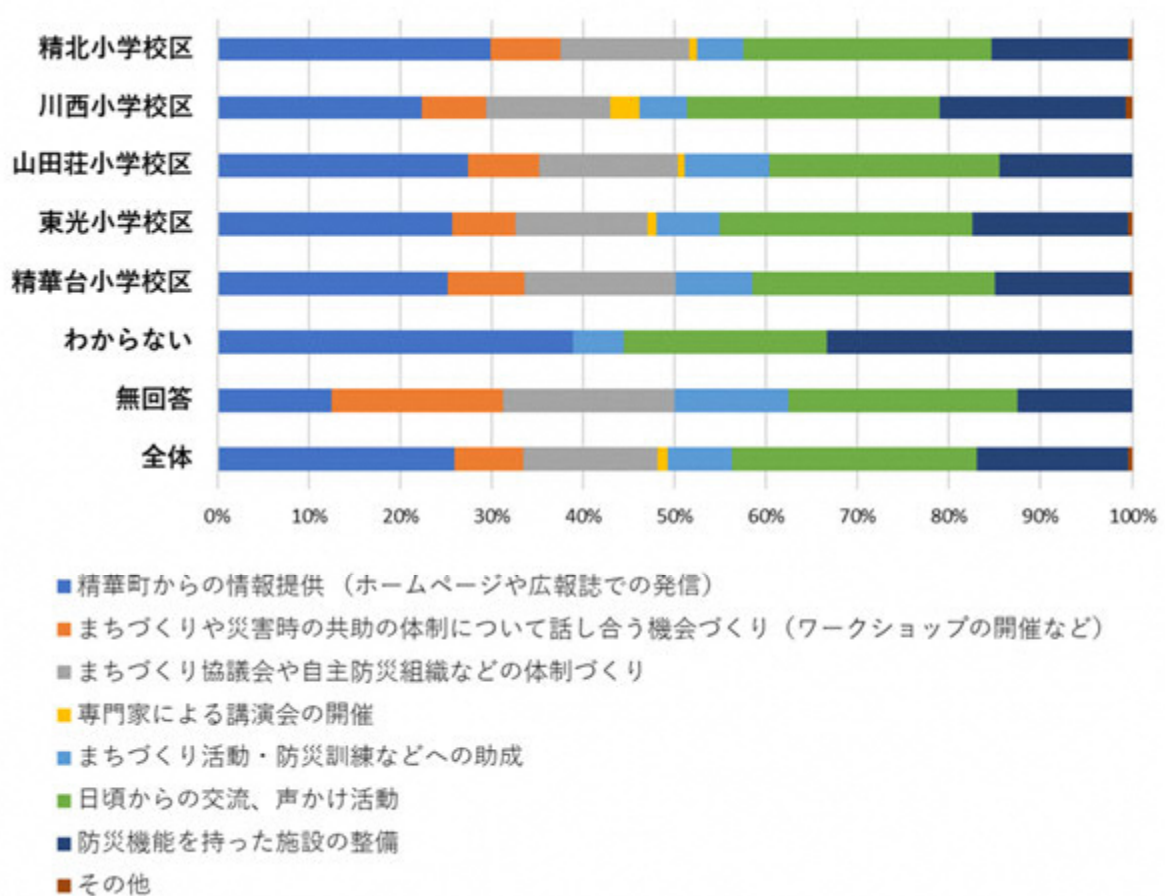


問9 災害時、地域による共助が機能するために、重要なものは何だと思いますか。（2つまで回答可）

	精北 小学校区	川西 小学校区	山田荘 小学校区	東光 小学校区	精華台 小学校区	わからない	無回答	全体
1 精華町からの情報提供（ホームページや広報誌での発信）	66 58.9%	64 43.0%	74 54.8%	105 51.0%	79 47.6%	7 70.0%	2 22.2%	397 50.4%
2 まちづくりや災害時の共助の体制について話し合う機会づくり（ワークショップの開催など）	17 15.2%	20 13.4%	21 15.6%	28 13.6%	26 15.7%	0 0.0%	3 33.3%	115 14.6%
3 まちづくり協議会や自主防災組織などの体制づくり	31 27.7%	39 26.2%	41 30.4%	59 28.6%	52 31.3%	0 0.0%	3 33.3%	225 28.6%
4 専門家による講演会の開催	2 1.8%	9 6.0%	2 1.5%	4 1.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	17 2.2%
5 まちづくり活動・防災訓練などへの助成	11 9.8%	15 10.1%	25 18.5%	28 13.6%	26 15.7%	1 10.0%	2 22.2%	108 13.7%
6 日頃からの交流、声かけ活動	60 53.6%	79 53.0%	68 50.4%	113 54.9%	83 50.0%	4 40.0%	4 44.4%	411 52.2%
7 防災機能を持った施設の整備	33 29.5%	58 38.9%	39 28.9%	69 33.5%	46 27.7%	6 60.0%	2 22.2%	253 32.1%
8 その他	1 0.9%	2 1.3%	0 0.0%	2 1.0%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	6 0.8%
回答者数(n=)	112	149	135	206	166	10	9	787

※上段は件数、下段は割合(回答率)

災害時、地域による共助が機能するために、重要なもの（2つまで回答可）

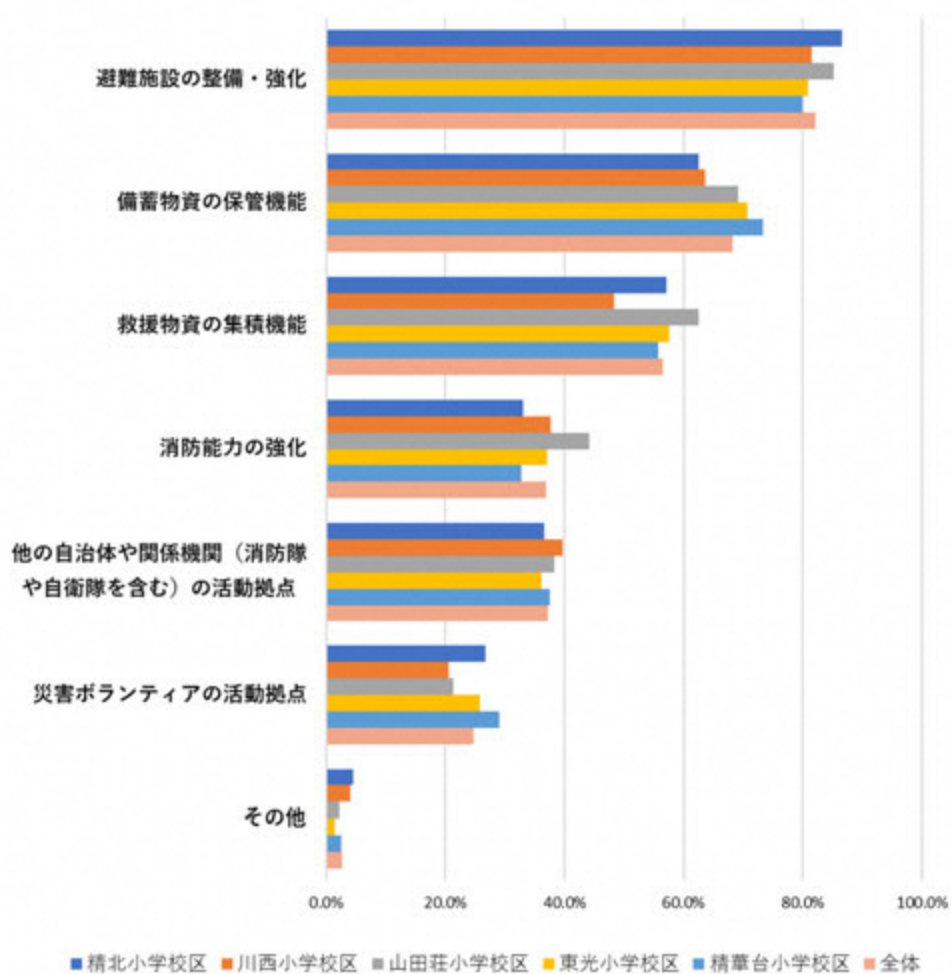


問１０ まちとしての防災機能の充実を図るために、重要だと思われる機能は何だと思いますか。
(複数回答可)

	精北 小学校区	川西 小学校区	山田荘 小学校区	東光 小学校区	精華台 小学校区	わからない	無回答	全体
1 避難施設の整備・強化	97 86.6%	123 81.5%	116 85.3%	166 81.0%	132 80.0%	6 66.7%	6 66.7%	646 82.1%
2 備蓄物資の保管機能	70 62.5%	96 63.6%	94 69.1%	145 70.7%	121 73.3%	3 33.3%	8 88.9%	537 68.2%
3 救援物資の集積機能	64 57.1%	73 48.3%	85 62.5%	118 57.6%	92 55.8%	6 66.7%	7 77.8%	445 56.5%
4 消防能力の強化	37 33.0%	57 37.7%	60 44.1%	76 37.1%	54 32.7%	4 44.4%	3 33.3%	291 37.0%
5 他の自治体や関係機関（消防隊や自衛隊を含む）の活動拠点	41 36.6%	60 39.7%	52 38.2%	74 36.1%	62 37.6%	1 11.1%	3 33.3%	293 37.2%
6 災害ボランティアの活動拠点	30 26.8%	31 20.5%	29 21.3%	53 25.9%	48 29.1%	1 11.1%	2 22.2%	194 24.7%
7 その他	5 4.5%	6 4.0%	3 2.2%	3 1.5%	4 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	21 2.7%
回答者数(n=)	112	151	136	205	165	9	9	787

※上段は件数、下段は割合(回答率)

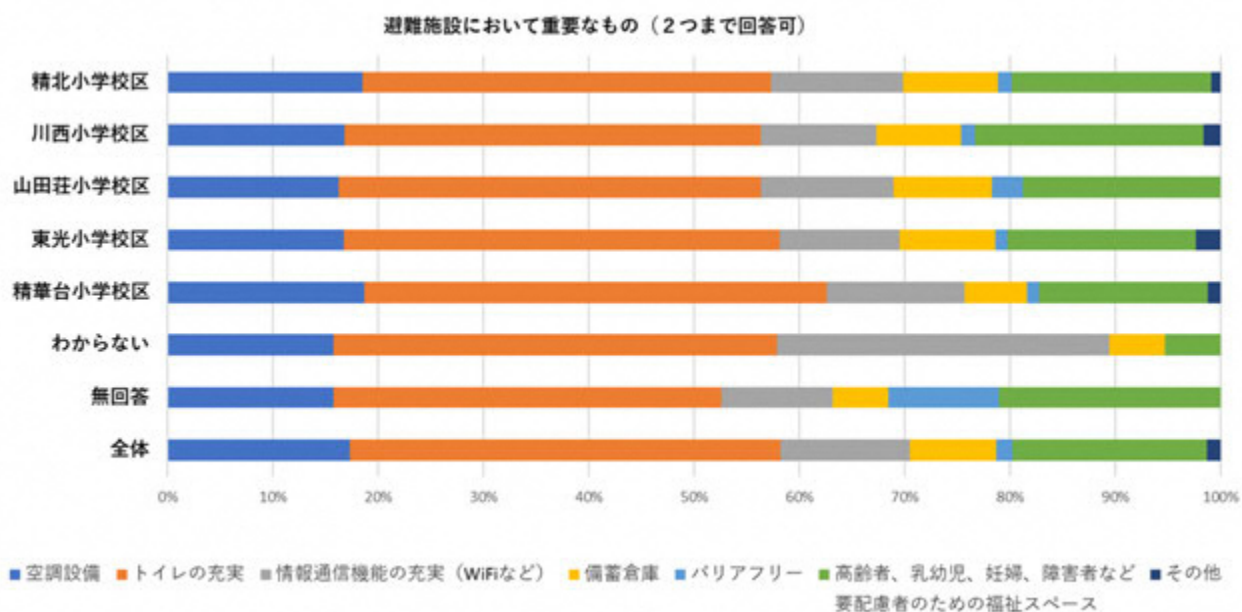
防災機能の充実を図るために重要な機能（複数回答可）



問 1 1 避難施設において重要なものは何だと思いますか。（2つまで回答可）

	精北 小学校区	川西 小学校区	山田荘 小学校区	東光 小学校区	精華台 小学校区	わからない	無回答	全体
1 空調設備	43 38.4%	52 34.0%	45 32.8%	72 35.0%	63 38.2%	3 30.0%	3 33.3%	281 35.5%
2 トイレの充実	90 80.4%	122 79.7%	111 81.0%	178 86.4%	148 89.7%	8 80.0%	7 77.8%	664 83.8%
3 情報通信機能の充実 (WiFiなど)	29 25.9%	34 22.2%	35 25.5%	49 23.8%	44 26.7%	6 60.0%	2 22.2%	199 25.1%
4 備蓄倉庫	21 18.8%	25 16.3%	26 19.0%	39 18.9%	20 12.1%	1 10.0%	1 11.1%	133 16.8%
5 バリアフリー	3 2.7%	4 2.6%	8 5.8%	5 2.4%	4 2.4%	0 0.0%	2 22.2%	26 3.3%
6 高齢者、乳幼児、妊婦、障害者など要 配慮者のための福祉スペース	44 39.3%	67 43.8%	52 38.0%	77 37.4%	54 32.7%	1 10.0%	4 44.4%	299 37.8%
7 その他	2 1.8%	5 3.3%	0 0.0%	10 4.9%	4 2.4%	0 0.0%	0 0.0%	21 2.7%
回答者数(n=)	112	153	137	206	165	10	9	792

※上段は件数、下段は割合(回答率)

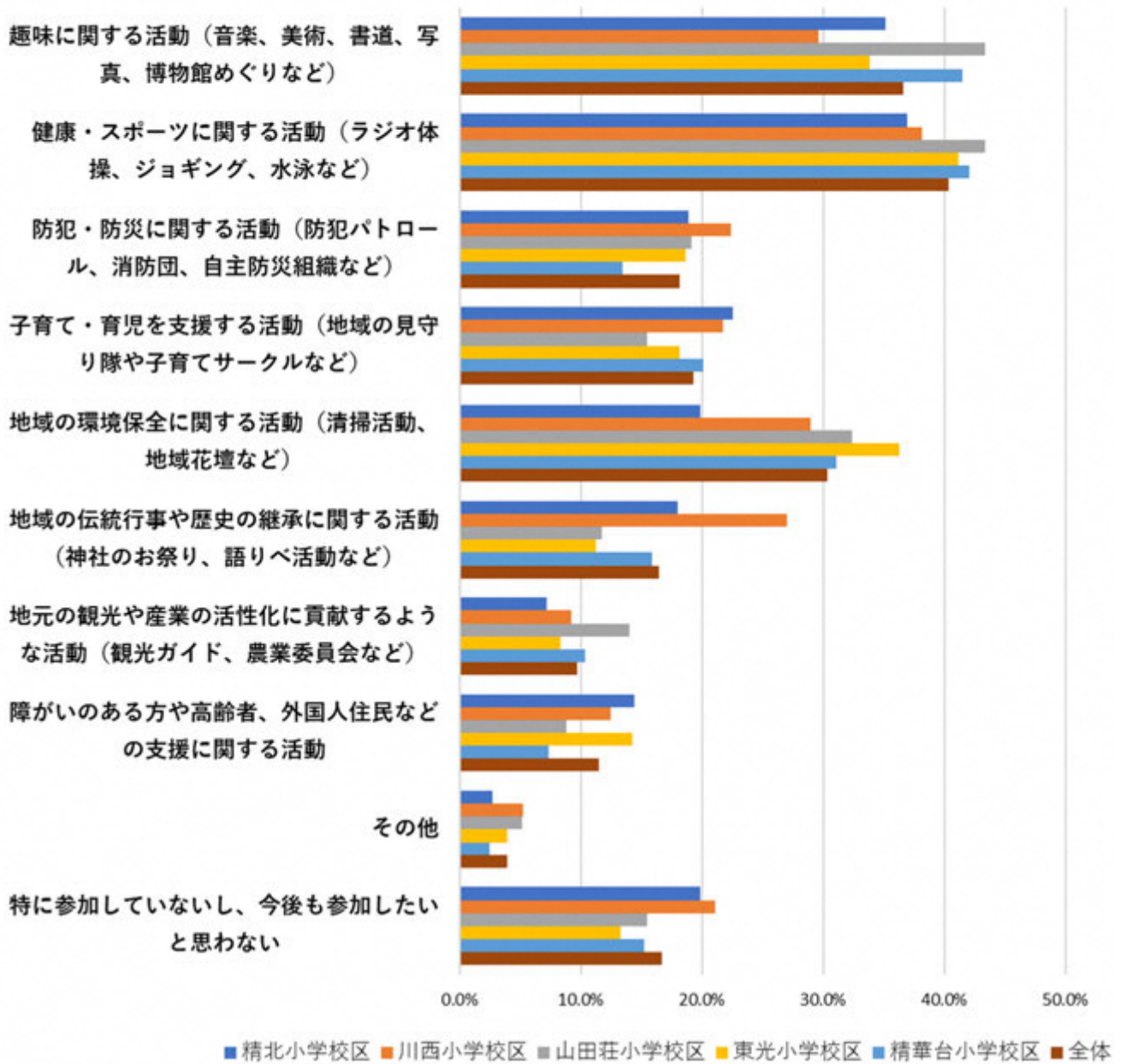


問１２ あなたは、地域や社会との関わりのためにどのような活動に参加している、もしくは、参加してみたいと思いますか。（複数回答可）

		精北 小学校区	川西 小学校区	山田荘 小学校区	東光 小学校区	精華台 小学校区	わからない	無回答	全体
1	趣味に関する活動（音楽、美術、書道、写真、博物館めぐりなど）	39 35.1%	45 29.6%	59 43.4%	69 33.8%	68 41.5%	4 44.4%	3 37.5%	287 36.6%
2	健康・スポーツに関する活動（ラジオ体操、ジョギング、水泳など）	41 36.9%	58 38.2%	59 43.4%	84 41.2%	69 42.1%	4 44.4%	1 12.5%	316 40.3%
3	防犯・防災に関する活動（防犯パトロール、消防団、自主防災組織など）	21 18.9%	34 22.4%	26 19.1%	38 18.6%	22 13.4%	0 0.0%	1 12.5%	142 18.1%
4	子育て・育児を支援する活動（地域の見守り隊や子育てサークルなど）	25 22.5%	33 21.7%	21 15.4%	37 18.1%	33 20.1%	1 11.1%	1 12.5%	151 19.3%
5	地域の環境保全に関する活動（清掃活動、地域花壇など）	22 19.8%	44 28.9%	44 32.4%	74 36.3%	51 31.1%	0 0.0%	3 37.5%	238 30.4%
6	地域の伝統行事や歴史の継承に関する活動（神社のお祭り、語りべ活動など）	20 18.0%	41 27.0%	16 11.8%	23 11.3%	26 15.9%	1 11.1%	2 25.0%	129 16.5%
7	地元の観光や産業の活性化に貢献するような活動（観光ガイド、農業委員会）	8 7.2%	14 9.2%	19 14.0%	17 8.3%	17 10.4%	1 11.1%	0 0.0%	76 9.7%
8	障がいのある方や高齢者、外国人住民などの支援に関する活動	16 14.4%	19 12.5%	12 8.8%	29 14.2%	12 7.3%	0 0.0%	2 25.0%	90 11.5%
9	その他	3 2.7%	8 5.3%	7 5.1%	8 3.9%	4 2.4%	0 0.0%	1 12.5%	31 4.0%
10	特に参加していないし、今後も参加したいと思わない	22 19.8%	32 21.1%	21 15.4%	27 13.2%	25 15.2%	3 33.3%	1 12.5%	131 16.7%
	回答者数(n=)	111	152	136	204	164	9	8	784

※上段は件数、下段は割合(回答率)

地域や社会との関わりのための活動状況（複数回答可）

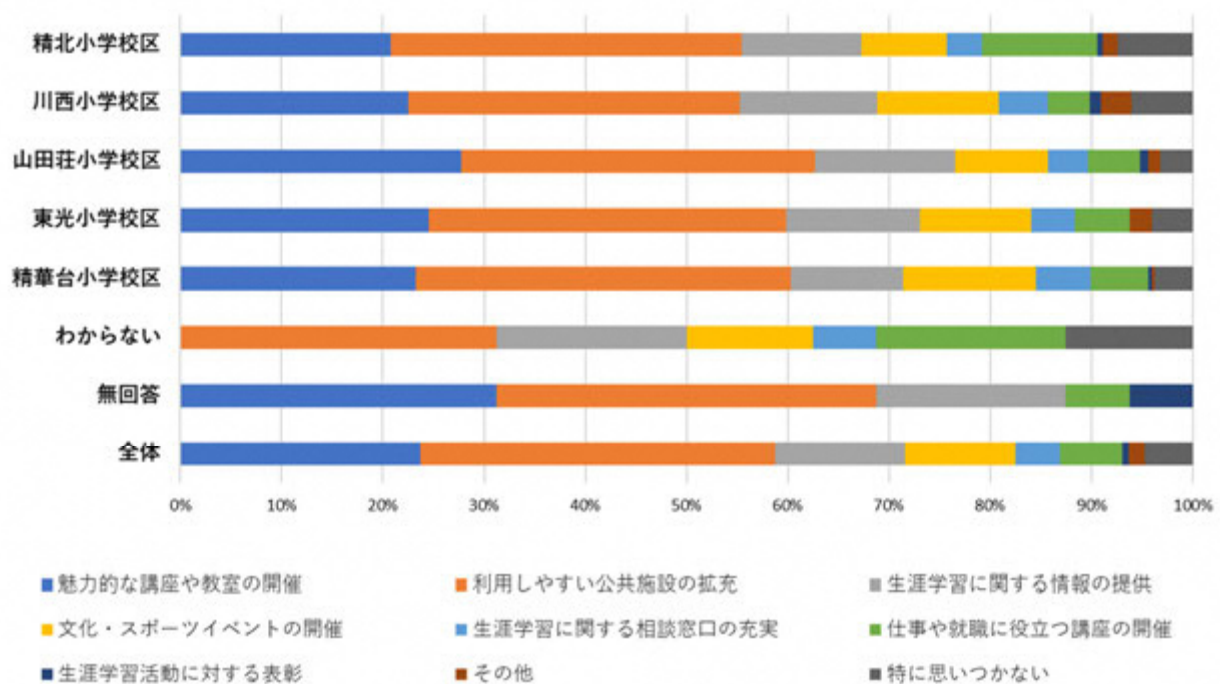


問 1 3 生涯学習を通じて地域交流を活発にするために精華町が取り組むべきことは何だと思いますか。（2つまで回答可）

	精北 小学校区	川西 小学校区	山田荘 小学校区	東光 小学校区	精華台 小学校区	わからない	無回答	全体
1 魅力的な講座や教室の開催	42 37.5%	60 40.3%	70 51.1%	91 44.0%	69 41.8%	0 0.0%	5 62.5%	337 42.8%
2 利用しやすい公共施設の拡充	70 62.5%	87 58.4%	88 64.2%	131 63.3%	110 66.7%	5 55.6%	6 75.0%	497 63.2%
3 生涯学習に関する情報の提供	24 21.4%	36 24.2%	35 25.5%	49 23.7%	33 20.0%	3 33.3%	3 37.5%	183 23.3%
4 文化・スポーツイベントの開催	17 15.2%	32 21.5%	23 16.8%	41 19.8%	39 23.6%	2 22.2%	0 0.0%	154 19.6%
5 生涯学習に関する相談窓口の充実	7 6.3%	13 8.7%	10 7.3%	16 7.7%	16 9.7%	1 11.1%	0 0.0%	63 8.0%
6 仕事や就職に役立つ講座の開催	23 20.5%	11 7.4%	13 9.5%	20 9.7%	17 10.3%	3 33.3%	1 12.5%	88 11.2%
7 生涯学習活動に対する表彰	1 0.9%	3 2.0%	2 1.5%	0 0.0%	1 0.6%	0 0.0%	1 12.5%	8 1.0%
8 その他	3 2.7%	8 5.4%	3 2.2%	8 3.9%	1 0.6%	0 0.0%	0 0.0%	23 2.9%
9 特に思いつかない	15 13.4%	16 10.7%	8 5.8%	15 7.2%	11 6.7%	2 22.2%	0 0.0%	67 8.5%
回答者数(n=)	112	149	137	207	165	9	8	787

※上段は件数、下段は割合(回答率)

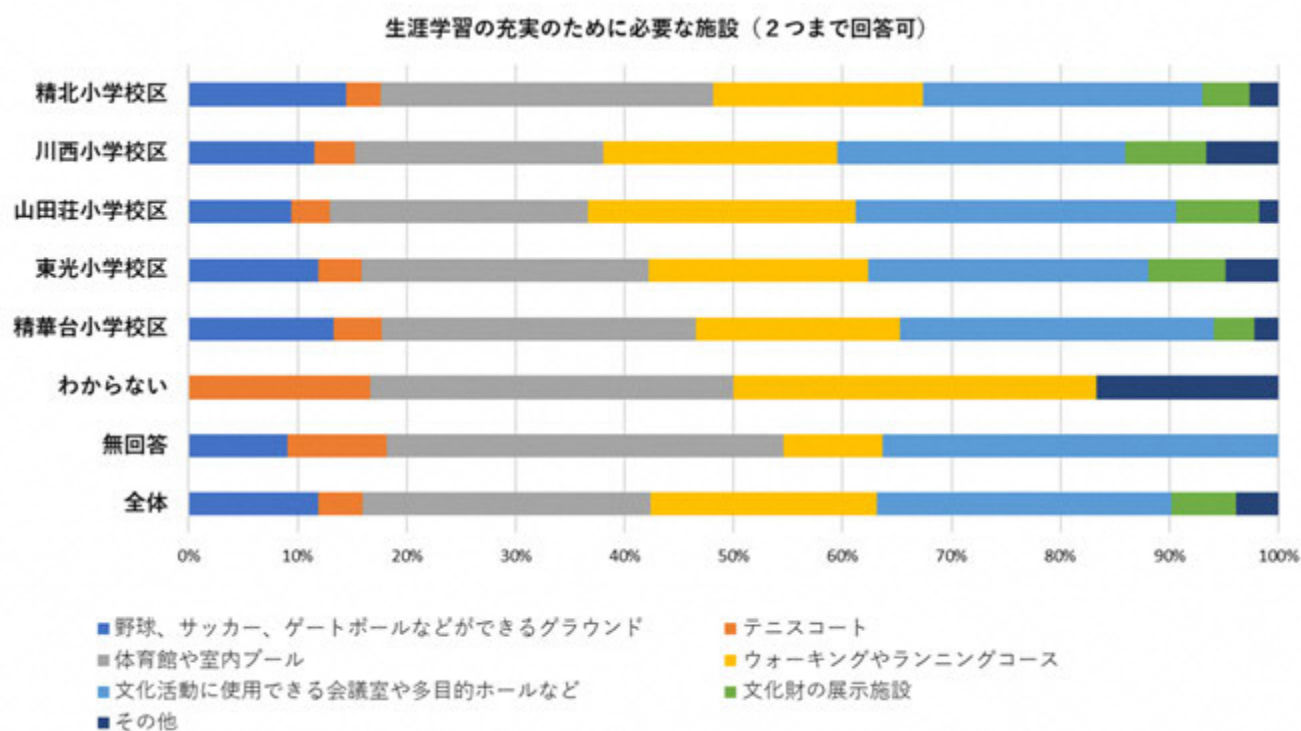
地域交流を活発にするために精華町が取り組むべきこと（2つまで回答可）



問１４ 生涯学習の充実のために必要な施設は何だと思いますか。（２つまで回答可）

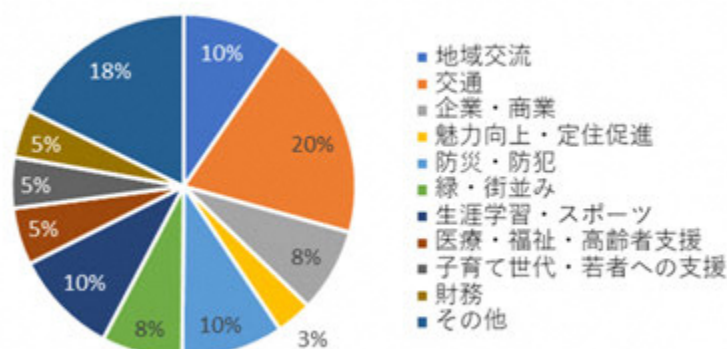
		精北 小学校区	川西 小学校区	山田荘 小学校区	東光 小学校区	精華台 小学校区	わからない	無回答	全体
1	野球、サッカー、ゲートボールなどができるグラウンド	27 26.0%	28 20.0%	21 16.5%	42 21.4%	36 22.6%	0 0.0%	1 14.3%	155 20.9%
2	テニスコート	6 5.8%	9 6.4%	8 6.3%	14 7.1%	12 7.5%	2 25.0%	1 14.3%	52 7.0%
3	体育館や室内プール	57 54.8%	55 39.3%	53 41.7%	93 47.4%	78 49.1%	4 50.0%	4 57.1%	344 46.4%
4	ウォーキングやランニングコース	36 34.6%	52 37.1%	55 43.3%	71 36.2%	51 32.1%	4 50.0%	1 14.3%	270 36.4%
5	文化活動に使用できる会議室や多目的ホールなど	48 46.2%	64 45.7%	66 52.0%	91 46.4%	78 49.1%	0 0.0%	4 57.1%	351 47.4%
6	文化財の展示施設	8 7.7%	18 12.9%	17 13.4%	25 12.8%	10 6.3%	0 0.0%	0 0.0%	78 10.5%
7	その他	5 4.8%	16 11.4%	4 3.1%	17 8.7%	6 3.8%	2 25.0%	0 0.0%	50 6.7%
	回答者数(n=)	104	140	127	196	159	8	7	741

※上段は件数、下段は割合(回答率)



5-5 自由意見

自由意見の欄には 270 名の方にご記入いただきました。頂いたご意見を分類すると以下のグラフのようになり、比較的交通分野へのご意見が多くありました。



子どもとお年寄りのふれあいを多くする。子どもがお店の人になって開催するマルシェやお祭りの開催 e t c。町内の人達の「顔見知り」を増やす。

交通網の整備（近鉄けいはんな線の延伸など） 国立国会図書館の活用強化。高齢者の交通ルールの周知徹底。自治会間の交流（自治会間で取り組みに差が大きい） 町制の施策で精華台や光台地区など住宅密集地に対する施策が少ない（旧街地エリアの施策に片寄っている）

今の子どもたちが都心部に移り住んでいくのではなく、この地に残って住んでいきたい・住んでいけるような街になればもっと魅力が出てくるのではないかと思います。

精華町と言えば、防衛庁の弾薬庫が存在している事が大きな要素だと思います。私達はその危険度が理解出来ていません。精華町の都市構想を考えて見るのであれば、この事が核心ではないかと思います。有事に弾薬庫がどの様に作用するのかを抜きに精華町の「まちづくり」は有り得ないのではないかと思います。私の購読紙は「産経新聞」であり、左寄りの考えは有りません！

大企業の建物が増える一方、大通りのメタセコイア並木は随分減り痛んでいます。又、緑が減り景観も変わりました。自動車も増えて空気が悪くなったように感じています。人も自然の一部である事の認識のもと、せめて今残っている緑を大切にしながらの開発を受け入れてほしいと思います。

精華町は少し田舎すぎているように感じる。合併などをして視野を広めるのも良いのではないかと。精華町だけでは限界がありそう。でも、閑静な住宅な所はとてもいいと思う。

精華町は学研都市であり日本の技術を担い発信する都市で、素晴らしい町であるのに、住民の80%以上が「ほぼ奈良」としか言わない。精華町は京都の大企業の研究所や国会図書館もある日本を代表する京都の国際都市であるというPRが足らなすぎる。子供達も「自分達はほぼ奈良という土地に暮らしている」と京都人の恥と言わんばかりに卑下しているのは、環境が（学校など）そうさせているように思う。精華町の価値観を上げてほしい。子供達が大きくなって精華町を出て大阪で働くのではなく、精華町の良き納税者となれるような魅力のある町づくりに期待します。また、当方娘と母子家庭ですが精華町母子家庭に優しくありません。

奈良交通のバス、昼間でも時間が１５分に１台ぐらいの時間表がほしいです。くるりんバスもバス停を多く停車してほしいです。そうすれば高齢者も利用しやすいと思っています。毎時間帯に３本ぐらい運行してほしいです。そうすれば外出する機会も多くなり健康に良いと思います。
光台・精華台以外の地区は、土地が低く大水害に弱いと思う。想定外についても対策が必要。
くるりんバスのルートが北・南２コースしかないので他コースも検討してほしい。木津や奈良へのコースがあると他市からのアクセスも良く利用者も増えると思います。不便な地域を走行する必要性もわかりますが、今のルートは無駄が多いと思います。中学校給食導入に一体何年かかっているのか…。何が問題なんでしょうか？ 説明が聞きたいです。
災害時におけるペットを伴った避難についての対策を充実させてほしい。
精華町はゆとりのある町並みがとても美しいと思います。道路や商業施設・住宅・田園などにおいて、これからも近隣の市・町には見られないようなまちづくりであってほしいです。
企業との連携や事業との関係強化できるような取り組みを作ってみてほしいです。スタートアップ支援などが有効かと思っています。
名産物を作るべき（全国区の）メインがない。学研都市としての魅力を持ちながら人を呼ぶ要になるものが不足している。
むくのきセンターを利用することが多いが交通の便が悪いと思う。高齢者は車が使えないのでくるりんバスの回数をもっと増やしてほしい。
団地に住んでいると横のつながりが薄く災害時など不安です。地域の人が会ってコミュニケーションとれるような場があればいいです。また、防災ボランティア講座なども土日だけでなく平日夜（昼）の回などがあると参加しやすいです（託児などあると）
くるりんバス、上り・下り方向の増便。
今回の教育とは関係ないかもしれませんが、精華町の緑の町並みが大好きです！ ところが最近、精華大通りのメタセコイヤの根元に雑草防止のシートを張って草取りの軽減をしている様ですが、木を真綿でしめつける様なひどいやり方は胸を痛めています。明らかに木が弱っています。除草の費用に税金を使って下さってもいいじゃないですか？
今年は豪雨や地震等多く、自宅近郊には竹やぶ等多く、そのたびに側道や道路がごみで詰まったり、何日も放置されています。町等でパトロールされている姿を見かけますが、実際の掃除等がなかなかスムーズにされていないようですし、全くその行動がなされていないことも散見されます。特に大雨の場合、溝が詰まることにより水があふれる。通学路だけに子供さん等にも影響があるのではと懸念しています。
防災とは関係がないのですが、祝園駅前のバイクも停められる駐輪場が駅から遠い上、狭いのでピーク時には溢れている（白線内にバイクが全て停められていない）ため改善を希望します。新しくできたロータリー内の駐輪場には自転車がほぼ停められておらず（おそらく混んでも駅に近い駐輪場に停めるだろうと考えている）一部の駐輪場をバイクも停めれるようにできないか検討していただきたいです。
地域活動に参加するための交通手段が路線バスなので費用がかかる。くるりんバスの本数を今少し増やしてほしい。
精華台５丁目のたまき公園について、サッカーと野球をする子供が多く非常にやかましく困っています。通常、民家の密集した中にある公園はボール遊び禁止です。夏は朝の６時からサッカーボールの蹴る音が鳴り響いており、ゆっくり眠る事が出来ません。夜は２０時くらいまでボール騒音に悩ま

れる日があります。家の壁や窓にあたる事もあり、庭に入ったボールを拾うために敷地内に勝手に入ってきます。本当に困っています。何とか精華町の力を貸していただき、「たまき公園内でのボール禁止」を指導していただきますよう宜しくお願い致します。
余分な所に税金を使いすぎ（特に道路） 精華町が借金だらけなので自分らの給料を下げようとしな い！ まず借金を減らす事を考える！
精華町は学研都市として、山ノ手は積極的に整備が進んでいるが、駅から東側の整備は後手になって いる様に感じます。特に水防に対する備えは形として見えておらず、非常に取り残されていると感じ ます。例えば、農道に歩道はあるものの右になったり左になったり、車道を横切らなければならず、 歩行者のために本当に考えて整備を進めているか疑問（安全面において）
高齢者社会に向けて医療施設の充実とその施設を公共のため誰でも参加できるように用意してほし い。民間の場合、有料でなければならず高齢者などは参加しにくい。
電車を登美ヶ丘～新祝園へ通すこと。
精華町に関しては、一見最先端のまちにも見られそうだが、実はその真逆で、住んでみると体質や考 え方が古く、また無駄も多くとても残念である。そして生活弱者に厳しいまちである。組織ぐるみで 隠ぺいしたり、かばい合ったり、「前例がないから」と取り合わない等、まちを良くする方向に向か っていかず時代に逆行している。学校給食法では義務教育の学校設置者について「給食が実施される ように努めなければならない」と定めているにもかかわらず、その努力も感じられず、一体何十年か かることやらと嘆息する。
恵まれた自然や環境を利用して、花だんや街路樹を魅力ある街づくりに活かしてほしいと思います。 又、特産品（いちご等）をもっと生産できるように農家に補助金等利用できるようにして生産者を増 やす努力が必要だと思います。
大型温浴施設があれば年配の人のコミュニケーションにもなるし、若い人のリラックス施設にもなる と思います。
現在住まいしている所は気に入っていますが散歩をして思うことはアレルギー性の鼻等がひどい私他 友人や家族が夏草の花でくしゃみや目をはらしたりで毎年医者通いをします。草を刈るのは広範囲で 大変なのは分かるのですが、草が花や種をつける前に刈り取っていただければかなり違うのではない かと毎年夏の前に思っています。
町予算分配の見直し。何でも手厚くすればよいというものではないと思う→いくらお金があっても足 りず、本当に必要なことをしてもらえない。行政も時代にあわせた行動が必要。
精華町にある各種企業とタイアップ、ボランティア活動に参加する。
特になし
町内道路の見直し。排水を良くする為の大きい川がない。工業団地を作る。３年から１０年の町の計 画設計がほしい。
精華町には旧地域と研究所の集中する新地域がありますが、同じ町内とは思えない程の格差がありま す（道路整備や集会所の設備等） 学研都市として光が当たるのは新地域ばかりのように感じます。 旧地域の整備もよろしくお願ひしたいと思います。特に粕田地域の駅前周辺は昔のままで、買物にも 非常に不便です。高齢者も住みやすい所になる事を願ってます。
各自治会での様々な活動、町としての活動、各活動の内容や連絡先等まとめて各個配布されていま すが、なかなか連絡をとり加入はしにくい。知った人から声をかけていただく事により行ってみようか な、と思える。公報で様々な教室をされている募集があるが良い事だと思う。でも、毎年同じ事・内

容だ。金額の事を考えたり、一人だけでの参加となると勇気が出ず申し込みできない事も多い。他の市町村がどのような形でどのような内容をどのように募集しているのか等も見たい・考えてほしいと思えますが、精華町はまだ頑張っている方なのかな…？ けれど、もう少し内容・行い方・新しい何か等々考えられる部分も多々ありだと思える。まとめてくださるコンサルタント会社の方へ。この事もしっかりと精華町にお伝え下さい。精華町は少し職員に甘いのではないかなと思える。公務員ではありますが会社員のごとくに自分に厳しく仕事に向かってほしい。職員の対応も不親切であるように思える。職員間のムダ話も多いのでは？ パソコンに向かって仕事をしているようにみえるが実際はヤフーを見ているのではないのか？ 特に本庁より施設は甘い。実際に必要な職員の配置人数にしてほしい。
学習や趣味に行きたくても運転が出来なくては出られない！ くるりんバスでも農道道路を走っては家からでは遠い。せめて集会所ぐらいまで来てほしい！ 以前ダンプでも走っていたから、くるりんバスぐらい十分入ってこれると思う。買物も本当につらい！ 特に狛田地区はほんとにけぼりです。災害時の各家庭に無線の施設を進めてほしい。
通学路で、車との距離が非常に近くなる場所がいくつかあり、運転している時・歩いている時に気になります。車道・歩道にもう少し区別がつくとありがたいです。
子供から高齢者まで安心して生活できる学研都市精華町に築いてほしいと思っています。
けいはんなホテルがさびしいので、安くておいしいパン屋さん・ケーキ屋さん・ワークショップ・手作りのお店とか常に人であふれてるホテルにしたらい。
改めて思った事は、地域交流や生涯学習について自分自身かなり消極的である事に気づかされました。これからは少しずつでも地域交流等に参加できるようにしたいと思います。
災害の時の自治会が必要なのはわかりますが、現状自治会は町の下請け状態で寄附金集め・広報等の配布等があり、いずれ老人の独居世帯になると役員をしにくくなり自治会をやめざるを得なくなるのではと思っています。精華町も60代・70代・80代の家庭が増えていくと思うので考えてほしいと思います。
住民の安全確保等のためにも、R163からの大型トラック・ダンプカーの時間帯（一部）を取り除き進入禁止（住宅地）を拡大すべき。障害のある人の項目や対策について課題は挙げられているのですがハザードマップには公立学校（府立）の南山城支援学校が地図上には示されていない（軽視としか思えない）他に大きな老人等の施設についても掲載すべきではないか。
施設があってもそこまでに行く手段が不十分で参加しにくい状態です。くるりんバスは本数が少なく時間がかかるので利用しにくいです。
精華町くるりんバスで交通系電子マネーが使えるようにしてほしい。ハザードマップに情報が記載されているが、自分が実際どのように避難するのかイメージしにくい（情報量が多すぎて分かりづらい） 精華町で今年、土砂崩れが多かったことが心配です。対策が必要。
精北学区は、子育て・介護のある暮らしではとても不便です。非常時のことも不安です。買い物ができるように。鉄道駅の使いにくさはバリアフリーでないで段差があればバギーも車イスも通れない。早急に何とかしていただきたい。
箱もの行政から「ソフト行政」へのシフト。年配者より子供・若者に手厚い補助を行う将来への投資を行うこと。
まちづくりの対応が遅い！！ 狛田→駅東土地地区画整理のまちづくりの件、町長・部長までこちらの話が伝わっているのか疑問？

子供が増え、良好に育つ町。女性が安心して子供を産み育てられる町。子供にとって良好な社会・町を創出する工夫をする。そのために必要な食と住を確保する。そのためには安定した財源が必要。精華町独特の産業の創出が必要。安全な食と自然豊富な住環境・教育の拡充（偏差値に頼らない）を求める。
近鉄「狛田」駅付近には店がなくスーパー等があったらいいと思う。
納面道路から府道までの直通道路（ドンツキ道路ばかり） 下狛地区に商店を設けてほしい（現在＝にもない） 次回選挙には町長は交代してほしい。
中学校給食の導入について、積極的に検討していただきたいです。
パチンコ店など風紀を悪くするものの許可をこれからもしないでほしい。精華町を品のある町であり続けられるようにお願いします。
歩道の自転車の通行可は危険である。自転車のスピードが早かったり、無灯火やスマホを操作しながらの走行等で歩行者が危険にさらされる。歩道と自転車の通行帯が分離できないのなら、歩道の自転車の通行は禁止にする方が良い。
線路の東側（旧街）にも外灯を取り付けてほしい。安全に歩けるように。
「生きがいが見つかる町づくり」が希望です。
若い人から住みたいと思える町づくりが重要。
グラウンドゴルフ場の設置について。精華町ではグラウンドゴルフ人口が急増しています。打越台グラウンドを使用していますが、野球・サッカーとの共用のためグラウンドが荒れ、また水はけも悪く使用に支障を来しています。このように是非専用のグラウンドを計画して頂きたい、できれば芝生コートを…打越焼却場の跡地にでもお願いします。
行政主導より自治会等地域住民が主体となるのが理想と思う。しかし、自治会への入会者が年々減少している。これを解決していかないと「共助」は難しい。
社会的弱者の方が住みやすい町にしていきたいです。
学研都市地域の充実と近隣人々との付き合いを充実したい。
狛田駅・駅周辺の開発が遅い。
ハコモノを作れば生涯学習の充実にはつながると思うが、その分、借金を将来の世代に負担させることとなる。今あるハコモノの利用状況を把握し、全ての施設を残す検討ではなく、必要なものを必要なだけ残す方法を取らないと災害復旧に係る財源も賄うことができなくなり全てが後手にまわると思っています。まちづくりと借金は表裏一体の関係にあるということを念頭に必要なものだけを残し、安全に暮らせるまちづくりをすべき。
光台6丁目から登美ヶ丘までバスを利用する事が多いです。交通渋滞を防止できると有り難いです。
下狛に住んでいますが、この駅には（狛田）スーパーやコンビニが一軒もなく、年を重ねるごとに生活の不便が増し、スーパーが出来るという噂は10年程前からあるが全く実現しない。町として早急に対策を考えて頂きたい。生涯学習うんぬんというより以前の毎日の生活に困っています。まず住みやすい安心な町づくりを考えて下さい（他の方も皆、困っておられます）
同志社大学との連携（講座開設etc） 木津川市・奈良市との連携（情報・施設利用etc）
高齢者が多くなるので、公共の交通（くるりんバス）等の見直し。停留所が少なく使いにくいので利用者が少ないと思う。利用しにくいので車の免許返納が増えないのでは？ 高齢者の運転がとても危険に感じる。図書館の学生の自習室等を作ってほしい。ふるさと納税、精華町は考え直しは？ 他の市町村へ流れている方が多いと思う。駅前、一般車の送迎大変不便になりました。見直しを！！

電車が通ってほしい（例、登美ヶ丘～光台～新祝園）
ゴミのステーションに網を張ったりしているが、ケージのようなものに変えてほしい。防災や生涯学習も重要なことではあるが、毎日の生活を快適に過ごせるようにしてほしい。住民の生活に直接関係するところにお金を使ってほしい。
あれもこれもお金を分散するよりも、数年単位で目標を定め重点項目に投入して一つずつ成果を上げていってほしい。
無料のドッグランを作してほしい。子供の数より犬の数が増えています。毎日、一緒にウォーキングを兼ねて2時間を歩きます。あちこちに公園がありますが、その一部にドッグランでもあればもっと楽しくなります。
道の駅みたいな、精華町の地域物産店を作って車で自由に來れるものであれば地域が活性できるのではないのでしょうか？
騒音がひどいので直してほしい。室内プールの増加。
上下水道・教育・公共交通・病院・介護施設など公共性の高い事業を民営化したり、民間資本を入れるなどしないようにすべき。非常時に頼りになるのは正職の公務員。非正規50%の現状は、災害時に不安。
役場からの情報発信が少なく、町長さん・議員さん・役場幹部の方と一般住民との交流がなく、上記有力者と個人的な関係を持つ高齢者が地域ゴロとなり、有力者がこうおっしゃっていたと自分の都合良く住民を誘導し行事等への参加を強要している。地域ゴロを追放して、上記有力者の皆さんがもっと御自身の意見をご自身自ら発信して新住民とも交流いただきたいと思います。地域ゴロを通じないと役場への陳情・要望をさせない空気を作っているのは誠に残念である。
こんな調査をする前に災害が起きた時に避難する場所さえ各自治会に明示する事もしていないのですか？ 各地域の人は皆知っているのですか？ 又、避難場所が避難する場所として適合するの か確認したことがあるのですか？ 調査する前にやるべき事があるのに、やられてないのでは？ こんな調査、普通に考えたら誰でもわかるのでは！！ “やれる事をまずやってから”進んでゆかなくては。
高齢者の住みやすい町もありがたいですが、これからの若い住民が生きがいを感じながら永住したい町、子供が育てやすく健康な生活を送れる町づくりをお願いします。住民がこの町に住んで良かったと思わせせる町づくりをお願い致します。
企業がやっと学研都市に参画し、本来の目的に近づき東京オリンピック・大阪博等今後10年程は方向性は確立されました。交通アクセス面で精華町の玄関口でもある祝園駅（JR・近鉄）はあまりにもさみしい都市計画であり、関空へのバス・京都駅へのバス等を考えると役場までの空間に町（学研都市）顔としてのターミナル等を立案しなければ新幹線等で來られた人々にイメージダウンとなります。すみやかに先を見据えた施設を作して下さい。他の市町村へ行ったら玄関の駅は町の顔として整備されています。
自転車と歩行者の道路は別々に、雑草や木々の整備。歩道の凸凹をなくし、車イスでも歩きやすい道。
災害時のインフラの的確な対応（今年の6月？水道水（赤水）の時の対応のまずさ。万一大災害の場合はどうなるかと懸念されます）
交通…近鉄けいはんな線の延伸・JR複線化・道路整備 医療と介護…施設の数・内容の充実

ぜいたくとかいう事ではなくて、いざという時に避難所になる体育館などに非常電源と共に冷房などの空調をきちんとしておく事が大切かなと思います。テレビなどで真夏に大きな扇風機を回している画がありましたが高齢の方は（乳幼児なども）体に御負担かかるのではないのでしょうか。40℃近くなる最近、冷房を入れる事は決してぜいたくではない気がするのですが。
学研都市精華町の名にふさわしいようにきれいな町になってほしいと思います。道路沿いの雑草など定期的に除草してほしいです。一人の力では無理なので有償ボランティアを募ってでもしたら良いと思います。
市民一人ひとりが協力してまちづくりを行う。
JRの遮断機の降りてる時間が長すぎる。
私の住んでいる地域でも高齢化が進み、お年寄りだけの世帯が増えています。近所で気に掛けてはいても最近では個人情報の問題等もあり、どこまで配慮して良いのかが難しいと思います。何かもっと良い方法はありませんか？
今回のアンケートですが、いきなり送られてきて、なぜ私宛てに届いて、どのように選ばれたか（不特定多数なのか）何も分からなかったのも、少し驚きました。その旨を記した一筆があるといいなと思いました。問に関係のない事を書いて申し訳ないです。
静かな落ち着いたある町であってほしい。
高齢者に優しい施設の充実。国保病院の医師増員。
精華町は関西文化学術研究都市構想に伴い毎年人口増加で、せいか祭りを始め多数のイベントが催され、精華町に移住してこられた人々に潤いを与えている。交通の便の良さ、都市化されていく本町の旧住民・新住民との調和の取れた町行政の推進を望みます。
桜が丘（1～4丁目）には、病院・スーパー・コンビニ・公共鉄道の駅・図書等を設えたコミュニケーションセンターがありません。地区が出来て約20年超で買物難民が増えつつあります。公共施設等への交通手段の充実が必要だと思います。
コミュニティー広場の拡充をお願いします。高齢者でも自由に参加できるスポーツの推進（情報・場所提供）をお願いしたいと思います。大運動会だけでなく、ミニ運動会・ウォーキング大会なども増やしてほしいです。
小さい子供がいるので、日中にバスを利用するのですが、本数が少なく不便。子供が遊べる施設が古くて暗いのがイヤだ。子育てサポートで自宅にヘルプに来てくれるシステムもあると安心して子供を預けることができる。
ゴミのないキレイなまちづくり。あいさつを交し合える人づきあい。
精華町住民は全員自治会に入会するような事を考えてほしい。自治会を無視している人が多い。精華町は災害が少ないせいだと思います。自治会10班の者ですが半数以上入会していません。
テニスコートなどのスポーツ施設の拡充を望みます。この20年間では、ほとんど施設が新設されていません。木津川市や生駒市の施設を利用しています。
今は働いていて昼間地域にいないが、退職後、精華町で日々暮らすことになる。できるだけ自分自身が主体的に動けるようにしたいと思います。ただ、年老いたとき安心できる雰囲気が必要です。
お店を考えて造ってほしいです。
精華町に住んで10年を超えましたが、よく思うのは「自動車がないと何もできない町」ということです。今は自家用車を運転してどこでも行こうと思えば行けますが、この先高齢になると運転も危うくなると思います。そうなると思い物もままならないし、せっかく運動できる施設やサークルで文化

活動をできるチャンスがあってもそこにたどり着く手段がありません。くるりんバスの充実など、高齢者が出かけやすい町になればと思います。あとは中学校給食の実現です。何故なかなか実現しないのかという理由に、「弁当こそ母親の愛情」という考えの議員さんが多いと聞いた事があります。全ての母親が料理好きで、朝の限られた時間を弁当作りにさけるわけではありません。家では絶対食べてくれない野菜でも、給食で友達と一緒に食べられるという利点だってあるのです。食に対して成長できるのは中学生の頃だと思います。食育の意味も込めて、今一度中学校給食を早期実現できるようご検討下さい！！ 「仕事するお母さんが楽できる町」はかなり魅力あると思いますヨ。
特にありません。良い町だと思います。
このアンケート調査が町民全てに送られたものなのか、ランダムに抽出した人に送られたものなのか、ランダムの場合どのようなものかを、そのあたりを明示していただきたかったです。
精華町では精華台にしか住んでいないので道路・舗道が整備されていますが鉄道沿線の県道に自転車道路の確保をして頂きたい。町から市制になって頂きたい。
テニスコートや屋外施設が老朽化してきて、どんどん危険になってきている。長く楽しみたいと思ってテニスをしているのに、この年になってケガをしたら、もうスポーツも楽しめなくなり、歩くこともできなくなる。施設の安全管理はきちんとしてほしい。
老人が増える中、精華町は経費の老人施設が少ないので増やしてほしい。
後期高齢者にやさしく。
施設より、耕作していない田畑を生かす何かイベントなど考えてほしい。ますます土地が荒れるのでそこを考えて下さい。施設が１００％使用されていないので、あるもので充分だと思います。
治安維持、不審者情報が多くてこわい。山手幹線開通に伴い、交通量が増加し、かつスピードを出している車が多くなった。こわい。学校からＰＴＡを撲滅してほしい。共稼ぎが多くなった今、従来通りの活動を続ける学校には未来がないと思う。中学校の完全給食化。１０年以上決められないのは怠慢だと思う。
福祉施設の充実（冷暖房・各人のスペース（最少）確立etc） 防災時の避難先・経路確認の徹底・誘導・指導体制作り。自宅からの避難までの救助体制・援助。災害時のすみやかな報道・伝達・救助体制・備蓄品・指導etc。災害時の各自の必須、非常食・備品（保温・衣料・水・懐中電灯・ラジオ他）指導・教育の徹底。河川の土砂崩れ・崖崩れ・地すべり各所の工事。
学研都市が精華町周辺に存在していることを知らない人が多いのもっとＰＲしてほしい。また、私たちもどんな企業があるのかをもっと詳しく知る必要があると思うので冊子なんかにできたら…と思う。
町役場が援助をして文化的行事を講師を招き年間の学習等して（源氏物語・平家物語）等、一ヶ月に１回程度の長い期間の学習を望みます。お稽古等の広告も年度の始めにもっと広告してほしいです。精華町が広すぎて、集会所をもっと利用して趣味に関する活動に参加したいです。
災害時の避難の際、ペットも一緒に避難できる施設（コーナーでも）がほしいです。
街路樹（アメリカハナミズキ）の枯れ木が大変目立つ（一目３０％）と景観を壊し、また安全にも良くない倒木の恐れもある。一刻も早く処理いただきたい！！
木津川市には多くのテニスコートがあり予約も取りやすいが、精華町は打越台にしか全天候型がなく、交通の便も悪いし、予約も取りにくい。企業がもっているコートなどを町として使用させてはもらえないのか？ もちろん、使用料は支払う。
精華町に住みたい・住んでいる人が誇れる町になることを願っています。

駅前環境・整備が不十分の為、高齢者が買物難民になっている。体力的に遠出が無理な現状。
下狛・狛田の辺りに家が増えてきており、子どもも多いので歩いて行ける所にスーパーや薬局等があれば、さらに住みやすくなると思います。特に子育てしながらの人や日中車がない家庭もあると思いますのでスーパーは近くに欲しいです。
2年前まで仕事してたので、町の行事に参加はあまりしていません。とにかく分からないので少しずつ勉強したいと思います。
清潔なまちづくりのため ペット（主に犬）の糞を持ち帰らず、そのままになっていることが時々ある。飼主の家の近くではなく散歩先で大小便をさせるのが普通になっているが、飼主の家の敷地内でするようにつけられないのか？（盲導犬が外で大・小をしているのを見たことがない）
桜が丘に住んでいますが、役場・むくのきセンター（公共施設等）に行くのに不便です。くるりんバスがありますが、山田川駅に廻って時間がかかりますし、バスの本数もすごく少ないです。100円で乗車できるのはありがたいですが、本数を増やし短距離で行けるようにして頂きたいです。公共交通機関奈良交通で高の原駅から役場方面（精華台・光台等）へ行くバスも検討していただきたいです。よろしくお願いします。
精華町は関西文化学術研究都市として恵まれた環境の中、子育て支援をはじめとして学校の教育や施設も充実し他町村にはないすばらしい町です。しかし、既存地域の農村部を考えると荒野（山林・農地）が多くなり有害な動物（猪）が多発しています。このような事を真剣に考えないと新興住宅地に出没することもあるでしょう。里山の整備も今以上に力を入れて取り組み自然の中で子ども達や高齢者にも働く喜びと収穫を感じる生涯学習を考えていただきたいと思います。
登美ヶ丘に来ている近鉄の線を延長して光台を通して新祝園につなぐ光台に駅をつくる。
寄付金等の使途が有効に生かされていない。マイクロバス廃止について、高齢者の方はどこへも行けない。現在運用している二連バスは本当に必要な事なのか。もったいない。住民の意見をもっと聞きたいと思う。不満が多く聞かれる。駅・バスターミナルが常時使用できない。時間を制限して乗用車も入れてほしい。長い距離を歩くのは大変。この先高齢化社会が進む中、もっともっと先を考えてほしい。
町内の交通ネットワーク整備の充実を図ってください。精華町の活性化には、けいはんな線の延伸が必要不可欠だと思うので、ぜひ実現してください。
ゲートボール・グラウンドゴルフ等のスポーツ会員及び福祉関連ボランティアへの参加者が減少しています⇒10年以上同じ顔なじみのみ！！ 60才台の活躍できる町づくりが欲しい！！ 無理か？？？ 例）60才以上の人数は増加していますが、老人会員は各地区減少しています！
若い力をどう町政に生かせるか？ 高齢者の中でも本当に支援が必要な方々にどう向き合うのか？ 子供（子育て）の支援以上に、これからは町の取り組む行政課題となると考える。このままでは×。目をそむけないでほしい。
近鉄「京阪奈新線」の京阪奈プラザ経由祝園駅迄の延伸が早急に必要だと思っております。
子供が安心して遊べる公園を整備してほしい。
各施設がバラバラの場所にあるのに、公共交通機関では行けない場所にあるのに加え、駐車場がすぐにいっぱいになるのが不便です。かしのき苑・保健センター・むくのきセンターなど子育て・育児をするには自然もあり、支援も充実していてとても良い町だと思います。
自治会の充実を計る事。

現在住んでいる地域は高齢化が進んでおり、災害時等緊急事態が起こった際に物理的な支援（若い人に力仕事をしてもらえるか、最新の情報がインターネット等で入手できるか）が受けられるのか不安に思うことがあります。日頃の交流は活発に行われているものの、若い人に比べて新しい情報を入手する手段が限られていることを思うと、非常時に行政から手厚いサポートを受けられると高齢の方々は心強く思われるかと思います。こういった時に互いに助け合えるかは日頃の交流の有無によるかと思いますので、皆が参加できる生涯学習の機会では会話のきっかけを作ったり、防災に関する講演などで知識を学んでおくことも大切かと思います。また、精華町に住む外国人の数も年々増えてきていると思うので、英語と日本語の両言語で広報等の案内をしていくことは欠かせないと感じています（特に防災情報など命に関わるもの）
近鉄狛田駅の整備。駅にエレベーターもなく高齢者は外出もままならない。駅前にタクシー乗場もない。これで精華町の北玄関と言えるのか。
花火ができる場所がありません。家の前で行うと煙が近所に行き迷惑がかかります。歩いて10分までの所で少しできる場所があれば、夏子どもにしてあげられるのに残念です。
ふるさと納税を実施。
生涯学習を色々行っても結局地元の人ばかりで我々が入る余地が無い。行かなくなる。自助努力しかない。町で買物が出来る振興券でも地元の方は殆んど当たるのに新興住宅の我々には少ししか当たらないと聞いた。公平に行われているのか？ 避難しても公平に物資が配られるのか不安である。
校区地域避難所運営マニュアルの各自遵守徹底につきと思う。
自治会の活発化。最近、自治会離れが多い。魅力的な自治会活動があれば人のコミュニケーションも取れると思うが、役員になるのが嫌で脱会もあり生涯学習の充実の為と言っても疑問と思う。
タバコのポイ捨て・犬のふんの処理が出来ていない公道を見るとガッカリします。以前は駅のハトのふんなどによる汚れが気になっていましたが、今は改善しつつあるため嬉しく思っています。狭い道での路上駐車は危険が伴います。最近、夜通し毎日公道や私有地に停めておられる状況を見かけます。防災などいざという時の対策も大切ですが日々の暮らしを豊かに、普通に暮らせる取り組みも大切だと思います。
一番大切なご近所付き合いが、個人情報に縛られお付き合いもしにくい。昔のような時代がいいとよく言われる。何かあった時、すぐ近所にお世話になりたい。でも、今どき難しいですね。
字別に開きがあってももう少し良くなるといいなあとも思っている。
現在むくのきセンターはあるが機能性に欠けている。駐車場も狭い。多目的ホールN o 1・N o 2を使用していますが、音響が不十分。舞台も狭い。改善を望む。消防関係は充実している。消防団活動には満足しています。今後は高齢者の増加に救急活動が大変と思う。努力を期待する。
語学が学べるサークルがあればいいなと思います。
公共の交通機関の充実（本数を増やす・駅やバスの使いやすさを良くする） 将来のことを良く考えて、町が廃れないように若い人が集まるようにイベントを開催したり、精華町には宿泊施設が少ないので、そういう場所を増やす。入ってくる企業も、もっと町の発展に良い影響がある会社を優遇・誘致してほしい。働き口の確保・学研都市の理念をもう一度考えてみてほしい。国立図書館の食堂の改善をお願いしたい。はっきり言っておいしくない。メニューの残念感がはんばないです。
精華町の住民が自由に出入りでき、誰とでも話が出来るような、又、災害時にも活用できるサロンや自治会の建物を多く増やし、男性（おじいちゃん）が集まって雑談できるようなサークル又はサロン…！ 役場等もっと気軽に出入りできるような施設がもっとたくさんあってほしい！

住民税が高い。医療・福祉のサービスが低いかつ公報が不足している。まちづくり活動の見える化が不足している。防災・環境保全・防犯・消防などの重要性の啓発不足。知ること・行うことの教育機会が不足しているのではないかと。知りたがっている人は沢山いる。又、知ることによって重要性の認識が高くなると思います。
精華町の役場の施設や福祉政策・予算配分などが昔からある地域側に集中しすぎていると思う。新しくできた光台・桜ヶ丘・精華台地域の方が人口も多いのに精華町の公共施設等が少ないのは不公平ではないかと思っています。このような状況が続くのであれば関東のつくば学研都市のように新しく開発された地区のみで集まってけいはんな学研都市として一つの行政区域になった方がいいのではないかと最近思います。
交通インフラの整備（光台等）
町の高齢化が速い為、バス（ミニバス）やスマホで簡単に呼べるタクシーに代わる交通手段・急に体調をくずした時のＳＯＳ機関（誰かがかけつけて来てくれるステーション）など早急に対策が必要。
就職して子供たちが地元に戻ってくる事ができるよう魅力ある精華町であってほしいです。新興住宅地の高齢化・子供の減少が気になります。子供にも優しい町、町全体で子供を育てていけたら良いと思います。
町内の道路整備（道づくり）の充実を図られるようお願いしたい。
文化活動・音楽発表会が出来るホールが精華町にも出来てほしいです。けいはんなプラザホールはキャパが大きく費用も高いので借りにくい。
山田荘学区は光台や精華台とは違い、子供の数が減少し高齢化が進んできていると思います。災害時、高齢者がすぐ避難できるよう、また避難後も安心して暮らせるよう対策が必要だと思います。子育て世代も大切ですが、高齢者のための対策も考えていって下さい。
精華大通りと山手幹線を利用して、学研都市線の祝園駅への乗り入れを早期に実現するよう働きかけること。災害時に備え、町民の避難施設として信頼されるよう公共施設を整備すること。
国立国会図書館を有する市町村としてもっとアピールすべきだと常々感じています。自身の身近にも「国会図書館が京都にあるのは知っているが、“精華町”は知らない」という人が数名います。学術研究都市として更なる発展を期待しています。
人と顔すことが無い。知人が「不思議な町ネ」と笑った。人があまり歩いていない。昼間留守の家が多く近所付き合いを必要としない。“地域にお世話になっている”との考えが有るのか？ 民生員は人の世話の出来る時間にゆとり有る人を選ぶべきだと思う。皆さん働かなければならず忙しい人が多いのでしょうか。先ず近所大切に仲間意識の持つ人々に“勝手に暮らします”はいけないと思います。人間づくりからしなくては？私は思います。
地方自治を確立し、経済発展をし、保育所併設の企業＝を充実し、女性の力を引き出す。生涯学習も必要だが、生涯雇用の充実、その為の福祉への充当を精華町として確立すること。人が集まる都市にしていくのに、もっと長時間利用できる公共施設、例えば国会図書館の活用する。住居型老人ホームの充実。
祝園・新祝園駅のロータリーの形・駅の構造が使いにくいので改善してほしい。また、利用者のことを考えて作ってほしい。
精華町は中心地（精華台や光台の方）は学研都市の多くの企業やけいはんなホールもあり非常に栄えていると思います。しかし一方で、木津川市や奈良市と隣接している私の地域はくるりんバスもほと

んど来ず、役場に行こうとするだけで電車に乗ったりなどすると一時間弱かかってしまいます。もっと端の地域にまでそのような点で手をまわして頂きたく思います。
公共交通機関の充実をお願いします。
サブカルで町を売り込んでもダメだと思います。駅東をもっと開発してほしいです。その際、東側に行く人で渋滞になるのをなんとかしてほしい（府道・祝園駅南側）
業務委託先が建設コンサルタント会社が委託しているようですが、教育委員会がこの会社に委託して今後どのようにしていこうと考えておられるのかが知りたい。ただ型だけのアンケートを取るなら町の財政を使って、このようなアンケートして無駄な事だと思う。もっと町財政を町民の為に使ってほしい。教育委員会が考えてアンケートを作り今后に生かしていこうと考えているのなら取られた意味もあろう！！ 内容から見ると教育委員会が取るならもっと教育に関する内容のアンケートを取るべきだと思う。主催からかなりかけはなれた内容のアンケートです。
別にございません。
若い世代を引きつける地域環境づくり。地域創成に役立つ特色ある町づくりと情報発信。
精華町の玄関口の祝園駅近辺に警察署の設置を希望します。
けいはんなプラザの駐車場をリムジンバスの利用者は無料もしくは安価で利用できるようにしてほしい（パーク and ライド）朝４：１０発の関空行きに乗ろうと思ったら、マイカーでしか乗場に行く方法が無い。他の時間帯でも路線バスとの接続が悪くて使えない。関空から帰ってきた時は荷物が多くなってるんでマイカーの方が利用しやすい。
精華町には沢山の子供達がいるのに町民プールがないのが残念です。子供達が安心して遊べる場所（プール・広場・体育館・フリースペース等）が地区ごとにあってもいい気がします。むくのきセンターはとても良い体育館なのに、光台地区からはかなり遠い。バスで行くにも乗り継ぎが必要。地区に密着しているとは思えない。
狛田駅周辺の整備を進めてほしい。現状、狛田駅の奈良方面へ向かうホームに行くには地下通路を通っていかないといけないのでベビーカーや車いすの方々や東側地区の住民にとっては不便でしかないので利便にしてほしいと思います。また、駅付近にスーパーなどもないため生活していくには不便な部分も多いので誘致してほしいです。
特にありません。
住民が住みやすい町づくり（小さな子供さんやお年寄り・病気の方など）安全面での道路や人が多く集まったり、よく利用される場所の整備などどんどん進めてほしい。
よい町になりますように。
京阪奈記念公園の自然空間はとても良いと思うが、隅に屋根付きの展示スペース（建物）などがあるのも良いのでは？ 絵画等の芸術作品展示や、小中学校の子供達（精華町内）の作品などを展覧してもらえるような場を設け、利用してもらうのはどうか。町が企画展などに利用するのも良いし、一般貸出しも可能なようにする（管理はボランティア団体が行う？） また、生涯学習施設として機能するようなものでも良い。精華町には多くの芸術家・文化人が住んどるようです。情報集めて町の活動に協力してもらえるよう働きかけをするのもよいと思う。
けいはんなプラザ前やビエラタウン前の歩道にある水遊び場を整備して子供が夏に遊べるスポットにしてほしい。児童館を作してほしい。外で遊べない時に体を動かせる場所がないのは不便すぎる。
問１４の６について。先日、府立山城郷土資料館に行きました。なかなか交通の便の悪い所でした。バス路線がないのももっともだと納得のいく場所でした（あの場所にこだわる理由が何かあったので

しょうか) せっかくの郷土資料、専門家だけのものではもったいないです。時折(数年に一度でも)一部をお借りして役場での陳列があればと思います。館外出品不可なのでしょうか。
特になし
私は現在、僧坊地区の自治会の組長をさせていただいておりますが、自治会とは?ということに常に疑問に思っています。若い世代や役がまわってきても出来ないで…という理由から年配の世代の方々が次々と退会していかれます。子供が小学生の時は自治会に入っていないとお祭に参加できないとのことで仕方なく入っていましたが、子供が大きくなると自治会に入っているメリットって何?と忘れてしまいます。年配の方々が多くて、自分が抜けると同世代の方々への負担が大きくなることへの心配だけで自治会に入っています。組長が会費を集めにまわることになっていますが、朝から晩まで仕事をしている者にとってはほんとに役は負担です。
けいはんな公園のような大きな公園をつくってほしい。公園が小さく少ないので、子ども達が道路の前で遊んだり、近所に迷惑がかかっている感じがあるので、のびのび安全に過ごせる施設が欲しい。
市政にしてほしい。
あいさつ運動…運動しなければあいさつもできないさみしい時代か…と思わされるが、しないよりはした方が良いのでどんどん行ってほしい。教育は勉強のみならず!!文化にふれることスポーツも大切ですがお互いを思いやる心(気持ち)を持てるかということは大いだと思います。あいさつもその一つですし、他人を思いやることや生命の大切さ(人も動物も植物も)もしっかりと教育して行ってほしい…(子供だけでなく大人もです) 頑張ってください!!
今は車で活動しているが、近い将来、買い物など困難になるとわかっているのが不安だ。
古さにこだわりすぎず、高齢化や少家庭地域のことも考え、暮らしやすく変えていくべき。外燈強化、暗すぎる道が多い。安心して通れる道をつくってほしい(歩行者目線で) 役所から北、山手幹線から西は暗すぎる。枚方や抜け道に通る車も増えていて危険。
スポーツ関連施設の充実をお願いします。
精華町の人口ピラミッドを確認したところ、少子化現象が判る。その対策は検討されているか? 文化財の展示施設…学術都市として、美術館・博物館を作る。図書館の充実を図る。年間予算の図書の購入予算、年間700~800万は学研都市の名前が泣く。国立図書館は利用しにくい。近鉄沿線で便利な精華町にプラネタリウム館を運営する。猪の被害が農家は広がっている。陸上自衛隊の祝園弾薬支処で野放しになっている猪が広がったものが原因かと思われる。陸上自衛隊への協力を求めたい。町会議員・町長はもちろん、全戸に配布したいものだ! 童門冬二先生の小説、上杉鷹山の上・下巻の抜粋の小冊子を町で作成すれば良い。アメリカのケネディ大統領が日本の政治家で尊敬している人はいますかの「上杉鷹山公です」 英国のイサベラ女史(旅行家)も上杉鷹山公の施政による米沢をほめているなど大いに感動した旅行記を書いている。
日本全国的に精華町の名前が知れ渡る催しをしてほしい。企業又、精華町がタイアップして、マラソン大会とか全国的なイベントを開催してほしい。文化活動を活発にしてほしい。
魅力的な施設やイベントの誘致。
京田辺市の田辺公園のような多目的運動公園を作ってほしいです。小さな子供からお年寄りまでが集う場所が必要だと思います。スケートパークやアスレチック・自転車練習ができる道路や広場など…。そこでイベントをしたり文化活動ができたりと町民の交流の場となれば良いと思います。
せいか祭りをそんなに大規模にしなくてもいいと思う。企業がお金を出すのはいいと思うが、町税を使ってまでしなくてもいいと思う。役場でしてた頃は行っていたけれど、けいはんなに変わって1回

行ったけれど、それまでは並んでもらえてた？（食べ物など？）ものも、すごく並んでいてもらえなかったりして、疲れたので行かなくなった。この間も祭りの帰り精華台の中の道が大渋滞になっていて何事かと思った。それよりも、町の環境のためにお金を使ってほしい。ゴミ置き場のネットを金網にしてほしい（カラス対策）
今後、人口増が見込めないのであれば、周辺の人を引き込む魅力的な取り組み・施設が必要。“学研都市”を町の特色としたまちづくりを進めてほしい。
私は80代の高齢者です。大きな地震や台風は体験しているが最近気になるのが菱田の春日神社の大量の落葉と枯れ木です。近所に民家も少ないし発見が遅れると大火事になる恐れ有ります。それが一番気になっています。
生涯学習の充実について。むくのきセンターやテニスコートやグラウンドなど設備は充実しているが、その全ての窓口であるむくのきセンターの対応は悪い。日々の生活を豊かにするはずが行く度に気分を害される。むくのきセンター窓口の人員を入れ替えるか、現人員の教育をするか、改善するべきと思います。上記以外は日々快適です。いつも町のためにありがとうございます。
もう少し交通の便が良くなってほしいです。
どこの自治体にも当てはまることかもしれませんが、行政の思い（想い）と町民が求めている想いとギャップがあるように思う。広報誌に載せて町民に周知されていると思っていても、それほど町民は感心がない。そのあたり、情報を発信する側として再考お願いしたいです。自身は生まれ育った街ですのでこれからも益々発展してほしいと願っています。子育てに関しては手厚くしてもらっており助かっています。
粕田駅周辺の道路及び駅設備改善。
特になし
祝園駅のロータリーの改善→駅まで遠い。
災害が言われる中、横（近所）のつながりをもっと強化できる方法を必要と思っています。仕事や子供が大きくなってきたらつながりがうすく、自治会のような古い意識ではなく、ある程度近所でのSNSや掲示板などwebを利用して家族構成やwebにアクセスした頻度だったり、役所からの連絡などもそちらに流してもらえるとより近所が近くに見えると思います。
防災とは直接結びつかない事かと思いますが、光台及びその周辺地域の学研施設（企業）との交流が持てるようなイベントを考えて頂きたいと願っています。他地方（府内の）へ行った時「学研都市の精華町」ですと精華町のアピールをするのに、さて中身はと問われると詳しくお答えできない事が多いです。
一部の人間しか利用しない施設や講座に金をかけるのはやめて、広く公平にみんなが恩恵を受けるやり方に変える。
光台に住んでいますが、車を運転しないことになったらバスでしか移動できません。なので、交通手段の充実が一番「外に出よう」と思えることだと思います。
このアンケートに関係がないかもしれないが粕田地区の商業施設がないので早くなんとかしてほしい。
周囲の市町村との横のつながりも常に忘れないように心がけたい。
特別になし

平成13年に入居しましたが、華創が毎年毎年充実していましたが、そこまで「紙の質」も「ページの量」も必要か。それだけ予算も必要で、京都府の「たより」よりも良い。それだけ人も予算も増している…ちょっと疑問に感じます。
今後とも住みやすく美しい精華町になるように協力していきたいです。
生涯学習の場合、料金7000円を年度始めに集金されますが、多額のため会計報告はされるべきだと思います。現在まで幸いにして大きな災害には見まわれておりませんが、地球温暖化に伴い、いつ来てもおかしくない現在、東に大河木津川を西に低いとはいえ連なる山並・田が多いため住宅地も軟弱だと思います。大雨の時は「木津川」の情報がなく不安です。精華町は木陰が少なく、今年の夏も太陽と道路の熱でサンドウィッチ。木がないのは見通しがいいのですが、ホッと一息という感覚がありません。高齢化が進む中、生きやすい町にしてほしいをお願い致します。
緑豊かな環境に癒され非常に住みよい街であるが、緑地の整備（雑草・剪定など）が追いついていない気がします。コストがかさむことは承知していますが、せっかくの街並が台無しになる事への懸念あり。
精華台に住んでいますが、子育て支援センターが遠いので乳幼児の親との交流できる場が近くにあれば、地域とのつながりができて助かります。住みやすい街ですが、近所との交流が少なく、少しさみしいです。
精華町はとてもいい町だと思っています。小さいからこそ小回りのきく活動ができると思います。学研都市という素晴らしい名をもつ町であるために、とても活気がある。または、活気にありふれた町にしようと職員の方も新しい事に取り組まれていると思います（公共バスの京町セイカさんの精華町の広報など…） 益々人が集まる町にするために買い物できる施設や、人が訪れたいと思うような施設を考えていけるよう住民の方に呼びかけてもらいたいと思います。
自身が高齢者に近づいてくると、これからの生活がどうなるかが大変不安になります。例えば、高齢者はバスなどの運賃が無料になるとか、料金をおさえた老人ホーム等が充実していればいいなと思います。自治会の入会者の高齢化も進んできて、今後役員や班長などを引き受ける人が年々減少していくのでは…と気になります。地域の活動を担っていける若い方が増えるように若い方が住みやすい町というのにも必要なことだと痛感しています。
強く希望している事があります（桜が丘） 街路樹用地の雑草についてです。年間通じてほぼ雑草が生い茂り、交差点では右折のとき歩行者・自転車が見えない場所もあります。緑の景観？ 冬の1時期と年に2・3回刈り取った時期（数日？）のみ美しいですが、年中雑草が汚く生い茂っているのを見ている実情です。少なくとも交差点の大事な場所は全て樹木は取り除きガードレールにして頂きたいです！！ 町にとっても初期費用だけで済むと思います（京都市内でも街路樹のある所はありますが、常にきれいに雑草は刈り取られています。出来るのならそうして頂きたいですが…）
祝園駅前の開発状況に不満。商業施設等のまちづくりをもっとやってほしい。奈良交通のバス運賃は他地域と比べても高すぎる。公共交通機関としての利便性に劣る。くるりんバスの必要性は感じられない。
公共交通機関の整備充実 スポーツ交流施設の整備充実 文化交流施設の整備充実
いろいろな災害が増えているので、意識を高めていかないといけないと思う。
精華町は古いものと新しいものが共存している町という印象です。古いよきものは残しつつ、新しい取り組みも積極的に行っていくことがやりやすい環境のように思え、そういう町を望みます。

学研都市線の複線化の実現と、けいはんな線を新祝園駅に東延伸しアクセスの充実を図ることによる街づくり。高齢化社会にむくの木センターやかしの木苑へは交通の利便性悪く、地域交流・生涯学習のために役場の空スペースの活用を望む。
街路樹の剪定について、近年、紅葉前につるつるてんに剪定され、せっかくの美観が著しく損われているところが多く見受けられます。町が街路樹・美観を守っていこうとする意識が感じられません。例えば、各町内の地域一斉清掃時に背丈の低い街路樹については地域住民に剪定協力してもらい、地域住民の協力者を募り定期的な剪定協力をしてもらうボランティア組織を作る等、予算のことも考慮し剪定指導も含み地域住民と協同して「緑豊かな調和のとれたまちづくり」を目指すのはいかがでしょうか。
むくの木センターにもプールができればうれしいです。
狛田駅をきれいにしてほしい（バリアフリー化など） 学生もよく利用している駅なので利用しやすい公共施設にしてほしい。
安心・安全を願いたい。
現在、外出時どこに行くのにも自家用車を使用している。自分たちが高齢となり運転できなくなったとき、外出・買い物など日常生活が途端に困ってしまう。高齢者や障害をもった人たちでも外出しやすいまちをつくらせてほしい（一戸建ての多い地域は住人の入れ替わりが激しいわけではないので、20年30年後、高齢者ばかりの住宅地になる可能性もあるため）
昨年、木津川市より引越してきました。精華町は文化度が高いと思っていたのに、意外と魅力ある講座が少なくちょっとびっくりというかがっかりというか…。木津川市の時は、ワイン講座、しめ縄飾りづくり、万葉集・和歌の講座、手まりづくり、古い帯のリメイクのカバンづくりなど1回限りや長期にわたる講座がいろいろありました。今は近鉄文化サロン等で絵画・茶道・着付け・押花等の教室へ通っていますが、精華町内でもあったらいいのに、と思っています。
防災や地域についてあまり考えたことがなかったので、このアンケートによって少し考えさせられました。働いているものにとっても参加しやすいまちづくりをしてほしいです。
一部町民へのサービス（移動図書館等）よりもっと町民全体へのサービス（奈良市等は70才を過ぎると奈良交通バスが100円とか！）を希望します。
この調査について趣旨は分かりますが範囲が広くて何を望まれているのか、回答を受けてどのように役立たせるのか見えないままの回答となりました。もう少し分野を分けた具体的な項目についての調査が必要ではないでしょうか。これでは計画を正当化する為、策定に生かすより、ただ調査も行ったという裏付けが目的に思えます。例えば安心・安全の環境づくりの繰りを少し掘り下げて、安全（対犯罪・対具体的災害・子育て・健康・介護）を強くするもの、そしてそれぞれ公・共・自がなすべき事の意見が反映できる分野・範囲を絞る。他住みよい街として必要な分野は、生涯学習・学校教育・産業等々。経費等の問題もあるかと考えますが、このような調査は大事であり、町の企画室中心に分野・項目の設定、回答や集約の簡便化、収集後の集約の協力等を行う作業者にボランティアの呼びかけや、町・町民の調査の意識付けも重要ではないでしょうか。
いつも有り難うございます。よろしくお願いします。
祝園以北エリアの道路・踏切幅を考慮してほしい。
行政の職員が現職にかかわらず枠を越えて住民が行っている諸活動に参加・理解をする事が大切。アンケートや聞き取りで政策を作ろうとすること自体が間違いと思う（現場に出ること） 問題点や課題・住民の思いがわかります。

今年は西日本豪雨・台風２１号の上陸・北海道活断層地震等、日本列島を悲惨な状態に陥れました。我々の地域は災害も少なく恵まれています、災害は何時起きるか分かりません。武内神社には井戸がありますが、秀水と言って水質はよく昔は飲料水として恩恵を蒙っていました。各家には井戸がありましたが水脈の関係で飲料水としては適さず、２０軒程荷桶で５０μg程の重さを双肩に１００m程の道のりを黙々と水運びするのが朝夕の日課でした。この行事なしでは食事・風呂水等生活に欠かすことができませんでした。この井戸は５０数年来使われていません。欲しい時すぐに飲むことはできません。停電や断水でライフラインが途絶えてしまった時、先ず飲み水の確保が必要です。飲み水にするには放出水に水の入替が必要で災害に備えるべきだと考えています。町内におきまして是非これらを生かす方向で考えてもらいたいと思います。
災害時の町内放送を実施してほしい。
粕田駅周辺にも買い物ができる場所が増えるとうれしい。
たばこが周りにも良くない影響を与えるという認識の少ない高齢者の方もいると思うので、これからはそのような情報についても多く発信して行ってほしいです。子どもが出来た時や周りの家族などの健康が心配です。
精華町は災害に強い街というイメージがあります。自衛隊や国や企業の保管施設が多く並ぶことからのイメージですが、実際強いというデータがあるならもっとアピールしてもいいように思います。子供向け化学教室や大人向け講義など、学研都市らしい催しがあって良い街だと思います。たくさんあるすばらしい企業と街のコラボ的な企画があっても楽しいと思います。大人向け講義は興味はありますが平日日中のため労働世代の参加が難しく、日中に暇のある人が対象にしばらくしてしまうと思います。
共働き世帯が多いので早急に中学校給食を実現してほしいです。今ある体育館だけでは、特定の団体が予約をほぼ抑えているので新規の予約が全然出来ません。避難場所の小学校のトイレが和式なのが、（お年寄り）や小さい子を連れて避難した際に使い慣れてないので使用しづらいです。洋式への変更してほしいです。
自助・共助の精神が日常で行える町づくりを推進してほしいと思います。
精華町とてもよその市町村に比べてとても文化的にも何より環境がいいのに満足しています。散歩道も広く桜の時期・紅葉の時期、遠くへ行かなくとも高齢になってこの街に住んだことほんとに感謝しています。街づくり大変だと思いますが精華町頑張ってください。
こんなに子どもが増えているのに、いつまでも保育所に入れないのに、こんなアンケートする前に何か対策を立ててるんでしょうか。災害うんぬんより、子どもを保育所に預けられない「今」の生活の方が不安。もっと動くべき。何をしてるんだか…精華町もっとしっかりしてくださいよ！！
災害時に避難所に行かなくてもトイレに困らないように公園などの公共施設等に埋め込み型のトイレ（テレビで放送しているのを見た）・火をおこしてコンロがわりになるイス（コンクリート）etc設置しておく。事前に準備してはどうか？ 避難所では女性専用スペースを確保。ペットのいる家族のスペース。病人（咳している人も）の隔離。
町営のプール（特に室内）がなぜないのか不思議です。無料で参加できるスポーツを増やしてほしい（６０代・７０代より）
私が思うにはＪＲ学研都市線・近鉄線を境に西側はすごく開発されてきていますが、線路から東側は私が嫁いできた当時とあまり風景が変わっていません。ぜひ東側も開発されることを望みます。

むくの木センターで道場を利用しています。畳を利用していますが、1回当り1000円と他の活動に比べ利用料金が高いと思います。道場の利用料金は他の部屋より少し高いので、畳の利用料金を無料にしていただけませんか。
「緑豊かな調和のとれたまちづくり」を基本理念にするなら、まず取り組むべきは『看板規制条例』の制定である。大きな醜い看板がどれほど自然豊かな美しい町の景観をぶち壊していることか。全国に先がけて「看板のない美しい町」を標榜できないものか。もう一つ、隣接する生駒市や木津川と比べてスポーツ施設の貧弱なこと情けない。テニスコートなど、時代遅れのコートが4～5面あるだけである。
今は若い世代も多いが、やはり老人たちにも住みやすい町にしてほしい。近所でも老人会などの居場所がどうも苦手、年をいくとどうしても意見のぶつかり合いなど付き合いがめんどくさい年寄りもいます。役員とか決められるのも困るみたいです。気軽に参加できる文化活動やスポーツが増えると良いですね。年がいくと何でもめんどくさくなりますので若い人が支援してくれると良いな。
一人ひとりが身を守り、その上で高齢者や障がい者などの手助けができる人材を養成していければと思います。また、リーダーになれる養成講座などの企画があればと思います。
光台6丁目から163号線に出る道が非常に混むことがあるので対策していただきたい。昼間のバスの本数を増やしていただきたい。
精華町は地域活動に熱心なボランティア精神に富んだ住民が多いです。ただ、そのような方々は主に退職世代であり、現役世代は少数です。将来、地域活動の支え手・担い手を確保するためにも、行政は福祉部門を中心に他の関連部門も連携することが大切だと思います。庁内でも様々な課が地域貢献されているボランティア団体と繋がりを持たれていると思いますので、情報共有や団体同士の交流の機会を作ってはどうかと思います。これからの地域づくりを担うであろう若年世代は、ボランティア活動をするにしても有償が基本です。無償で何かをするという考えは通じませんので、地域づくりの人材確保に向けて予算化することも少し念頭に置いていただければ幸いです。
道の駅があったら楽しそうです。あと、精華町ならではの名産品を販売など。この町の企業同士がコラボレーションしてA I や I o T を体験できる施設。
役場の所員が自ら現場に行き、自感して行動方針を決定すること。
けいはんな地区にある企業の紹介や企業保有施設の町民への利用許可など企業と住民との交流・共生を図る。
くるりんバスの本数を増やしてほしい。
生涯学習の中に少し大きくなった子供たちが関われる場があって、若者が地域に愛着をもてるようになってくれれば良いなと思います。精華町は農業と歴史について学ぶにはとても豊かな環境なので、それが生かされた勉強会や体験会をもっと工夫された形で企画していただければなあ…。例えばイチゴづくりなど、それぞれの農家さんの本には載っていない工夫があるところをお話をまとめるのがお上手な教育経験のある先生が農家さんとペアになって講習をする。受講対象は、中・高校生または歴史も歴史好きな少し大きい子供たちがサポートしてもらって発表をするなど…（中・高生はとても忙しいので学校のご協力がないと参加しにくいと思いますが）あと、京都に人と人が出会う場づくりを専門にしているNPO法人の会社がありますから、そういう会社京阪奈公園を使った企画を任せるなどどうでしょうか。耕作放棄地を農業の生涯学習に借りて使ってもらうことによって（指導者必要）環境改善につながるかも…草取りだけでも（雑草の勉強）

（ＪＲ祝園＆近鉄新祝園）の駅前のショッピングセンターが折角の駅前なのに全く魅力的ではないので、もっと大きく華やかに充実したものにして、皆が会社帰りや学校帰り、もしくはわざわざ駅前に足を運ぶくらいのものにしなければすごくもったいないと思います。
町債を無くしてほしい。子供達に借金を残すまちづくりはいらない。
精華町に住んで３年が経過しましたが、非常に住みやすい町だと感じます。２歳の子供がいますが、子育て支援制度が整っており大変ありがたいです。今後は給食制度をできるだけ早めに整えて頂きたいです。自身も周囲も共働きの子育て世帯が多いためです。また、小学校の通学路も危険な箇所がいくつかあるため、道の整備・安全教育（※）などに力を入れていただきたいです。最後に精華ガーデンシティが駅前の良い立地なのに、店が少なくもったいない気がします。（※）横断歩道での「指差確認」などの教育を徹底してほしい（やっている小中学生を１人も見たことがないので）
特になし
別になし
学研都市のように発展地域もあるがコンビニや一店舗もない地域もあり今後も一人生活している者や老人達の買物難民が増え公共のサービス提供が必要だと思う。独居老人には住みづらい地域がある。
精華町は住みよく環境もよいので、これからの子育てにもよい地域と思います。ただ、旧村がまだ環境美化が出来てないところがあるように思う（道路が未舗装）
高齢化に向けた地域づくり。
奈良交通のバスが高すぎる。１回１００円バスなどにしたら乗車率が上がると思う。歩道のレンガがぐらぐらしたり凹凸があってキケン。平らにしてほしい。ポストが少ない。各町内に１つくらいはあっても良いのではないのでしょうか。空き地を貸し農園に開放してほしい。雑草だらけより良いと思う。ゴミ置場をネットではなく網の箱を設置に変えた方がよい。毎回、道路がゴミで散乱して不衛生。使用済みの電池を回収する日を作ってほしい。記念公園にテントで泊まれる日を作ってほしい（水景園の中とか） 近場で星空を見たり静かに夜を過ごせたらいいかと思う。
高齢化の進んでいる地域の除草作業や道づくりなど負担になってきている。地域での清掃活動は必要だと思うが、広範囲の草刈りや川の中の清掃などは重労働だし危険だと思う。新しいまちの方はどんどん開けきれいにされているが、特に旧地区への環境整備・施設の充実などにももっと目を向けていただきたい。高い税金を払っているが、歳をとるにつれ旧地区が「置き去り」にされていってる感が増している。「交通の便にしても車なしでは生活できない」など、この先も不安はいくつかある。
人口の増加 地下鉄の延伸
精華町に移転し２４年になります。当時は住所が郡で抵抗ありましたが、町としての３万人が住めば都で、丁度身の丈にあって健康的な住みよい町になりました。今後は各自治会の活性化（それなりに良くやっていますが…）・老人化対策（老人活性化）が必要かと。
自然が豊かで落ち着いた町でとても好きです。強い希望があるとしたら、飲食店が少なくて出かけるににくいこと、せいかまつりを“音楽”を中心テーマに置いたものに充実させてほしいこと、でしょうか。
子供の数が減少していている精華町でもやはり多くの人交流し世代を超えてより深いコミュニティとしてつながりを持つべきだと考えております。特に先の質問にもありましたが、万が一災害等の時には共助の面において普段からの関わりがあればよりその時にコミュニケーションも取りやすくなるのではないかと思います。ギャラリーで作品を展示したりして発表の場としてそこを関わり場とし、文化的な交流もできる場があれば尚良いと思います。

多くの人が暮らしやすいまちにするためにインフラ整備の充実をはじめ、制度面・人材の確保などの課題を解決してほしいと思います。
以前の街を去って今あれもこれもと忙しく生活していた事がなつかしくさえ思います。今は老人会もなくなり回覧と集金、年に一回の草取りだけとか…。精華町は発展途上…ますます住み良い街に皆で力を出すべき…です。
精華町は道も広く緑の手入れもされており美しい町だと思います。今はまだ自分で色々な事が出来ませんが老後、病院やスーパーなどの交通手段など不安な事もあります。無人のバスなどの普及や病院の循環バスなど必要な時代も来るのだろうかと思います。今はとても住みやすい町です。
税金が有効に活用されてると、実感できる町でありたい。
子供達がボールを使える広いグラウンドを何ヶ所か作って欲しいです。室内プールは是非使用したいです。狛田駅前の整備。
「アスパ山城」のような、大講堂を備えた生涯学習施設があれば、と思います。文化・スポーツ活動を「教室」として講師を置き、有料で山城地域の人達（精華町民は優先・優待だとよりいい）を対象に赤ちゃんからお年寄りまで利用できる施設です。講座も、年齢や興味など幅広く対応できるようにしたいと思います。
遅くなりました。お役に立てなくてごめんなさい。
精華町に住んで 13 年程がたちました。災害が起こった時にこそ町の本質が分かりますと言いますが、今のところ、この町で良かったなあといつも安心して過ごしています。